

中原遺跡群 II

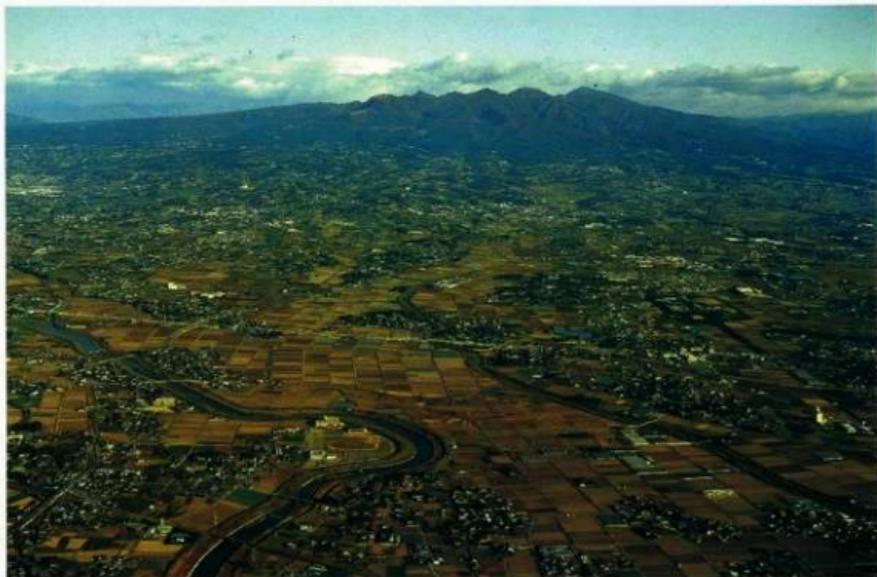
1 9 9 4

前橋市埋藏文化財発掘調査団

中原遺跡群 II

1 9 9 4

前橋市埋藏文化財発掘調査団



1. 赤城山と中原遺跡群



2. A2・3, B2・3区全景



3. B3区全景



4. B4区全景



5. B4·5区全景



6. B2,C2·3,D2·3·4,E2·3·4区全景



7. D6・7,E6・7,F7・8区全景



8. 中原遺跡群出土遺物

序

前橋市は北に赤城山、西に榛名山を望む関東平野の北部を市域とした県都であります。北から南に貫流する利根川は、支流の広瀬川・桃木川・澁川などに清流を分流し「水と緑と詩の町」を潤し、幕末の横浜開港とともに生糸輸出が盛んになり「糸の町」として養蚕製糸で栄えてきました。今人口28万余を擁し、生涯教育都市を目指し、教育文化・商工業の調和のある「豊かで、すばらしい社会を築く街づくり」を進めています。

前橋市では福祉、教育、文化、環境等の整備、拡充の施策のひとつとして、前橋工業団地造成組合のもとで工業団地・住宅団地の造成を進めています。この一環として前橋市上増田町に工業団地造成事業を進めています。中原遺跡群は、それに先立つ埋蔵文化財発掘調査として、前橋市埋蔵文化財発掘調査団が発掘調査を実施しました。

中原遺跡群Ⅱ（上増田工業団地造成地）の所在する上増田町は、中心市街地から東南東約9kmの桃木川左岸に位置し、町域の中心部を荒砥川が北から南流する、自然環境の豊かな田園地帯であります。

調査は、桃木川と荒砥川の間広がる奥内地の畑地・水田・桑園など約250,000㎡の工業団地造成地のうち40,264㎡について、平成4年度事業として発掘調査を実施したものです。

調査は、古墳時代の住居址7軒、平安時代の住居址2軒と818(弘仁9)年の関東地方を襲った地震被災の泥流埋没水田址、洪水で決壊し泥流で埋没した河川跡や水路遺構など広い範囲にわたり実施し、記録保存をいたしました。また、同時代の畝状遺構・集石遺構、古墳時代の畝状遺構、中世の井戸址4か所、土坑、道跡などを確認した他、多数の土師器・須恵器などの遺物を検出し、記録保存をいたしました。

この調査報告書を刊行するにあたり、前橋工業団地造成組合を始め多くの関係機関の方々の御理解と御協力を得たことに対し厚く御礼申し上げます。

平成6年2月28日

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団長 有坂 淳

例 言

- 1 本報告書は、前橋市工業団地造成組合（管理者 小寺弘之）が造成する上増田工業団地に係る中原遺跡群II発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地
群馬県前橋市上増田町1005番地外
同 荒井町 475番地外
同 今井町 305番地外
- 3 調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 有坂淳）の指導のもとに、前橋工業団地造成組合（管理者 小寺弘之）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役 須永眞弘 所在地 前橋市青柳町211-1）が実施した。
- 4 調査担当者 萩野博巳（スナガ環境測設株式会社 調査員）
都所敬尚 新井真典 上野克巳 園部守央（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）
- 5 試掘調査期間 平成3年12月12日～平成4年3月16日
発掘調査期間 平成4年6月3日～平成5年3月10日
整理・報告書作成期間 平成5年6月28日～平成6年2月28日
- 6 調査面積 40,264㎡
- 7 出土遺物は前橋市教育委員会が保管する。
- 8 調査・測量計画は須永眞弘が行い、調査を萩野博巳、測量を板垣 宏・勝田貞幸・佐々木智恵子が担当した。発掘調査の安全管理は神津芳夫が行い、作業事務を柴崎信江が担当した。遺構・遺物の写真撮影は萩野博巳・板垣 宏・勝田貞幸が担当した。
- 9 本書は前橋市埋蔵文化財発掘調査団の指導のもとに、スナガ環境測設株式会社文化財調査部が作成に当り、原稿執筆は、第I・II章を須永眞弘が、III章以下を萩野博巳、校正は金子正人・新保一美、編集・須永眞弘、測量図書の整理校正は板垣宏・勝田貞幸、遺物の復元・実測・計測を佐々木智恵子・角田朱美、遺構のトレースを小林裕美、写真製版を鈴木超夫、文章清書は勝田貞幸・須永薫子、内業事務は柴崎信江・須永 豊が担当した。
- 10 調査に参加した方々（順不同）

内田重二郎	石川サワ子	内山恵美子	山崎 勘治	三俣 光江	中野 鶴市
小沼 あき	登坂 正	内田喜久栄	新井ヒロ子	須藤か津え	高岸 勝政
新保 松乃	三川 昭市	原島 なか	宮前 実	都丸主女作	江口よしの
斉藤まき子	井野 大造	小淵 丑子	丸山 金平	飯島 いし	上原 薫
新保勝太郎	田所たけの	田中すみ子	浜岡 仁一	小沼 豊子	長岡 徳治
青木 芳子	上原 亮	新井 重男	新井 正枝	野口たかね	野口 栄一
佐島 直子	榎島 逸司	堀越 豊			

凡 例

1 遺構名・略称

遺構名と略称は次の通りとした。

土師器住居址 H 水路・溝遺構 W 井戸址 I 土坑 D
ピット P 畦 畦 畦 A

2 実測図の縮尺

遺跡現形図S=1/5000	住居址S=1/60	カマFS=1/30	ピットS=1/60
遺跡全体平面図S=1/500	水田址S=1/60,1/100	水路・溝跡S=1/60,1/100,1/300	
畦畔・水口S=1/60	畝状S=1/60・1/100	土坑S=1/100・1/300・1/500	
井戸址S=1/60	集石S=1/60	遺物S=1/2・1/3・1/5・1/8	

3 挿入図

国土地理院発行の5万分の1「前橋」、2万5千分の1地形図「大胡」を使用した。

4 遺跡の位置の基準

基準点 国土地理院三角点及び水準点を照合済み

A1区A0地点 第IX系 座標値 $x = 40,200.000\text{m}$ $y = -61,500.000\text{m}$

水準点 BM. A2・3区 80.000m B3・4・5区 79.000m・79.500m

C2～E4区 78.500m・79.000m D6～F8区 76.000m・79.000m以上を使用等

高線 5 cm

グリッド 4 m 間隔

5 土層断面の土色名及び土器類の色調名は「新版標準土色帖」による。

6 土層注記にはAs：浅間山，Hr：榛名山の略称を使用

7 水田面積の算出については、1/100の平面図上でプランメーター（ローラー極式・レンズ式）による3回計測平均値を使用した。尚、小数点以下第2位まで記載した。

目 次

序
例言
凡例
目次

第I章 調査の経緯と概要	1
1 調査に至る経緯	1
2 試掘調査の概要	1
3 発掘調査の経過	1
4 各調査区の概要	2
5 遺跡内の基本的層序(標準堆積土層図)	8
第II章 遺跡の位置と環境	12
・中原遺跡群位置図	14
・周辺遺跡の位置図	15
・グリッド設定図	16
第III章 遺構と遺物	17
1 調査の内容	17
2 住居址(古墳～平安時代)	17
(1) 住居址について	22
(2) カマドについて	22
3 平安時代水田址	23
(1) 水田の地形	23
(2) 水田の区画	23
(3) 畦畔	23
(4) 水口、配水について	24
(5) 畦畔交差部の形状について	29
(6) 特殊水田区画と畦畔	30
(7) 足跡について	30
(8) 地震による洪水堆積層、地割れ及び陥没水田について	31
(9) プラントオパール分析について	32
4 水田面下遺構確認トレンチ調査について	32
5 水路・溝について	33

6	畝状遺構（古墳時代）	34
7	畝状遺構（818年洪水堆積層下）	34
8	畝状遺構（浅間B軽石下）	35
9	集石遺構	35
10	土坑	36
	（1）特殊土坑について	36
11	井戸址	36
	（1）井戸址について	38
12	道跡	38
第IV章 ま と め		38
出土遺物観察表		41
水田址計測表		45
畦畔計測表		51
水路・溝計測表		55
土坑計測表		58
遺構実測図		1～33
遺物実測図		1～8
図 版		1～28
付図 中原遺跡群II全体平面図（S=1:500）		1～4

第 I 章 調査の経緯と概要

1. 調査に至る経緯

前橋市は「豊かで、すばらしい社会を築く、街づくり」の施策のひとつとして、工業団地及びこれに附随する住宅団地の造成を通し、福祉、教育、文化、環境等の整備、拡充を目的に昭和35年に「前橋工業団地造成組合」を群馬県と組織し、以来、工業団地造成事業を進めてきた。この一環事業として「すばらしい自然環境と国道50号線・上武道路など交通の利便性に優れた前橋市の東部田園地帯」に上増田工業団地造成事業が実施されることになった。これに先立つ埋蔵文化財発掘調査について、前橋工業団地造成組合と前橋市教育委員会での協議により、埋蔵文化財の包蔵状況を把握するため、平成3年度に造成面積約250,000㎡の試掘調査を実施することに成り、前橋市教育委員会のもとに組織している前橋市埋蔵文化財発掘調査団の指導のもとに、前橋工業団地造成組合の委託を受け、スナガ環境測設株式会社で調査に入った。

試掘調査の期間は、平成3年12月12日から平成4年3月16日で、試掘調査の結果は直ちに前橋市埋蔵文化財発掘調査団に報告、調査団と前橋工業団地造成組合の協議により緊急に調査を要する場所から、平成4年度事業として発掘調査を実施することに成ったものである。

発掘調査は、調査地の地形が桃木川と荒砥川の堤内敷きであることから、梅雨期や水田用水（八坂用水）や地下水の上昇による湧水などを考慮して、平成4年6月3日から、調査団の指示を受け、スナガ環境測設株式会社で着手した。

2. 試掘調査の概要

調査区全体に北西の隅から75本の試掘トレンチを入れ、ナンバーをつけ調査を行った。

調査の結果、古墳時代の住居址や土坑、奈良・平安時代の畦畔、住居址等を確認し、中世～近世の土坑やピットなども確認した。

その他に古代～近世までの水路、溝跡や五輪塔等を確認した。

検出された遺物は、縄文土器1点（流れ込み）、古墳時代の土器はほぼ完形4点（うち1点は流れ込み）その他破片多数、奈良・平安時代の土器片多数、五輪塔11個（土地改良の時集められたもの）である。

3. 発掘調査の経過

平成3年度（平成3年12月12日～平成4年3月16日）試掘調査の結果を踏まえて、前橋市埋蔵文化財発掘調査団の指示を受け、団地造成に先行して道路・下水道の建設工事を進めるため緊急に発掘調査の実施が望まれたことと、梅雨期や水田用水（八坂用水）で地下水の上昇による湧水などで発掘調査に支障をきさないよう、発掘調査は、平成4年6月3日に着手、八坂用水の北側

に位置するA2区及びA3区並びに八坂用水右岸（南側）B3区をバックホウによる表土の排除に入り、遺構の確認作業、精査、測量・写真など記録作業を進めた。

この調査区は、周辺の水田が農作業開始とともに八坂用水に大量の用水が入り、梅雨期とも重なり調査区は溜池状化し、大型排水ポンプ2台と小型排水ポンプ4台を設置し、排水しながらの作業を進めた。

八坂用水の右岸（南側）のB4、B5区もバックホウによる表土の排除、遺構の確認、精査、測量・写真など記録作業を進めた。

筑井大橋通り南側についてのC2、C3、D2、D3、D4調査区は7月4日～27日で桑畑の伐開除根・集積・焼却などの作業を行い、8月29日からバックホウによる表土排除・遺構確認・精査・測量し、20m道路部分の平安時代水田址の調査を行った。また、2月5日から水田址下の遺構確認のためトレンチを入れたところ、多くの遺物が出土し、古墳時代の住居址を確認した。

D6・7、E6・7、F7・8調査区は、中原遺跡群東南端に位置し、東西に走る住吉橋（荒砥川）通り北の区域（13,457.7㎡）で、調査に先立ち11月6日よりトレンチによる事前調査を11月20日まで行った。その結果、区域全体から地表下140～150cmに818（弘仁9）年災害発生時の土層と、それに埋没する水田址を確認、直ちに全面発掘調査に着手、バックホウ3台・10tダンプ5台・キャリヤダンプ3台による表土排除運搬作業を行い、平安時代の水田址などの遺構を調査した。

4. 各調査区の概要

(1) A2・3、B2調査区

平安時代の水田址、それに伴う水口跡、この水田・畦畔跡を切っている溝、近世の水路跡や土坑などを確認し調査を完了、また、この水田面下の一部分に溝状の遺構を確認（A3区）した。この溝から古墳時代の石田川式土器片などを検出した。

この平安時代水田面の下層の遺構等の確認のためトレンチを入れたところ、A2区とB2区の境（八坂用水の左岸）付近から古墳時代石田川式の土器片が多数検出されたが、このトレンチからは遺構は確認されなかった。

八坂用水をはさんだ右岸のB3調査区からも同じく平安時代の水田址と溝、近世の水路跡や土坑、旧道など確認した。

この調査区は現水田用水が地下水として湧出し調査に困難をきたした。

(2) B4調査区

7軒の竪穴住居址を確認した。H-1、2号住居址はB5調査区の水田面よりやや高い位置で確認され、水田面を覆っている砂礫層でなく浅間B軽石で覆われて確認した。住居址の残りはよく、カマドや柱穴等も確認され、遺物もH-1からは羽釜片なども検出した。またH-3、4、

5、6、7号住居址はH-5、7号をのぞいてカマド跡が確認されH-4、6号住居址カマドからは支脚石、袖石、粘土などの構築材も確認した。

遺物はH-3、6、7号住居址から環、甕片など古墳時代の鬼高期の土器片などを検出。H-5号住居址からは、古墳時代鬼高期坏片や奈良時代と思われる甕片などを検出し、また特殊な土坑として粘土を底と壁の一部に使用したものの2か所を確認した。他には近世の水路、溝、道跡などを調査した。

(3) B5 調査区

平安時代の水田址、溝跡を検出した外に、近世の土坑を多数、B経石層下の耕作の畝状遺構などを確認した。

(4) C2・3、D2・3・4、E2・3・4 調査区

遺構は、平安時代の水田址と足跡、水口、溝、河川跡、近世の水路跡などを確認した。

遺物は、溝遺構から古墳時代の土器片など数点を検出した。

平安時代水田址下の遺構確認のためトレンチを入れたところ多量の遺物の出土とともに古墳時代の住居址2軒を確認した。

3m幅掘道部分は、平安時代の水田址、集石遺構などを検出し、遺構の測量製図、写真等の記録保存をした。

(5) D6・7、E6・7、F7・8 調査区

平安時代の水田遺構を調査区全体に確認した。他に水田址に伴う大小の溝や足跡、818(弘仁9)年の地震跡と思われる地割れ、噴砂跡(液状化現象による)などを確認した。また中近世の遺構と思われる井戸址や水路、溝跡などの他、畝状の遺構などを確認した。

遺構は、水田80面と水口、足跡、溝、水路大小合わせて22条、井戸址4か所、地割れ7群と噴砂跡、他に畝状跡と近世の柱穴跡などを確認した。遺構は荒砥川から50~70mと近い所であり、水害の泥流で堆積したと思われる砂礫層で埋まっていた。

発掘調査経過（調査日誌より）

- 平成4年6月 調査区設定・現況写真撮影・A2区より重機にて表土掘削作業の開始
作業事務所設置 発掘器材等の搬入
抜根作業範囲（桑畑）の面積を測量
遺跡全体平面測量（S=1:500）A2・3区より開始
A2区よりジョレン掛け精査。遺構調査開始
A2・3区重機にて表土掘削開始。畦畔・水田遺構確認
A2・B2区より4mグリッド杭設定作業開始
A2区より遺構写真撮影開始
遺跡全体平面測量（S=1:500）C2・3、D2・3・4、E2・3・4区
A2区遺物写真撮影開始
A2区B軽石下遺構有無確認後水田面まで重機にて掘削開始
- 7月 C2区より重機にて抜根作業開始（桑畑）
A2・B2区遺構平面測量（S=1:100） 断面実測（S=1:20）開始
B3・4区重機にて表土掘削開始
A2・B2区遺構の写真撮影開始
B4区遺構を確認（住居址）。A2・3区壁断面測量（S=1:20）開始
A3区4mグリッド杭設定
B5区重機にて表土掘削開始・畦畔・水田遺構確認
B3区平面測量（S=1:100） 断面測量（S=1:20）開始
C2・D2区内3m道路部分重機にて掘削開始
A2区より土層注記開始
A2・B2区溝・水路・田面・水口等調査開始
A2・B2区水田遺物あげ。水道設備工事・事務所移動
A2・3、B2・3区 畦畔写真撮影開始
A2・3、B2・3区 平面実測（S=1:100）開始
A3区水口、畦畔断面測量（S=1:20）開始
B3区溝断面測量（S=1:20）土坑・水口・壁写真撮影
A3区土坑土層注記・写真撮影
B5区遺構確認調査
A2・3、B2・3・4・5区空中写真撮影
A3、B3区全景写真撮影
- 8月 A2・3区雨水と農業用水のため調査区水没

水中ポンプにて排水作業

A 2 区水田面下の遺構確認トレンチ調査

A 3 区水口平面測量(S=1:40)作成

B 3 区BM設置 H=79.000m

B 4・5 区4mグリッド杭設定

B 5 区B 軽石層下軟状遺構平面測量(S=1:100)

雨水と農業用水のため調査区水没する水中ポンプにて排水作業

B 5 区土坑全景写真、断面写真、土層注記

B 5 区平面測量(S=1:100) 土坑断面測量(S=1:20)開始

溝・水路断面測量(S=1:20)開始

4mグリッド杭設定

B 4 区1・2・3・4号住居址調査開始

ベンチ杭設置(B 4 区内) H=79.000m

B 4 区住居址平面測量(S=1:20) 遺物あげ、写真撮影開始

C 3 区内20m道路部分重機にて掘削開始

A 2・B 2 区水田面下確認トレンチ調査

B 4 区5・6号住居址調査開始、住居址、遺物上げ開始

A 2・3、B 2 区排水作業と重機にて調査区埋戻し作業開始

9月 B 4 区1～4・6号住居址カマド調査開始

C 3 区20m道路部分水田面精査開始

A 2 区埋戻し完了、B 4 区7号住居址調査開始

C 3 区20m道路部分重機にて掘削完了

C 2・3 区3m道路部分水田面精査

C 2・3 区3m・20m道路部分調査開始

B 4 区特殊土坑D-4 6・4 7 調査

B 4 区平面測量(S=1:100) 開始

C 2・3、D 2・3 区全景写真撮影

B 5 区水口、畦畔断面測量(S=1:20)

D 4 区20m道路部分水田面、溝・水路調査開始

B 3 区水口・畦畔・土坑断面写真撮影

D 2・E 2・3 区3m道路部分調査開始

畦畔交差部分写真撮影 水口平面測量(S=1:40)

C 3、D 2・4、E 3 区 BM設置4本(H=77.500～79.000m)

C 3・D 4 区20m道路部分 壁断面測量、土層注記開始

- B 4・5区畦畔交差部分写真撮影
- C 3区平面測量(S=1:100) 開始
- D 2, E 2・3区4mグリッド杭設定
- D 2, E 2・3区3m道路部分・溝・土坑写真撮影
- 10月 B 4・5区及びD 2, E 2・3区3m道路部分空中撮影
- B 4・5区水田面、住居址全体写真撮影
- D 4・E 4区20m道路部分平面測量(S=1:100) 開始
- C 3区足跡(S=1:40)平面測量。
- C 2・3, D 2, E 2・3区全体写真撮影
- D 4区平面測量(S=1:100)
- D 4区足跡(S=1:40)平面測量開始
- C 3・D 3区足跡写真撮影
- C 2, D 2, E 2・3区3m道路部分西壁断面図作成
- D 2区集石遺構調査開始。平面測量(S=1:20)。遺物あげ。写真撮影
- C 2・3, D 3区陥没水田址測量開始
- C 2・3, D 2・3・4, E 2・4区(3m・20m道路部分を含む)
空中写真撮影
- C 2・3, D 3・4, E 4区水田、足跡、水田陥没写真撮影
- C 2・3区BM設置(H=78.500m)
- 11月 C 2・3～D 4区20m道路部分遺物あげ
- 水田面下遺構確認トレンチ調査
- C 3区内に遺構を確認。他のトレンチは遺構は確認されずD 6・7, E 6・7, E 7, F 7区重機にてトレンチ掘削。調査開始 ジョレン掛け精査開始
- B 3・4・5区と20m道路部分のトレンチ断面写真撮影
- D 6・7, E 6・7, F 7・8区基本グリッド杭(20m) 設定
- D 6・7, E 6区内BM設置(H=77.500m)
- 試掘トレンチ全景・断面写真撮影(D 6・7, E 6・7, F 7・8区)
- D 6・7, E 6・7, F 7区内8m道路部分重機にて掘削開始
- E 6区内に作業事務所移動
- C 3区内水田面下遺構確認トレンチ拡張部分の住居址・畝状遺構等の調査開始
- D 6・7, E 6・7, F 7・8区内重機にて表土掘削開始
- D 6区8m道路部分、平面・断面測量(S=1:20)遺物あげ・写真撮影開始

- 12月 E 7, F 7 区水田面、溝、水路調査開始
 D 6・7, E 6 区 8m 道路部分全景写真撮影
 E 7・F 7 区地割れ調査
 C 2・3, D 2・3 調査区図面見直し作業
- 平成 5 年 1 月 D 6・7, E 6・7, F 7・8 区 4m グリッド杭設定開始
 今日より作業員平成 5 年度の仕事始め
 D 6, F 7 区内に BM 設置 (H=79.000m)
 D 6・7, F 7 区平面測量 (S=1:100) 断面実測 (S=1:20)
 写真撮影開始
 D 6・7, E 6・7 区 8m 道路部分断面写真撮影
 E 7 区平面測量 (S=1:40) 水口・水路の釜状部分
 D 6 区畦畔・水口・畦畔交差部分等の写真撮影
- 2 月 E 7, F 7 区溝・水路断面写真撮影開始
 地割れ群全景写真撮影
 D 6・7, E 6・7, F 7・8 区平面測量 (S=1:100)
 強風ため D 7, E 7 区内の土山にビニールシートを被せる (近隣のビニールハウスへの砂ほこり防護)
 E 7, F 7 区水田全景写真撮影
- 3 月 B 5 区重機にて埋戻し作業開始
 D 6・7 区井戸址 1～4 号調査開始
 C 2・3, D 2・3, D 6・7, F 7・8 区空中写真撮影
 C 2・D 2・3 区水田面下遺構確認トレンチ調査
 B 4 区重機にて埋戻し作業開始
 C 2, D 2・3 区水田面下遺構確認トレンチ平面測量 (S=1:100)
 断面測量 (S=1:20) 及び写真撮影
 D 6・7 区井戸址 1～4 号写真撮影
 遺跡全体平面測量 (S=1:500) 作成完了 発掘調査作業終了
 B 3, C 2・3, D 2・3 区重機にて埋戻し作業開始
 D 6・7, E 6・7, F 7・8 区重機にて埋戻し作業開始
 中原遺跡群 全調査区埋戻し完了

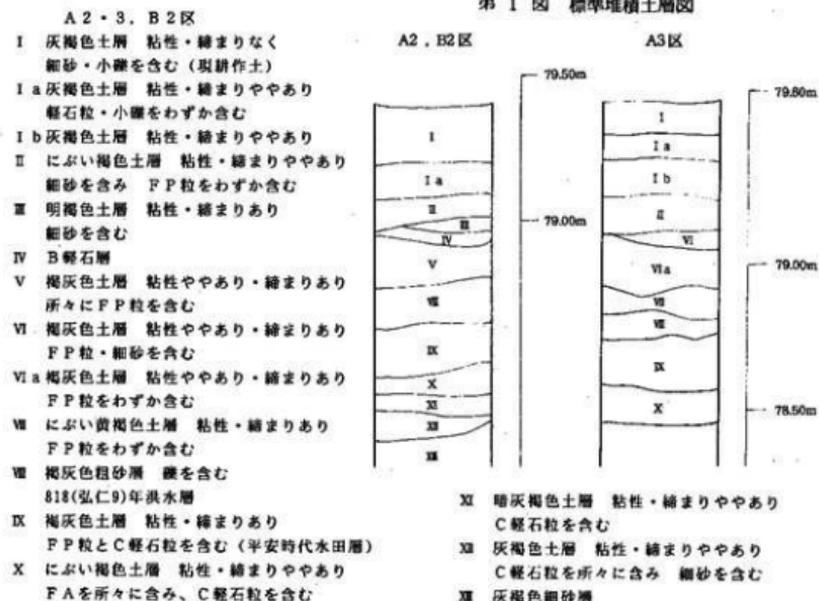
5. 遺跡内の基本的層序

本遺跡群は赤城山の南麓に広がる扇状地の末端部に位置し、利根川の旧流路で広瀬川低地帯の左岸にあたる後背湿地上に位置する。遺跡群は東側に赤城山より南流する荒砥川、西側には桃木川（旧利根川の流路）がある。古くから、これらの河川によって、生活が営まれた場所と推定され、様々な自然災害や河川の氾濫、洪水等が繰り返され直接的や間接的に影響を及ぼした地域と思われる。

本遺跡群は、旧流路、小河川、中州状のあった所に位置すると推定され、各区の堆積土層状況に違いが見られる。各区で見られる堆積土層には、浅間B軽石（1108年降下）、榛名FP（6世紀中葉降下）、榛名FA（6世紀初頭降下）、浅間C軽石（4世紀中葉降下）、火山噴出物降下堆積物の混入が見られる。また平安時代水田面上を覆った（褐灰色粗砂層 礫を含む）堆積土層は、818（弘仁9）年の地震による洪水堆積層と言われ、河川に挟まれた遺跡群の全体に見られる。特に北側のA2、3区よりも南側のE7、F7区の方が洪水堆積物が厚く地震による洪水等の影響が大きかったと思われる。またB4区に見られる微高地では、堆積物があまり見られず、B軽石に覆われた平安時代住居址や古墳時代の住居址などが確認されている。

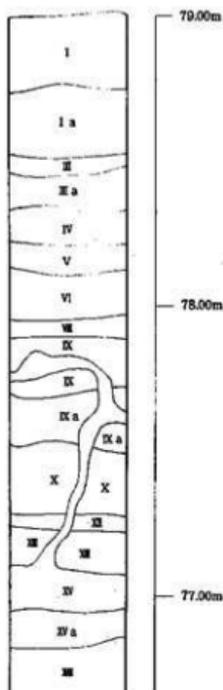
今回の調査を実施した場所について各区ごとに確認した土層について、下記に示した土層によって各区の基本土層とした。

第1図 標準堆積土層図

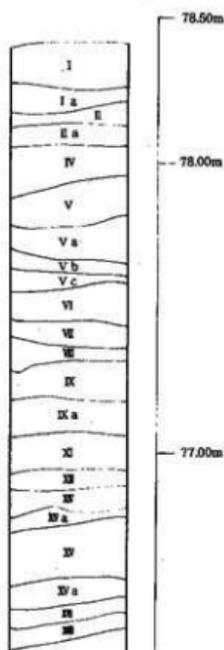


第 2 区

C2・3.D2・3・4.E2・4区 (北)



C2・3.D2・3・4.E2・4区 (南)



C2・3・D2・3・4・E2・4区 (南・北側)

I 灰褐色土層 粘性ややあり

締まりあり (現耕作土)

I a 灰褐色土層 粘性ややあり

締まりあり軽石を含む

II B 軽石火山灰層

II a B 軽石層

III 褐灰色土層 粘性なく・締まりややあり

III a 褐灰色土層 粘性ややあり・締まりあり

細砂と小礫を含む

IV 暗灰褐色土層 粘性なく・締まりややあり

細砂と小礫を含む

V 灰色細砂層 礫を含む

V a 灰色細砂粗砂層

V b 褐灰色粗砂層

V c 褐灰色細砂層

VI 褐灰色土層 粘性・締まりあり

F P 粒を含む (平安時代水田層)

VII 褐灰色土層 粘性・締まりあり

F P・C 軽石粒を含む

VIII 明黄褐色土層 粘性ややあり・締まりあり

F A をわずかに含み、C 軽石粒を含む

IX 灰褐色土層 粘性・締まりあり

わずかに C 軽石粒を含む

IX a 灰褐色土層 粘性・締まりあり

わずかに C 軽石粒を含む

X 灰褐色砂質土層

XI 灰黄褐色砂質層

XII 灰褐色粘質土層

暗灰褐色粘質土層

IX 灰褐色砂質土層

IX a 灰色砂質土層

XV 灰色細砂層 わずかに小礫を含む

(一部噴砂状に上る)

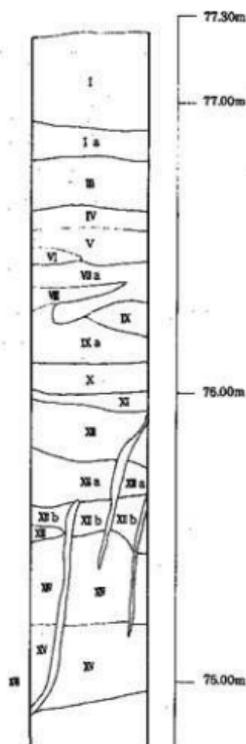
XV a 灰色細砂層 軽石を含む

XIII 褐灰色粘質土層

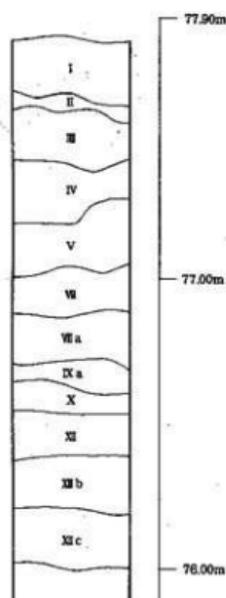
XIII a 灰褐色細砂粗砂 軽石を含む

第 3 区

D6・7.E6・7.F7・8区(南)



D6・7.E6・7.F7・8区(北)



D6・7・E6・7・F7・8区(南・北側)

I 黒褐色土層 粘性ややあり・締まりあり
細砂を含む

Ia 黒褐色土層 粘性・締まりややあり
小礫をわずか含む

II B 軽石層

III 暗褐色土層 粘性ややあり 小礫をわずか含む

IV 泥い黄褐色粗砂層 小礫と軽石を含む

V 泥い黄褐色粗砂層 IVより礫が少ない

VI 泥い褐色粘質土

VII 灰色細砂粗砂層 小礫を含む

VIIa 灰色細砂粗砂層 VIIより礫・軽石が多い

VIIb 泥い褐色粘質土層

IX 灰色砂礫層

IXa 灰色細砂層

X 灰褐色土層 粘性・締まりあり
(平安時代水田層)

XI 黄色土層 (FA層) FP粒を含む

XII 暗褐色粘質土層 FP粒とわずかC軽石を含む

XIIa 暗褐色粘質土層 C軽石粒と細砂を含む

XIIb 暗褐色粘質土層 C軽石粒を多く含む

XIIc 暗褐色粘質土層 C軽石粒を含む

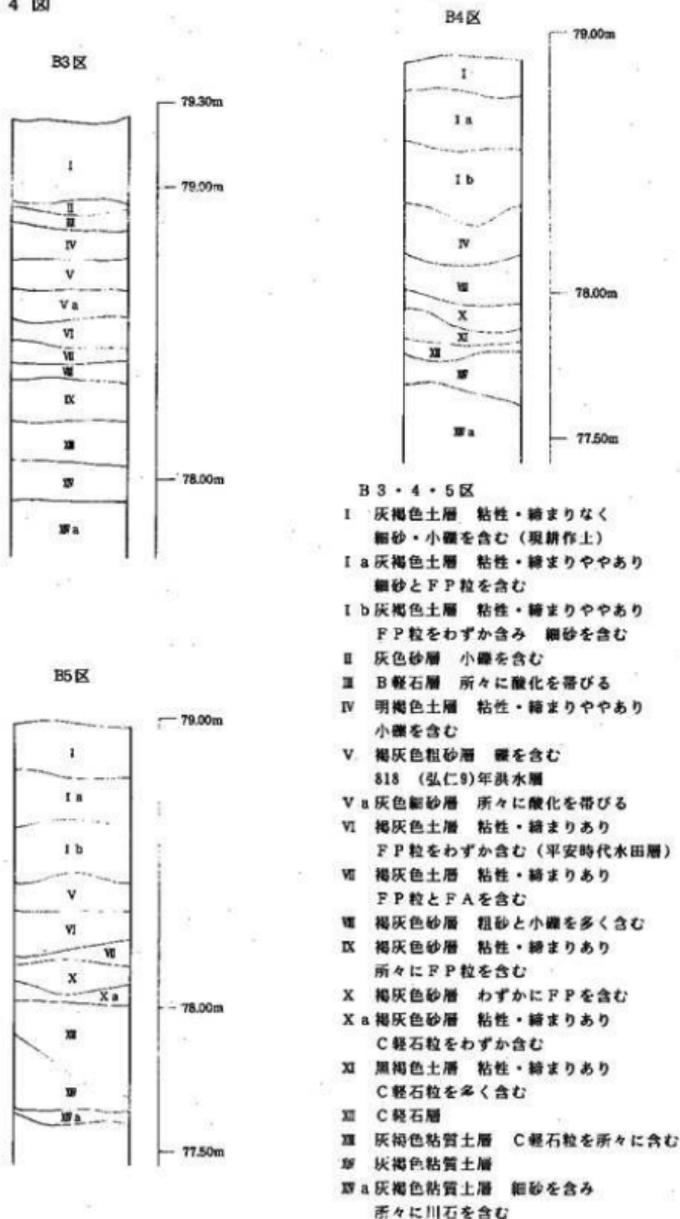
XIII C 軽石層

XIV 黒褐色粘質土層

XV 黒褐色粘質土層

XVI 泥い黄褐色微砂 (噴砂状に上る)

第 4 図



第 II 章 遺跡の位置と環境

中原遺跡群は、県庁や市役所などの官庁街から国道50号線を東へ9 km程で右手（南側）方向約1 km、桃木川左岸にある。この一帯は、旧利根川の氾濫原地積物である沖積砂礫を下層に埋める広瀬川低地帯上にある。

遺跡の範囲は、上増田町字中原を中央に、それに隣接する周辺字地名は、東に字三本松、字田村屋敷、南に字弥火田、字鯨田、西に字天上堰、北に筑井町東南端の字八反田ほかと、今井町の西南端部などから成る上増田工業団地造成地約25ヘクタールである。

造成地の大半を占める上増田町は、町域約192ヘクタールを東西に三つ割にして、東を一級河川荒砥川が南流し、その左岸（東部）は水田地帯、それに連担する赤城火山斜面で火砕岩層の微高地に、農家住宅などと桑園、畑地があり、今井町、二之宮町、下増田町と隣接している。町の西端を南流する一級河川桃木川は上流で利根川から分れ、広瀬川を経て田口町で分流している。古利根川の流路が赤城斜面南端から広瀬川の間を変流して形成した広瀬川低地帯の中で、最も赤城山麓より東南流し、赤城山中を水源とする細ヶ沢川、赤城白川、藤沢川、寺沢川などを広集して上増田町の南西城で合流し、広瀬川となり、3 km程流下して荒砥川を合流し、伊勢崎市を東南に貫流し、粕川を合流し、佐波郡境町の南部を東流して利根川に流入している。この広瀬川に合流する手前0.3 km程の桃木川を東西に鉄橋で横断するJ R両毛線がある。鉄道を0.5 km程西進すれば、小屋原町の駒形駅に至り、先は前橋・高崎へ向かい、東向すれば伊勢崎・桐生・小山へ至る。この両毛線の北0.2 km余におおむね平行して桃木川に架かる繁年橋がある。繁年橋と荒砥川に架かる東橋を結ぶ市道をして、町域を南北に二分し、北は桑園、施設園芸（野菜）地、畑地が多く、市道沿線以南に、農家住宅などと水田・施設園芸などが見られ、近年社会福祉施設や一般住宅などの建設も見られている。この市道は、遺跡の北を走る国道50号線、これに乗り入れる上武国道と、南を通る主要地方道前橋・館林線の間道として利用度を増している。

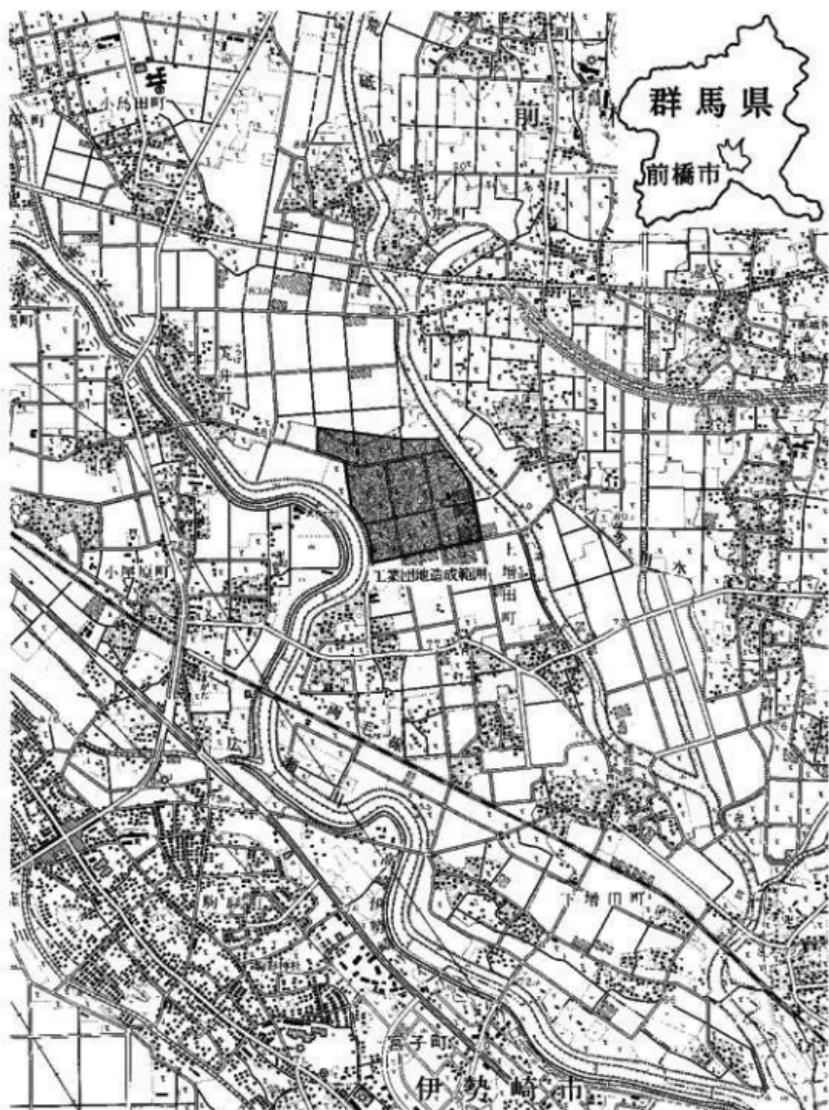
中原遺跡群の東側を南流する荒砥川は、赤城山荒山東南の宮城村大字三夜沢タイヒ沢から発し赤城温泉郷の近くを流下し、鳴沢川、大穴川と合流した芳見沢川を合流し、大胡町上水道水源や高岡塚などの多くの農業用水などに分流し、前橋市城南地区を南流し、宮川・神沢川を合流し、伊勢崎市西部で広瀬川に合流している。かつて暴れ川で知られ、昭和22（1947）年のカスリーン台風では、宮城村、大胡町・前橋市荒砥・木瀬（上増田・下増田など）地区で、上流で起きた山崩れよる山津波で、堤防は決壊し、大氾濫し、土石流と成って、多くの人命を失い、家屋の没水や流失し、耕地の決壊や埋没など大きな被害にあっている。この他に、荒砥村誌によると、天保7（1839）年の洪水で沿岸が決壊し、前橋藩主の命で復旧工事が行われ、3年を要して竣工した功で富田村名主堀越柔右衛門は、苗字を免されたとあり、カスリーン台風をさかのぼること108年に当たる。この時の前橋藩主は、松平大和守斉典（なりつね=松平家前橋入封4代目）である。

さらにさかのぼること97年、寛保2（1742）年の洪水も、前橋藩主の命で復旧したとしている。

この時の前橋藩主は、酒井雅楽頭忠恭（ただずみ）である。忠恭（酒井家前橋入封9代目）は、天文5（1740）年に大坂城代となり、延享元（1744）年5月には、江戸城西丸家重公（9代将軍）の付老中となり、延享2（1745）年9月には、老中首座となり、寛延2（1749）年正月に姫路に転封され、姫路城主松平大和守朝矩（ともりの）が代わって入封している。

中原遺跡群を繰り返し見舞った災害の中でも、818（弘仁9）年の地震災害は、最大級のものであったことがうかがわれる。関東地方を襲った大地震は、上野国などでは、河川の決壊による水害などで、人命や住家や作物などに大きな被害を被った。時の嵯峨天皇は、諸国に使を派遣し「災害で住まいと仕事を失った者には、使は国司と尉量（しんりょう）して、今年の租と調を免じ、（中略）正税を用いて施しを与え、家屋を直し、飢饉を凌ぎ、災害で死した人々を速やかに手厚く葬りなさい。……」という旨の記事が、『群馬県史』資料編4、「弘仁九年 五二七〔類聚国史〕百七十一災異五地震」の項に収録されている。記事は、「弘仁九年七月、相模、武蔵、下総、常陸、上野、下野等国地震、山崩谷埋数里、枉死百姓不可勝計、八月庚午、遣使諸国巡省地震其損害甚者加賑恤、詔曰、朕以虚昧欽岩實圖、撫育（以下略す）……」とあり、災害の大きさをうかがい知ることができる。また、近年、赤城山南麓の遺跡の調査で多くの地割れが発見されており、『赤城山麓の歴史地震』—弘仁九年に発生した地震と災害—（1991群馬県新里村教育委員会）は、資料として絶大なるものがある。中原遺跡群IIは、この地震に起因する山津波で、多量の土砂や岩屑が洪水となって押し流し、土砂に覆われた水田遺構の調査である。

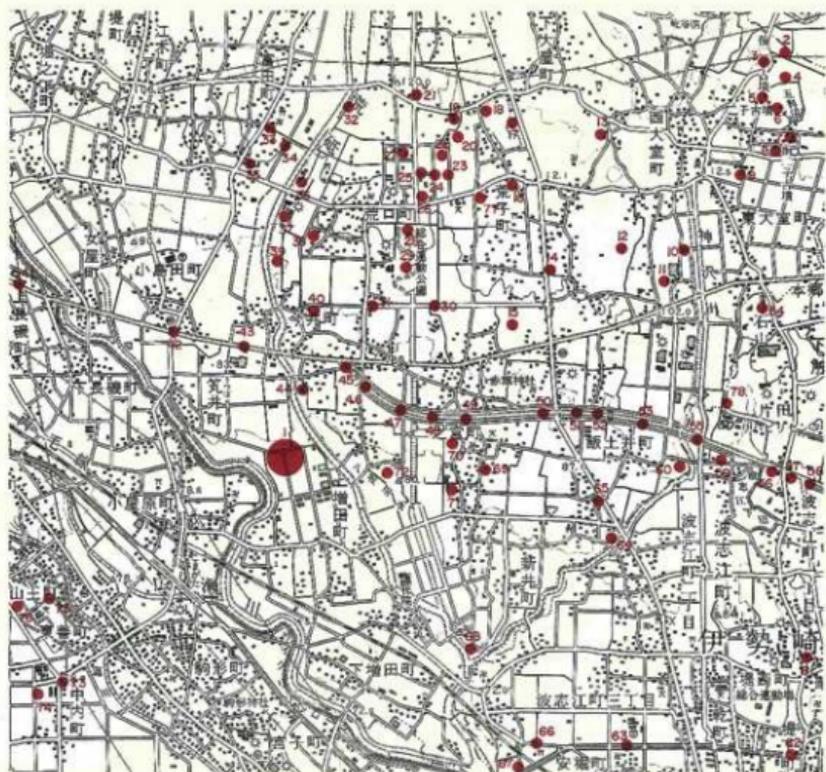
中原遺跡群の北東に近接する二之宮町には、縄文～弥生～古墳時代住居址の荒砥原遺跡や弥生中期～古墳～平安期住居址の荒砥島原遺跡がある。また、多くの古墳や東遺跡の推定、国史跡の女堀遺構などがあり、11世紀頃の社格制度の呼称の上野国二宮（二之宮赤城神社）は、泉重文の納曾利面や市重文梵鐘などを今に伝えている。この二之宮町から北東へ3km程に、東・西大室町にまたがる国史跡の前二子・中二子・後二子古墳がある。この地域の大きな勢力を持った豪族であったこと、この時代の高い東国文化の中核の地であったことをうかがい知ることができる。



1:25,000 大 胡



第 5 図 中原遺跡群 位置図



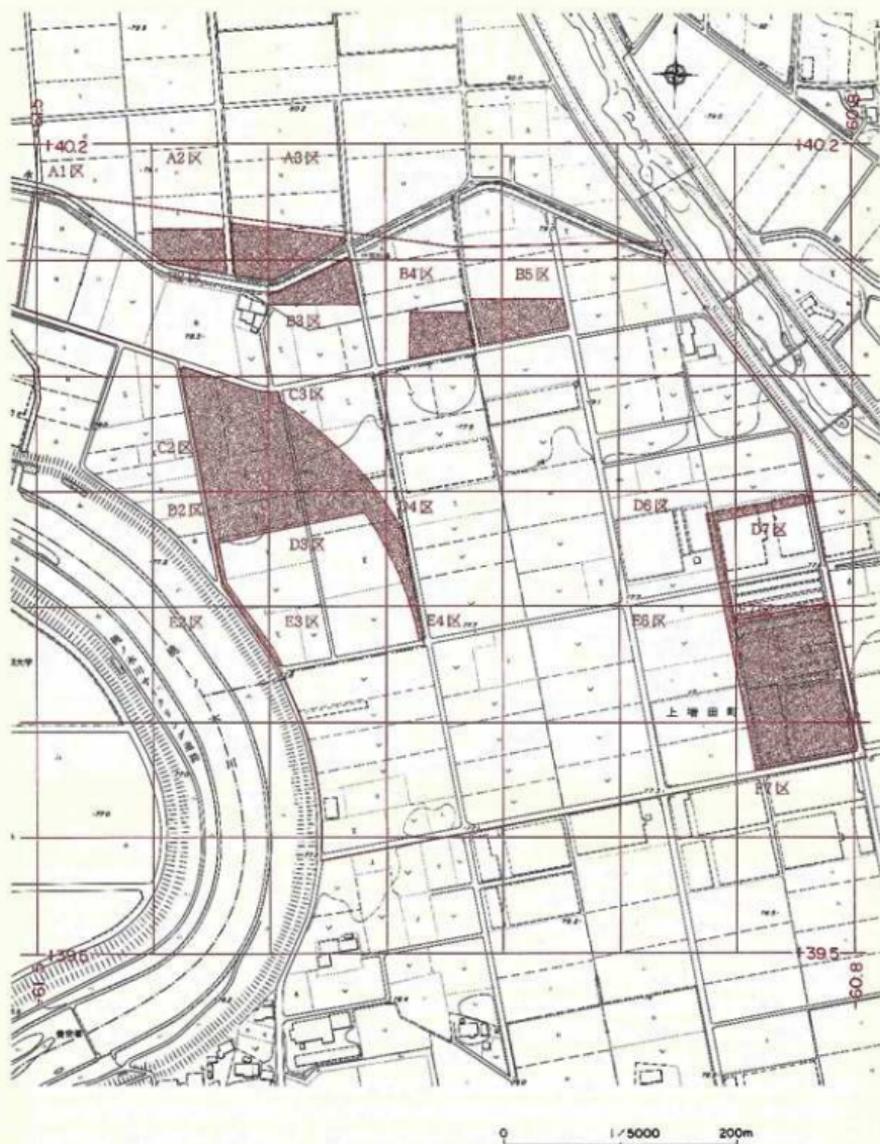
1:50,000 前橋



- 1.中原遺跡群 2.下繩引遺跡 3.上繩引遺跡 4.内堀遺跡群 5.後二子古墳 6.中二子古墳 7.前二子古墳 8.荒砥上諏訪遺跡 9.大空小学校校庭遺跡 10.荒砥東原遺跡 11.丸山古墳 12.立野古墳 13.阿久山古墳 14.荒砥荒子遺跡 15.荒砥上ノ坊遺跡 16.荒砥中屋敷遺跡 17.堤東遺跡 18.川竜皆戸遺跡 19.荒子小学校校庭遺跡 20.大久保遺跡 21.新山遺跡 22.中縣谷遺跡 23.頭無遺跡 24.柳久保水田遺跡 25.柳久保遺跡 26.下縣谷遺跡 27.譚訪遺跡 28.荒砥大日塚遺跡C 29.鶴谷遺跡 30.荒砥大日塚遺跡B 31.荒砥大日塚遺跡A 32.荒砥諏訪西遺跡 33.東京古墳 34.東原遺跡 35.宮下遺跡 36.荒砥宮田遺跡 37.荒砥前田遺跡 38.荒口前原遺跡 39.荒砥北原遺跡 40.荒砥北三木堂遺跡 41.野中天神遺跡 42.筑井八日市遺跡 43.今井白山遺跡 44.今井神社古墳 45.今井道上・道下遺跡 46.二之宮谷地遺跡 47.二之宮赤橋遺跡 48.二之宮千足遺跡 49.二之宮宮下西遺跡 50.二之宮宮東遺跡 51.飯土井上組遺跡 52.飯土井中央遺跡 53.飯土井二本松遺跡 54.石山遺跡 55.波志江今宮遺跡 56.波志江天神山遺跡 57.波志江大反田遺跡 58.波志江中峰岸遺跡 59.宮貝戸古墳群 60.二之塚古墳群 61.台所山古墳 62.八幡町遺跡 63.中經遺跡 64.赤石城址遺跡 65.宿棚古墳群 66.お富士山古墳 67.西太田遺跡 68.荒砥前原遺跡 69.青柳遺跡 70.荒砥天之宮遺跡 71.鳥原遺跡 72.宮原遺跡 73.前田遺跡 74.西三並遺跡 75.上陽10号墳 76.阿弥陀山古墳 77.荒砥下押切遺跡 78.牛伏遺跡

(注：荒砥大日塚遺跡 A.古墳～奈良・平安集落, B. B輕石下水田, C. 弥生～古墳・B輕石下水田)

第6圖 中原遺跡群周辺遺跡図



第 7 図 グリッド設定図

第 III 章 遺 構 と 遺 物

1. 調 査 の 内 容

調査は試掘調査の結果をもとに水田、住居址を中心に行ない、調査段階で確認された遺構も含めて調査を行なった。その結果、古墳時代～平安時代～中近世までの遺構が確認された。

古墳時代

B4区内に住居址5軒を確認した。また第2面調査(平安水田面下)の結果、C3区内より重複した住居址及び浅間C軽石を含む土層より畝状遺構を確認した。住居址からは古墳時代前期から古墳時代中期にかけての土器を検出した。

平安時代

調査区のほぼ全域で818年の地震に起因する洪水堆積砂礫層に覆われた水田址とその水口、足跡などを確認した。またB4区内に住居址2軒、墳砂、水路、B5区にB軽石下の畝状跡やE7・F7区に地震による地割れ、墳砂を確認した。またC2・3、D3区内には水田の陥没状況が見られた。他に水田に取水するための水路・溝等を確認した。

中 近 世

D2区内に水田面や溝を掘り込んでいる集石遺構や井戸址、土坑、溝跡などが確認された。他に近世～現代にかけての道跡や水路跡、土坑などが確認された。また試掘調査範囲B5-Q16・17グリッド内において五輪塔が検出された。

2. 住 居 址 (古墳～平安時代)

H-3号住居址 (第8図、図版1・2)

位 置 B4-O6・7、P6・7 グリッド

標 高 78.20～78.25m (平均78.23m)

床面積 13.47㎡

主軸方向 N-117°-E

形 状 長辺4.10m、短辺3.75mの隅丸方形を呈する。深さは確認面から10～20cmを測る。
(平均15cm)

床 面 ほぼ平坦で部分的に砂質の床で柔らかい。

カマド 南壁のほぼ中央に位置し、全体がやや東向きを呈する。主体部吹き口を住居内に有し、残っている煙道部を壁外に持つ。主軸方向N-10°-E、全長118cm、吹き口部幅約80cmを測る。カマドは東壁側の焼土、炭化物が吹き口付近より煙道部まで残っていた。

柱 穴 規則的に位置する4か所の柱穴が確認された。P-1 径30cm、深さ28cm。P-2 径27

cm、深さ16cm。P-3 長径36cm、短径30cm、深さ13cm。P-4 径27cm、深さ18cmを測りほぼ円形を呈する。

備考 本住居址は全体に炭化物が床面に多く見られ、遺物もつぶれた状態の物が多く検出され、焼失住居の可能性も考えられる。

遺物 住居の南側に多く検出された。図示できた遺物は、土師器塊・小型壺・甌や手づくね土器・石製品などがある。時期は古墳時代中期と思われる。

H-4号住居址 (第8・9図、図版2)

位置 B4-P8・9、Q8・9 グリッド

標高 78.13~78.20m (平均78.16m)

床面積 (13.45㎡)

主軸方向 N-1°-E

形状 長辺3.80m、短辺3.70mの隅丸方形を呈する。深さは確認面から16~20cmを測る。(平均19cm)

床面 軽石粒と細砂を含む平坦な床で柔らかい。

カマド 東壁の中央やや南寄りに位置し、壁面より外側にある。燃焼部には径7cm~13cmの支脚に使用されたと思われる石が残り、炊き口部付近に灰掻き穴も見られる。南側半分は試掘トレンチにかかり炭化物範囲のみで全体は不明。主軸方向N-96°-E。全長90cmを測る。

備考 柱穴、周溝は確認されなかった。

遺物 図示できた遺物は土師器環・壺などがある。時期は古墳時代中期と思われる。

H-5号住居址 (第10図、図版2)

位置 B4-M12・13、N12・13 グリッド

標高 78.55~78.62m (平均78.58m)

床面積 10.11㎡

主軸方向 N-96°-E

形状 長辺3.55m、短辺(3.35m)の隅丸方形を呈する。深さは確認面から28~40cmを測る。(平均34cm)

床面 全体に北東側にやや傾斜が見られ、砂質の平坦な床で柔らかくはつきりしない。遺物は北壁側に多く検出されている。

カマド 南東隅に位置すると思われるが、確認されなかった。

貯蔵穴 北壁側に長径95cm、短径60cm、深さ14cmを測る楕円形の物を確認した。遺物も貯蔵穴とその付近より多く出土している。

柱穴 東壁側中央付近に1か所確認した。P-1は長径33cm、短径26cm、深さ20cmを測り、ほぼ円形を呈する。

遺物 図示できた遺物は土師器・甕などがある。時期は古墳時代中期と思われる。

H-6号住居址 (第11図、図版3)

位置 B4-O11・12、P11・12 グリッド

標高 78.35~78.44m (平均78.39m)

床面積 10.57㎡ **主軸方向** N-3°-E

形状 長辺3.90m、短辺3.10mの隅丸長方形を呈する。深さは確認面から17~25cmを測る。(平均20.5cm)

床面 全体に細砂を含むほぼ平坦な床である。カマド吹き口付近の床はやや高く作られている。

カマド 東壁の南隅に位置し、カマド全体に粘土が使用され、吹き口部の両袖には、右側に粘土、左側に長さ32cm、幅15cmの石が使用され、15cm程地中に埋め込まれている。燃焼部に長さ15cm、幅7cmほどの支脚石も残っている。また煙道部の煙出し付近には煙道に使用されたと思われる3個の石もあり焼土の残りも良い。また住居内には左袖が70cmほど細長く残っている。土器も燃焼部より検出されている。主軸方向N-98°-Eで全長175cm、吹き口部幅35cmを測る。

貯蔵穴 住居南東隅、カマド右側に長径45cm、短径40cm、深さ16cmを測りほぼ円形を呈する。

遺物 図示できた遺物は土師器高坏・甕・小型丸底土器などがある。時期は古墳時代中期と思われる。

H-7号住居址 (第12図、図版3)

位置 B4-R7・8、S7・8 グリッド

標高 78.12~78.18m (平均78.16m)

床面積 (10.69㎡) **主軸方向** N-88°-E

形状 住居の北壁、東壁側が明確ではないが、確認できた範囲より長辺(4.40m)、短辺(3.40m)の隅丸長方形と思われる。深さは確認面から6~12cm(平均8.75cm)を測る。また遺物分布範囲と推定住居範囲とは、ほぼ同じ範囲にある。

床面 ほぼ平坦な床で軽石を含む砂質の床である。

柱穴 4か所確認した。全体に住居のやや東寄りに位置する。P-1長径34cm、短径29cm、深さ30cm。P-2長径37cm、短径30cm、深さ29cm。P-3長径34cm、短径31cm、深さ30cm。P-4長径35cm、短径31cm、深さ25cmを測る。

備考 東壁側の中央やや北側に炭化物範囲が認められ、カマドと思われるがはっきりと確認できなかった。また住居址は重複の可能性が考えられたが確認されなかった。他に床面に溝状の落ち込みが東西方向へ見られたが、遺構として確認できなかった。

遺物 図示できた遺物は、土師器・甕などがある。時期は古墳時代中期と思われる。

H-8号住居址 (第13・40図、図版3)

位置 C3-Q12、R12・13、S12・13 グリッド

標高 77.35~77.40m (平均77.37m)

床面積 13.51㎡ 主軸方向 N-133°-E

形状 長辺4.20m、短辺3.80mの隅丸長方形を呈する。深さは確認面から15~16cm (平均15.5cm)を測る。

床面 ほぼ平坦で浅間C軽石を含む締まりのある床面である。南壁側は9号住居址と重複する。新旧関係は本住居址を吸収するかたちで9号住居址と重複しているため、本住居が古いと思われる。

備考 カマド、柱穴は確認されず、住居中央付近に炭化物が、また南東壁側にも炭化物・灰等の分布が見られたが、炉址と断定できなかった。(8号住居址は平安水田面下の遺構である)

遺物 図示できた遺物は、土師器甕・高坏・器台などがある。時期は古墳時代前期~中期と思われる。

H-9号住居址 (第13・40図、図版3)

位置 C3-R11・12、S11・12・13 グリッド

標高 77.35~77.38m (平均77.37m)

床面積 15.32㎡ 主軸方向 N-106°-E

形状 長辺(4.70m)、短辺(3.70m)の長方形を呈すと思われる。南壁側は試掘トレンチにより削平を受け一部不明である。深さは確認面から15~17cm (平均16cm)を測る。

床面 平坦な床で浅間C軽石粒を含み締まっている。また灰・炭化物の範囲が広く敷きつめたように見られる。

柱穴 3か所確認され、P-1は北壁の西側にあり、長径27cm、短径20cm、深さ19cm。P-2は東壁の南隅にあり長径26cm、短径16cm、深さ11cm。P-3は東壁の南側に位置し壁外にある。長径30cm、短径25cm、深さ17cmを測りほぼ楕円形を呈す。

備考 カマドは確認されず、住居中央付近に焼土・灰などを含む炭化物を広く確認できた。炉跡か不明。(9号住居址は平安水田面下の遺構である。) 8号住居址との新旧関係は遺物などから本住居址が新しいと思われる。

遺物 図示できた遺物は、土師器甕・高坏・器台などがある。時期は古墳時代前期~中期と思われる。

H-1号住居址 (第14図、図版4)

位置 B4-K19・20 L19・20 グリッド

標高 78.71～78.85m (平均78.76m)

床面積 9.41㎡

主軸方向 N-5°-E

形状 長辺3.70m、短辺3.00mの隅丸長方形を呈する。深さは確認面から30～40cmを測る。(平均36cm)

床面 全体に平坦でやや粘性、締まりのある砂質の床で軽石粒を含む。

カマド 壁の南隅に位置し、壁面より外側にある。主軸方向N-95°-E、全長120cm、炊き口部幅50cmを測る。(煙道部立ち上がり角度35°)全体的に焼土・炭化物が多く残り、土器も検出され、残存状態は良かった。

貯蔵穴 住居南東隅に長径62cm、短径53cm、深さ14cmを測る楕円形を呈する。

柱穴 3か所確認した。住居の南壁側にP-1・2、北東壁側にP-3を確認した。ほぼ円形を呈する。P-1径27cm、深さ44cm。P-2径25cm、深さ36cm。P-3径29cm、深さ34cmを測る。

備考 住居址確認時には浅間B軽石で覆われていた。

遺物 図示できた遺物は壺2点・羽釜1点がある。時期は平安時代と思われる。

H-2号住居址 (第15図、図版4)

位置 B4-M20・21、N20・21 グリッド

標高 78.50～78.75m (平均78.65m)

床面積 12.15㎡

主軸方向 N-2°-E

形状 長辺4.05m、短辺3.90mの隅丸長方形を呈する。深さは確認面から26～41cmを測る。(平均34.75cm)

カマド 東壁の南隅に位置し、主体部、炊き口部を住居内に有し、両袖を持つ。壁面に当たる所から垂直気味に立ち上がって煙道部を壁外に持つ。主軸方向N-85°-E、全長150cm、炊き口部幅30cm (煙道部立ち上がり角度40°)、全体に焼土・両袖等が見られ残存状態は良かった。

柱穴 2か所確認した。住居址の北西側にP-1径30cm、深さ4cm。南西側にP-2径30cm、深さ7cm、円形を呈する。

備考 住居址確認時には浅間B軽石で覆われていた。

遺物 図示できた遺物は、土師質の壺などがある。時期は平安時代と思われる。

(1) 住居址について

本遺跡で確認した竪穴住居址は古墳時代～平安時代の住居址 9軒で、その内 2件は平安時代の水田面下の遺構確認トレンチにより検出した住居址である。形態は隅丸方形か長方形でカマドを伴う物、伴わない物、不明な物などがある。立地としては、B 4 区内の住居址は農業用水路を挟んで東西に位置し、1・2号住居址は平安水田(818年の砂礫で埋まった水田)の西側で、水田が東から西方向に高くなる微高地の部分にある。確認時は浅間B軽石が住居址に堆積し、表土より25～30cmの浅い位置に確認されている。用水を挟んで反対側のB 4 区内の3～7号住居址は水田範囲よりやや離れた位置にあり、表土より40～70cm下の南西から北東方向線上の微高地上に位置している。またC 3 区内の平安時代水田面下(第2面調査)より確認した住居址 8・9号は他の住居址より離れた南西方向に位置し、表土より100cm程の深い所にある。全体に1号、5号住居址の方向に向かって土地が高くなる傾向と思われる。また住居床面が細砂を含むのと、床面下が砂質層や砂礫質なのはB 4 区 1・2と5・6号住居址に挟まれた用水路の東西の確認トレンチに見られる。これは住居址がもともと広瀬川低地帯の中にあることや東側にある荒砥川の自然堤防上の低地帯に当たるため、洪水堆積物により埋まり、微高地上に住居址が作られたと思われる。現在も北に八坂用水、東に荒砥川が流れている。またC 3 区の8・9号住居址も同じく桃木川、荒砥川の自然堤防上に位置するため砂質の地層上にあると思われる。

住居址床面には柱穴、カマド付近には貯蔵穴等も確認されている。柱穴はほぼ円形、貯蔵穴は楕円形の物で、柱穴は規則的に並ぶ物(H-1号住居址)も確認されている。また水田面下で確認された8・9号住居址は、浅間C軽石を含む層でカマドを持たない住居址である。床面には焼土・炭化物も確認されているが炉跡が不明。全体に住居址が少ないのは本遺跡が桃木川・荒砥川に挟まれた一番幅の狭い低地帯に位置し、昔から水に恵まれた反面、幾多の洪水により生活面も変えたと思われ、住居址もそのつどわずかな微高地上に作り替えたと思われる。本調査区に広大な水田が存在することは、この外にも周辺の高地に住居地域があると推定される。

(2) カマドについて

1・2・3・4・6号住居址でカマドが確認された。位置は東壁、南壁側の中央付近や中央からやや南寄り、南隅に確認されている。主体部は住居内と壁外にある物など見られる。またカマドの構築材として粘土や河原石が用いられている。粘土は6号住居に見られるようにカマド全体や袖に使用されている。石は4・5号住居のカマド支脚石や6号住居カマド左袖等に見られる。また6号住居カマド煙道部埋出し付近にも石が3個ほど見られる。比較的旧利根川(広瀬川低地帯)に隣接することから、河原石や粘土などの構築材がたやすく手に入ったと思われる。

3. 平安時代水田址

(1) 水田の地形 (水田 第16~39図、図版4~15)

荒砥川と桃木川に挟まれた広瀬川低地帯と呼ばれている地域にあり、北部には赤城山の裾野が広がる。この広瀬川低地帯にはいくつかの微高地はあるが水利等において水田に適した地域である。また、洪水の不安が常に人々の生活を替えた所と思われる。群馬県下で調査されている水田、畑等は火山降下物によって覆われたものが多いが、本水田址は818(弘仁9)年の赤城山南麓一帯で起こった地震による洪水堆積物で埋まった水田である。本調査区の水田は八坂用水を挟んで北側にA2・3、B2・3区(標高78.25~78.90m)の水田が広がり南側にB3区(78.40~78.70m)、東側にB4・5区(78.00~78.65m)の水田がある。また道路を挟んだ南側にB2、C2・3、D2・3・4、E2・3・4区(77.20~78.20m)の水田があり、さらに南東方向約300m程の所にD6・7、E6・7、F7・8区(76.10~77.00m)の水田がある。水田面積はA2区(標高78.90mを最高点として北側から八坂用水にかけて65cmの比高差を測り、B3区では北側から南西方向にかけて30cm、B4・5区で北側から南東方向にかけて65cmの比高差を測る。またB2、C2・3、D2・3・4、E2・3・4区ではC2区(標高78.20mを最高点としE4区(標高77.20mを最低点として100cmの比高差を測ることができるが、実際には水田範囲中央付近を北西から南東方向に流れる水路・小溝等に給水・排水をしながら水は流れたと思われる。また、D6・7、E6・7、F7・8区ではD7区北側の標高77.00mを最高点に、F7区(標高76.10mとの間に90cmの比高差を持つ。

全体にA2区(標高78.90mを最高にF7区(76.10mを最低点として比高差280cm、直線距離730mを測り、北側から南北方向へおよそ4/1000の勾配となる。畦畔で区画された一区画水田内でも高低差があり地形勾配と同様に、北側より南方向へ平均的に傾斜していると思われる。

(2) 水田の区画

調査区の区画は条里地割にもとづく方形区画が大半を占めるが、それ以外に変則的区画のものもあり、方形状の変則区画や楕円状の区画が見られる。また地形(水路、溝等の方向や地形)に合わせたものなどがある。方形状の変則区画はA2・3、B3、B5、C2・3、D3・4、E7、F7区内に見られ、他の水田面積より面積が小さく、東西横長、南北縦長状に細長く作られている。また水田一区画の形状や面積は規則性が見られず、わずかに東西・南北方向の畦畔が一定する区画がA3、B3区、C2・3区、D6・7区、E7区に見られ、区割制の水田とは様相を異にしているところもある。地形を生かし地理的条件に則した水田の区割りと思われる。

(3) 畦 畔

調査区内に見られる畦畔は、緩勾配を整地し造られている。水田は北側のA2区内水田を最高点、F7区内の水田を最低点として、北西から南東方向に高低差を持ち広がっている。畦畔の走

行は東西南北方向に規則的に伸びる区域も見られるが、他は曲線や湾曲し、走行性に違いが見られる。畦畔は水田面と同じ褐色粘質土層で作られている。また、畦畔には幅の大小の差により大畦畔、小畦畔と呼ばれているように差が見られる。ここで見られる大畦畔とは、一区画を囲むものではなく、条里制水田の坪を区画する畦畔と思われる。確認された大畦畔はA3区、B3区に南北方向に走行するもの、B4・B5区内に東西・南北に交点を持つもの、C3区、D3区内に水路を挟んで南北に伸び、途中で東方向に交点を持つものや、D6区、E7区内の東西方向に走行するもの等が見られる。それぞれの幅や形状はA3区、B3区内の畦畔で南北方向で上端幅30~70cm、下端幅60~90cm、水田との比高差は東側で8~12cm、西側で3~10cmである。B4・5区内の畦畔は東西方向で上端幅35~50cm、下端幅60~120cm、比高差は南側7~19cm、北側6~20cm、南北方向で上端幅60~100cm、下端幅90~110cm、比高は南側で5~18cm、北側で4~20cm。C3区、D3区内の畦畔ではC3-L2グリッド内を交点として南方向の畦畔で上端幅30~60cm、下端幅50~100cm、比高差は東側で5~18cm、西側で4~20cm。北方向の畦畔で上端幅30~65cm、下端幅50~80cm、比高差は東側3~30cm、西側で7~20cm（西側の畦畔は上端幅20~30cm、下端幅30~70cmやや幅が狭い）を測る。D6区内の畦畔は東西方向の畦畔で上端幅30~70cm、下端幅75~110cm、比高差は南側10cm、北側で20cm測る。また、E7区内の東西方向畦畔で上端幅35~120cm、下端幅60~150cm、比高差は南側で3~16cm、北側で6~13cmを測る。

全体の断面は、台形状（かまぼこ形）で、規模の大きいものは上端幅100cm、下端幅150cm、小さいもので上端幅30cm、下端幅30cmを測り、他の小畦畔と比較すると大畦畔が平均上端幅で20cm、下端幅22cm程幅広くなっている。大畦畔は東西、南北にほぼ直交しているが、A3区、B3区内の大畦畔は東側の小区画水田に平行する水路と南北方向に走行している。他にA3区、B3区、E7区内にも大畦畔と平行する小区画水田（水調整のためか）が見られる。

平安時代の水田の初源は条里制水田という長地形や半折形であるが、この遺跡の水田面に見られる区画は、現地形に沿った変則区画が多く、水田面積も大小様々である。

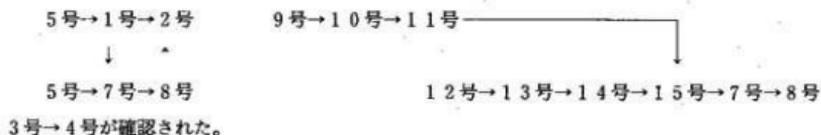
しかし、東西・南北に直行する縦長・横長の個々の一区画水田に見られる区割りは、統一された大きさの区割りはされていないが、ほぼ東西・南北方向に合わせた小区割りに当てはまる。各区に見られる大畦畔は規則性が見られ、東西・南北に直行し、長さ109mの条里制水田区画にほぼ当てはまり、坪としての区割りと思われる。更に区画の長地形・半折形を小区画に分けていると思われるE7区内水田や地形に沿って改田されたと思われる変則水田もC2・3区内に見られる。また、水田の一区画の大きさや形が様々な様相を呈しているのは、河川に挟まれた低地帯に位置するため、洪水等の水害を受け易いと思われ、そのつど区画が作り替えられたと思われる。

（4）水口、配水について

全体を砂礫層に覆われた水田は一区画の面積や形にはあまり統一性が見られないが区画を仕切

った畦畔の要所要所に水口があり、水の取り入れや、この部分によって配水が行われてきた。水口の位置は基本的には一区画の水田を囲む東西・南北の畦畔に数か所設置されているものが多い見られ、各水田は北から南に配水している。水田全体では、A2区の北側に位置する20号水田(78.90m)から最も南に位置するF7区の278号水田(76.10m)の間には280cmの標高差があり、各水田への配水は緩やかな勾配と水路・水口を通じて行われている。

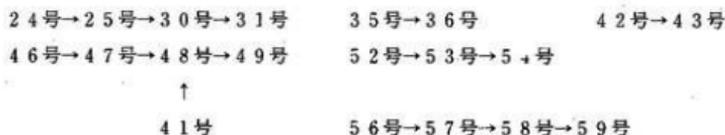
調査区北側に位置する八坂用水を挟んだ西側のA2、B2区では、1～19号水田があり、北側の12号水田(78.75m)より南側の8号水田(78.25m)へ配水している。比高差は50cmを測り、水口の幅は上端幅15～80cm、下端幅5～50cmを測る。しかし1～19号水田中、16・17・18・19号水田では区画が部分的のため水口は検出されなかった。水口の設置か所は、東西畦畔と南北畦畔の接合部付近と、中央部に造られたものがある。他に2・7・15号水田は2か所より配水されている。また6号水田は変形区画を呈し、水口が1か所しかなく、給・配水の水口か不明である。全体に水口部分の流水による侵食の凹みは数か所見られた。実際に判明している配水経路は、



1～19号水田と農道を挟んで東のA2・3、B2・3区では、20～60・72号水田が検出され、北側の20号水田(78.90m)を最高に、南側の32・37号水田(78.45m)を最低地として配水されている。比高差は45cmを測り、水口の幅は上端幅30～75cm、下端幅9～30cmを測る。水口は東西畦畔と南北畦畔の接合部付近と東西畦畔の中央よりやや東側にある。北から南への配水となり、八坂用水を挟んだ南側のB3区水田に続くと思われる。

また、A3区の44号～49号水田は他の水田面より面積が小さく、南北に細長い区画を呈し小さいもので14.6㎡を測る。水口は東西畦畔の西側に規則性を持って南北方向に並び、東側には平行して水路が走行している。西側には大区画と思われる畦畔が見られ、畦畔を挟んで東側と西側の水田区画形態が異なっており、西側は不整形な区画が多く、東側はほぼ東西に細長い形態が見られる。水口は東側の方が残りが良い。

また、八坂用水を挟んだ南側のB3区水田区画と畦畔がほぼ同じ方向で形状もほぼ同じでと考えられ、B3区水田に続くと思われる。また北側の21号区画は他の水田より一段高く、微高地状になっており、水田で、はっきりしない。実際に判明している配水経路は、



等が確認された。

八坂用水の南側に位置するB3区は61～71・73号水田が検出され、用水を挟んだ北側のA3区の水田と同じ形態を示し、北から南に配水している。標高は68号水田(78.70m)より61・63・67号水田(78.40～78.55m)へ配水され、比高差は15～30cmを測る。水口の幅は上端幅16～40cm、下端幅5～25cmを測り、水口の施設か所は東西畦畔と南北畦畔の接合部付近と東西畦畔の中央部に見られる。判明している配水路は、

73号→64号→65号 66号→67号 62号→63号

↓ ↓

69号→70号→71号

で、北から南への配水となる。

B4・B5区の調査区は74～95号水田まで検出された。全体に西側より東側のB5区内の方が残りが良い。標高は74・75号水田(78.65m)を最高地、95号水田(78.00m)を最低地として、65cmの比高差を測る。水口は、東西畦畔と南北畦畔の接合部付近に見られ、上端幅17～50cm、下端幅5～38cmを測る。

B5区内には大区画と思われる畦畔の交差部が東西・南北に通り、配水はその東西畦畔を中心に西側から東側の95号水田(98.00m)に配水されていると思われる。(西側は微高地になっており住居址が点在する)

配水経路は、

90号→91号→94号

81号→83号→87号

↓

89号→92号→95号

↑

84号→85号

↓

93号

が確認されている。水口には流水による侵食の凹みが見られる。

B2区、C2・3区、D2・3・4区、E2・4区は調査区全体の中で面積が一番広く、96～199号水田(184・186号は欠番)まで検出され、138号水田(78.20m)を最高地として、20m道路部分の136号水田(77.20m)を最低地とし、比高差100cmを測り、北から南に勾配を持つ。C3・D3区内には、東西と南北方向に交差する大区画の畦畔がある。

水口も一区画に給・配水の水口等があり、取水・排水方法も調査区内を北西から南東に流れる大水路(W-31)と他の水田に伴う2本の水路(W-32・33)等によって行なわれている。大水路(W-31)を挟んだ北側は97号水田からの配水が見られ、99号・110号・126号・127号水田からは大水路への排水が見られる。また、大水路(W-31)の南側は143号水田(78.10m)より165号水田(77.55m)までの配水経路が判り、比高差は55cmを測る。また149号水田には水路への排水口、153号水田には水路からの取水口も見られる。

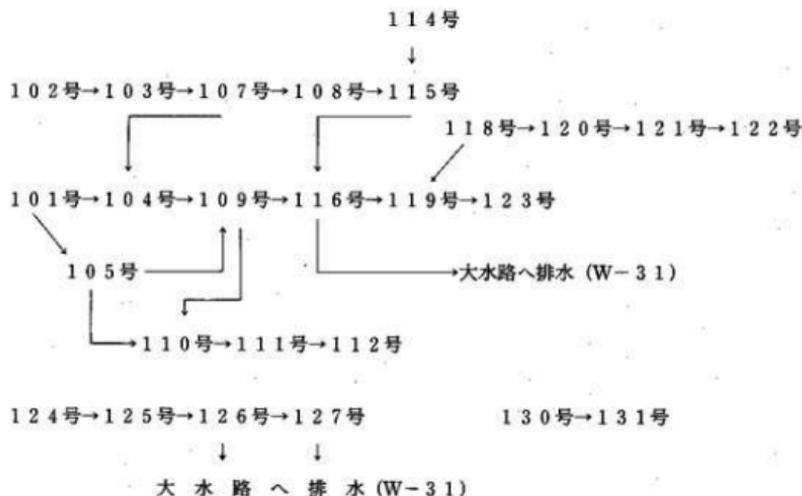
さらに南側の水路と水路に挟まれた水田では、168号水田(78.05m)から189号水田(77.80

m) への配水が判る。比高差は25cmとあまり高低差がない。また169号水田には、水路からの取水口が、189号水田には排水口がそれぞれある。各水田の配水は、168・169号水田より行なわれていると思われるが、168号水田への取水口は不明である。20m 道路部分の南端D4・E4区の配水は130号水田に水口が1か所検出され、130号水田から131号水田への配水と思われる。

調査区西側、桃木川沿いの3m道路部分は調査範囲(幅)が狭いため、畦畔の一部が検出されたのみで水口は検出されなかった。

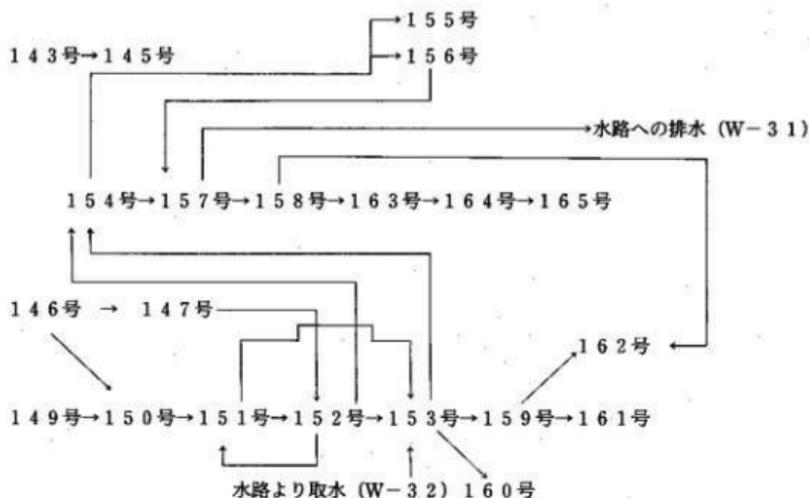
他にB2・C2区内では、大水路(W-31)北側の138号水田から142号水田までの水田には水口が見られず、標高差より138号水田(78.20m)から142号水田(77.80m)への配水と思われる。全体に北から南方向の配水となる。

また、大畦畔や小畦畔の水口には、流水によって侵食された凹みが認められる。これは、大区画を挟んだ水田の高低差と流水の多さによって出来たと思われる。また水路には水田からの排水、侵食跡も見られる。水口の幅は全体に上端幅17~123cm、下端幅4~70cmを測る。水口は、東西畦畔と南北畦畔の接合部付近と、中央部の水路際にある。実際に判明している配水経路はC2・3区、D3・4区、E4区内の20m道路部分の96号~136号水田では、97号→98号→99号で大水路(W-31)への排水となる外に、



等の配水経路が考えられる。

水路を挟んだ南側のC2・3区、D2・3区と3m道路部分のE2調査区の143号~199号水田の配水経路は、



149号 → 水路へ排水 (W-32)

水路より取水 (W-32) → 169号 → 173号 → 174号 → 182号

↓ ↓
172号 → 180号 → 181号 → 183号 → 185号 → 189号

168号 → 171号 → 191号

187号 → 水路へ排水 (W-32)

水路 (W-33) を挟んだ西側では、

166号 → 167号 → 170号

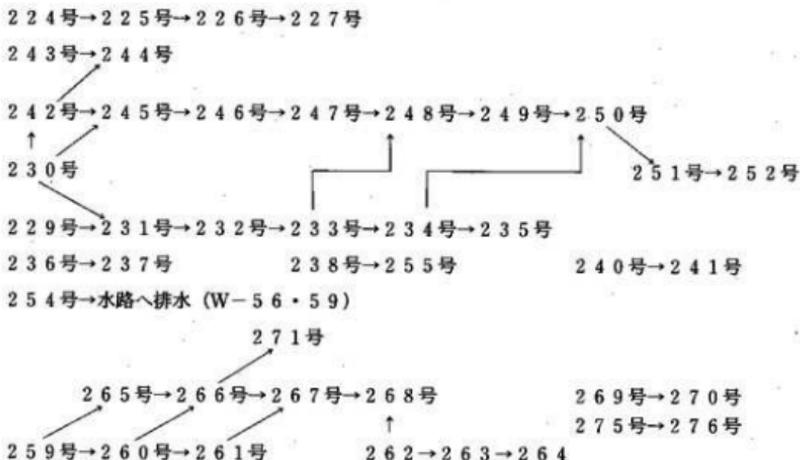
175号 → 176号等が確認されている。

D6・7区, E6・7区, F7・8区は200号～279号水田まで検出された。全体に200号水田(77.00m)を最高地に、277・278号水田(76.10m)を最低地として90cmの比高差を測る。各水田への配水は8m道路部分では212号水田から220号水田にかけて北から南への配水が見られる。またE6・7区, F7・8区は水田区画にやや規則性があり、F7区西側の南北に伸びる縦畦畔224号から237・252号水田まで配水方向が一定する。全体に他の区画より畦畔の走行に規則性があり、比較的緩やかな勾配を利用して、各水田に配水されたと思われる。またD6区内221号と222号水田の間および238・253・254号と240・255号水田の間には大畦畔が見られる。他に大小の水路も検出されており、水田耕作に適した場所と思われる。水口の幅は、上端幅11～80cm、下端幅5～54cmを測る。水口は東西畦畔と南北畦畔の接合部付近と中央部にある。

実際に判明している配水経路はD6・7区内の8m道路部分の200号～222号水田では、



道路を挟んだ南側水田の223号～279号水田では、



等が確認されている。

D6・7, E6・7, F7・8区全体では、水口を伴う水田区画が検出でき、北から南方向への勾配を利用した棚田状に作られ、水田の形状は一定していない。取水、排水は水田に伴う水路(W-49・57・59)を通して行なわれていたと思われる。

(5) 畦畔交差部の形状について

遺跡全体の畦畔と畦畔を結ぶ交差部の形状は、①～⑤のようなものが見られる。特に変形区画の交差部には①③④⑤などの形状が多く、A2・B2区で①④⑤などが見られる。A3・B3・4・5区では②④などが見られ、B2, C2・3, D2・3・4, E2・3・4区では①②③④⑤などの形状のものがあり、D6・7, E6・7, F7・8区では②④などのものが多い。

全体に規則性のある水田では①②などの形状で、東西・南北の畦畔が直交する形になる。また、変形区画の水田では①③④⑤などの形状のものがあり、水田の区画が一定の形を示さず、地形に沿った形の水田の区画と区画を結ぶ畦畔に見られる。

(注：交差部の形状凡例 ①ト ②ト ③> ④X ⑤人)

(6) 特殊水田区画と畦畔

一区画を形成する水田区画には、色々な形状や面積を示すものが多く、地形的制約を受けて作られたものや、他の水田への補助的な役割を示すものなどがある。全調査区で、そうした役割をもつと思われる区画や畦畔などの形状を示すものが見られる。A2区の6号水田は、1号と5号水田に挟まれている水田区画である。周りの水田区画と比べると、形状や面積が極端に違い、水口も南側に1か所あるのみで、給水か、排水か用途がはっきりしない。流水方向で見ると、6号から7号水田に配水口を示すが、給水のための水口がない。考えられることは、水量調節用か、保水用などの他の目的に使用されたと考えられる。

また、17号水田は他の水田面と違い、全体に無数の凹みが見られる。人間の足跡か、動物の蹄痕か、はっきりせず、他の水田と使用目的が違うと思われる。さらにA3・B3区内の44～49号水田は東側に水路、西側が大畦畔に挟まれた小区画水田が並び、北から南に向かって配水が見られ、南方向に行くにしたがって、水田区画が細長く小さくなる。また、C3・D3区内117～119号（南北に細長い）水田や、E7区の238・253・254号水田も同じ形状の水田区画が見られる。A3・B3区とE7区内の小区画水田には、大畦畔が伴っている。小区画水田は水量調節用の区画に使用したと考えられる。

また、畦畔に見られる特殊なものとしてA2区内の15号と18号水田に挟まれている畦畔は他の畦畔のサイズ（平均上端幅24cm下端幅49cm）に対して、ここの畦畔は上端幅165～235cm、下端幅195～260cmと幅広く、北東から南東方向にやや勾配を持ち、畦畔の中央部分に溝状の凹みを持つ。また畦畔面には足跡と思われる無数の凹みがあり、区画を分ける畦畔と言うよりは、作業用の通り道か、足洗い場や荷物の搬入用の畦畔と思われる。また畦畔上の凹みは17号水田面の無数の凹みと似ており、17号水田との関連性も考えられる。

他にD2・3区の南側に水路（W-32）を挟んで作られている畦畔は、畦畔途中に他に違った幅広い区画がある。153・160・183・187号水田に接して張り出した場所が3か所あり、両側が水路（W-32）と水田に挟まれた位置にある。その内の一番幅広い所より土器片も数点検出されている。さらに幅広い部分は南方向に続くと思われる。

また試掘調査ではその先が微高地状にやや高くなり、土器も検出されていることから住居址へ続く幅の広い畦畔と思われる。張り出した部分は作業場か、祭祀に使われたものとも考えられる。

(7) 足跡について

調査区全体に人間の足跡が多数認められた。その多くの形状は明瞭なもの、形状が崩れていて凹凸のみを残すものなどがある。全体に水田を覆った洪水堆積砂礫層が比較的厚く堆積しているため、多数検出することができた。足跡の良好なものは、A2区内13号水田面下に東西方向に走行跡を残すものや、15号水田と18号水田に挟まれた作業用の道畦畔と思われる溝状に凹

んだ付近に踏み跡痕が認められた。

またB5区内87号水田面下には、東側に位置する大畦畔の西側に南北方向に走行する足跡などが見られる。他にC2区内の138号・141号・143号・144号・146号・147号C3区内98号・101号・105号・110号・111号・152号・155号・156号・157号、D3区内122号・123号・158号・159号・163号・164号、D4区内126号・127号・129号・130号・131号、E4区内132号・133号・134号D6区内221号水田面下に残る足跡は比較的保存が良好である。

明瞭な足跡は水田面に3～5cm程の凹みが残る。足跡の走行状況を見ると、主に水田面下の横断や大水路(W-31)端の畦畔に沿って、帯状に連続して続く足跡が多く見られる。特にC2・3区、D3・4区内の足跡は大水路(W-31)に面した両側の水田端に沿った走行が多い。また大水路(W-31)両端に面した水田面下には無数の踏跡が残る水田もある。主にここで見られる足跡は作業道としての畦畔に数か所見られるが小畦畔上などには見られず、水路側か、水田面中央付近に走行が多く見られる。水田面上の耕作痕ははっきりしたものが検出されず、わずかに筋状に円形の穴と凹凸状とが重なった耕作痕らしきものが見られるだけで、はっきりしない。また耕作時に利用した動物の蹄痕らしきものは、不明瞭ではっきり判断できなかった。

(8) 地震による洪水堆積層、地割れ及び陥没水田について

全調査区の水田面を覆った洪水堆積砂礫層は、事前の自然科学的分析結果によると、「調査区一帯に大規模な泥流や洪水が発生したことが知られている。歪角礫や角礫に富むことなどから、この洪水堆積物をもたらした洪水は特殊で規模が大きかった可能性が考えられる。」ことが判明している。また、この洪水は、検出された多くの堆積物の中に、榛名一洗川テフラや、榛名一伊香保テフラの堆積、さらに818(弘仁9)年の地震に伴う山崩れに起因する、洪水に対応するものが存在することから、赤城山南麓において、818(弘仁9)年の大地震で大規模な山崩れが発生し、河川沿いの地域で発生した泥流や洪水によることが最近明らかにされている。(資料集 赤城山麓の歴史地震 1991 新里村教育委員会)

また地震に伴う噴砂・地割れは調査区のB2・4、D3、F7区内の深掘り土層断面に見られ、平面的にはE7、F7区内に集中し、水田面や水路面に地割れ跡が多く見られる。特にE7区Q20グリッド付近の地割れ跡は、北東方向から南西方向への地割れの筋が集中して見られる。地割れは水田面より亀裂が生じ、浅間C軽石を含む黒褐色土層や黒褐色粘質土まで亀裂が確認でき、地割れの埋土もE7区の場合は細砂や明黄褐色粘質土などの土層で埋まっている。

また、水田面には陥没も多く見られ、特にC2・3、D3区には陥没跡が各水田にまたがって蛇行しながら帯状に続いている。確認された水田は、97号・98号・101号・102号に続くもので、陥没幅は3～4m、水田との陥没差は、最小102号水田で7cm、最大98号水田で31cmを測る。さらに122号・123号水田は陥没幅が約5mで水田面との陥没差は、最小12

3号水田で10cm、最大123号水田で21cmを測る。また148号・149号、145号・146号水田より水路へ続くものは、陥没幅7～8mで水田面との陥没差は、最小148号水田で5cm、最大は149号水田の31cmを測る。他に147号・152号・154号、153号・159号・157号・158号・163号・164号水田に続く陥没は、幅5～8mを測り、水田面との陥没差は、最小159号水田で15cm、最大164号水田で34cmを測り、水田面上を大きく蛇行して続いている。また162号水田には円形の陥没跡が見られ、幅は3.5m、水田面からの陥没差は20cmを測る。更に、水田面陥没に伴って水田区画を区切る畦畔にも陥没が見られる。最大は147号水田と152号水田を区画する畦畔で通常の部分と比べると29.5cm陥没し、最小でも154号・153号水田を区画する畦畔で通常より16cm陥没している。全体では陥没幅3～8mを測り、水田面陥没差は最小5cm、最大34cmを測り、畦畔も通常より最大29.5cm、最小16cmを測る。

また、陥没状況を断面的に見ると、褐灰色粘質土層（水田面層）より始まり浅間C軽石を含む黒褐色粘質土や中間層に見られる灰褐色砂質層や、酸化を帯びる黒褐色粘質土、黒色や黒褐色の粘質土が見られる。

水田に見られる陥没は、水田の粘質性の土と陥没している状況（溝状の蛇行跡）などから、水田面下が湿地状の谷地か、水路状の窪みが連続しているところが、地震後の洪水堆積物などによって沈下したことにより生じたのではないかと推測できる。

（9）プラントオパール分析について

前橋市教育委員会の行なったプラントオパール分析の結果、818（弘仁9）年の地震に伴う洪水堆積物層直下から畦畔状遺構が検出され、当時の水田址と見られ、同遺構における稲作の検証を試みた結果、遺構検出面、水田面部と畦畔から採取した資料について、分析を行なった結果、全ての資料からイネのプラントオパールが検出された。プラントオパール密度7,700～16,500個/8といずれも非常に高い値である。（プラントオパールが試料18あたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこが稲作が行われていた可能性が高いと判断している。）また同層は洪水堆積物層で覆われていることから、上層から後代のプラントオパールが混入したことは考え難い。したがって中原遺跡群で稲作が行なわれていた可能性は極めて高い。尚、畦畔上でもイネのプラントオパールが多量に検出されていることから、畦畔の作り変えや畔の塗り替えが行われた可能性も考えられる。

4. 水田面下遺構確認トレンチ調査について

全調査区の水田面下遺構確認調査では、各区にトレンチを入れ、古墳時代やそれ以前の遺構確認を行なった。その結果、A2・3区では古墳時代の土器片（古墳前期）などが浅間C軽石が混入する土層より出土したが、遺構は検出されなかった。

B3・4・5区では、遺構・遺物の検出はなかった。またC2・3、D2・3・4区内では、C3区内(20m道路部分)より、浅間C軽石を含む土層面より住居址2軒(重複住居)が検出され、古墳時代前期～中期の土器を検出した。

また、住居址東側より浅間C軽石を含む砂層が堆積した畝状遺構が検出された。他の遺構は検出されなかった。またE6・7、F7・8区は浅間C軽石の堆積は見られたが遺構は検出されなかった。

5. 水路・溝について

調査区全体に検出した水路、溝等は64条あり、平安時代水田面上を中心として前後の土層面で確認され、平安時代以前と推定される溝や中近世の水路を検出した。

各調査区A2・3、B2・3区では水路の両端に畦畔を伴うものW-18や水田畦畔を切っているW-2・9等や水田面より下層に位置すると思われるW-6・10(C軽石を多く含む)などや近世～現代の遺物を含むW-1・20などを検出した。流水方向は北から南へのものが多く、とくにW-18は水田畦畔と平行している。またA2・3区のA2-U20グリッド付近は、やや微高地上になりその付近より南側にかけて洪水堆積物(砂礫や軽石)が水田面に多く確認され、溝もその洪水堆積物で覆われたものが多く確認された。B4・5区では畦畔や水田面を掘り込んでいる溝W-27～29やB軽石に覆われている溝W-23などや近世の溝W-21なども検出されている。比較的B4・5区は向居址を挟んで東西に位置しとくに東側に多く水田面と畦畔を掘り込んでいる溝がある。流水方向も高低差で見るとさまざまな方向があり時期的な差と考えられる。

C2・3、D2・3・4区では全調査区で一番長い水路W-31が検出され、他にW-32・33などの水田に伴う水路も見られる。いずれの水路も両端に畦畔が作られている。またW-31は他の水路より規模が大きく、水田から水路への排水口も99・110・116・126・127号の各水田に見られる。またW-31の水路に沿った両端の水田面には、水路に沿って踏み歩いた多数の足跡やD4-N2・3グリッド付近の両岸にも多数の足跡があり、比較的勾配のゆるやかな幅広い場所で水量の少ない時は、水路の横断が可能な場所だったと思われる。W-31内より古墳時代～平安時代にかけての高坏、壘片などの遺物がD3-F20グリッド付近やD4-M1・2グリッド付近に検出された。他にW-32・33はC2-P11・12グリッド付近で分岐し水田内をやや蛇行しながら北か南に流れ、W-32には153・169号水田に取水口、149・187号水田には排水口が検出されている。W-31は形態からおもに自然河川水路を利用した排水路としての施設に使用したと考えられ、W-32・33は各水田への取水・排水を目的とした水路と思われる。水路W-42では木杭や近世の遺物等が検出された。さらにD7、E7、F7・8区では中近世の水路や水田に伴う水路、溝などや818(弘仁9)年の地震による洪水、地割れによると推定される水路の決壊跡や水害により畦畔、田面が削られてきた

小溝と、決壊による寸断や流水による釜状の削り跡などがE7-L12・13グリッド付近やW-48・49の合流部、E7-U13グリッド付近のW-49よりW-56に流水する合流部付近に見られる。特にW-49は両端に畦畔を持ち、南側のE7-V13グリッド付近でW-59と合流しW-56に流水したと考えられ、(W-59の流水方向は標高差などによる方向である) W-49・56・59はこの調査区の中心的役割をなす水路と思われる。またW-57・59も水田に伴う水路と考えられ、W-57はW-59より取水を目的とした水路と考えられ、取水口F7-B11・12グリッド付近の水底はW-59の標高が75.98mでW-57が76.02mと少し差があるがW-57の(東側)下流で75.95mを測り、やや下降傾向を示しW-59とW-57の分岐点(取水口)に水量調節等の施設を作り取水したとも考えられる。水路、溝からはW-56よりE7-V17~X21グリッドにかけて古墳時代~平安時代の須恵器、埴、長頸壺、土師器環などの土器が検出されている。

また、この調査区は地震による地割れや断面に見られる噴砂跡、溝内の地割れ(W-57)や調査区全体を覆った洪水堆積層など地震によると思われる影響が各所で見られる。地形的に東側に荒砥川、西側に桃木川などの河川があり、水量に恵まれ水田への取水のための水路・溝等が多く作られたものと思われる。

(各調査区の水路溝等の計測値は一表に記載し報告する。)

6. 畝状遺構(古墳時代)(第40図、図版15)

水面下遺構確認トレンチより畝状遺構が確認された。位置はC3-Q13・14、R13・14、S13~16、T13~16、U15グリッド内にある。確認面は、平安時代水田面下の浅間C軽石が混入する面で南北方向に13本平行して窪みが確認された。窪みの中には浅間C軽石を多く含む砂層が堆積していた。確認した窪みは長い物で4.7m、短い物で1.5m、上幅も15~40cm内の物が多い。深さも5~15cm前後の幅である。

遺物は畝状遺構の窪みからは検出されず、付近からは古墳時代の遺物が多く検出されている。また、西側より住居址2軒(古墳時代前期~中期の遺物を伴う)が確認されていることから、平安時代水田耕作以前の畝状遺構と思われる。

7. 畝状遺構(818年洪水堆積層下)(第21・39図、図版15)

B2、C2調査区の境に位置し、B2-Y8・9、C2-A8・9、B8・9グリッド内に畝状遺構を確認した。西側は溝により削られている。東側、南側は水田に接し、138号水田の北西隅に位置する一段高いところにある。標高78.25~78.27mである。窪みは4本確認された。長さは3.7~8.0m、掘り込みは深さ10~16cm、畝幅は100~140mを測る。確認面は水田面と同じ砂礫の層で確認し、やや微高地であるため礫の少ない砂層で覆われていた。畝の窪み部分には、にぶい黄橙色の砂質土が堆積し畝と畝の間には耕作痕と思われる黒褐色の土層の帯が見られる。時期

的には上層に浅間山火山灰のB軽石層(1108年)があり、その下の818年の砂礫に埋められていることから平安時代の遺構と思われる。

F7調査区の畝状遺構は南西隅に位置し、F7-G4・5、H4・5、I4・5グリッド内とF7-G7~9、H7~9、I7~10グリッド内に畝状遺構を確認した。遺構のある所は、東側、北側に水田、溝等と接する標高76.40mで一段高い所にある。確認面は砂層で覆われており棚状の窪みには明黄褐色土が砂層の下に堆積している。また付近の溝、水田面にも見られ、水田、溝を覆った洪水堆積物と同じと思われる同じ時期に埋まったと考えられる。確認した畝は長さ6.5~10.5m、上幅0.8m~1.0m、下幅40~50cm、掘り込み10cm前後で畝と畝との間は1.5m前後を測る。

8. 畝状遺構(浅間B軽石下)(第41図、図版16)

B5調査区の北壁側中央付近から東方向I7~10・J4~13・K4~13・L4~13・M9グリッド内に耕作の畝状遺構を確認した。確認面は平安時代水田を818(弘仁9)年の洪水で覆った砂礫層の面で確認され、さらに東壁断面により1108年の浅間山噴出火山灰である浅間B軽石層の下層褐色土層が818年の砂礫層を掘り込んで作られていることを確認した。標高は東から西へ78.30~78.40mの間に位置している。遺構は東壁側より規則的に並んで蛇行しながら、西方向へ小溝状に続くため畝跡と見られる。全体に砂礫層を5~12cm程掘り込んでいる。また畝幅は140~180cmを測り、西方向に行くに従って遺構は確認できなくなる。畝状遺構は東壁側断面に見られるように砂礫層(818年の洪水堆積層)を上層が掘り込んで溝状に細長く作られている。さらに砂礫層の下は平安水田面であることから、818年の洪水堆積土で埋まるまで水田として使用し、その後水田として使用不可能となり、一定の時期を置いて畑作に変わり浅間B軽石火山灰が降下するまでの間、水田以外の耕作に使用されたと思われる。

9. 集石遺構(第42図、図版16)

D2調査区の北西隅、D2-B12・13、C12・13、D12グリッド内に位置する。確認面は、平安時代水田を覆った砂礫層の上面より確認され、長さ9.6m、幅1.0~1.8mを測り、細長く南北方向に広がっている。遺構は大小様々な石が不規則に並び、C12グリッド付近は集中して重なっている。また、171号水田と集石下を通過して南北に伸びるW-33を浅く掘り込んで作られている。遺物は土師器片や鉄製品、古銭、骨などを検出した。特に骨は、動物の歯の部分と思われる。古銭は北宋銭の皇宋通宝(宝元2年、1039年)で、日本では平安時代に当たることから推定すると、この遺構は11世紀以降のものと思われる。また動物の骨や、鉄製品、古銭などが出土していることから墓塚的な遺構とも考えられるが、W-33などが重複していることや遺物が砂で酸化し、広い範囲に散らばっていることから流れ込みとも推定でき、遺構の性格や目的が明確でないため集石遺構とした。

10. 土 坑 (第41・44図、図版16)

調査区のA2・3, B3・4・5区内に133か所の土坑を確認した。標高はA2区78.80m, A3区78.70m~78.95m, B3区78.60m~78.85m, B4区78.30m~78.70m, B5区78.25m~78.65mの間で確認した。土坑の埋土はA2区暗褐色土層、A3区褐灰・灰褐色土層、B3区褐色土層、B4区に黄褐色土層、B5区灰褐色土層で、いずれの土層も細砂、小礫を含み軽石を含む土坑も見られた。全体にB4区の一部を除いて、818年の洪水堆積砂礫層より上で確認され、A3、B5区では現耕作土層下より浅間B軽石層を切って水田面を掘り込んでいるものなど見られた。また特殊土坑としてB4区内の46・47号がある。他にA2・3, B3区やB5区の一部で見られる土坑は、形状がほぼ同じで近世の土坑と思われる。またB5区に集中して多くの土坑が確認され、重複や大きさの異なるものが見られ、他の土坑と違った用途に使用されたと思われる。遺物等は検出されなかった。時期は不明である。

以上 土坑の法量は、(P58)、別表に記載する。

(1) 特殊土坑について (第44図、図版16)

B4区内で確認された46, 47号土坑は明黄褐色粘土を使用したもので、確認時は二重にリングが巻かれていた。標高は78.30m地点に位置する。46号土坑は砂質のに黄褐色土で埋まっている。壁面は1~2cmの粘土が貼りつけられて一周する。底は5~6cmの厚みの粘土が貼られて、桶の台部と思われる凹形の窪みがリング状に底の粘土に残る。47号土坑は46号より一周り大きい。壁面には粘土の貼り跡が見られず、底部に2cm程粘土が貼られている。底部には凹状の窪み跡は見られない。用途は、水を溜めて置く桶と思われ、水漏れ防止用の粘土と思われる。また遺物は検出されず粘土面にも加工材などの跡は残っていない。時期は不明である。

11. 井 戸 址

1-1号井戸址 (第43図、図版16)

位 置 D7-D7グリッド

標 高 76.95m

形 状 開口部は径150cm前後のほぼ円形。断面形はロート状と思われるが壁面が崩れている為推定である。深さは確認面より130cmを測る。

備 考 確認面は水田面に堆積した砂礫層の面に位置し、灰褐色土層(水田面層)・浅間C軽石を含む黒褐色土層を掘り込んで底面に達する。覆土は灰褐色、暗褐色の砂質土である。壁面は上位から中位にかけて崩れ、下位はえぐれて幅広くなっている。遺物は検出されなかった。時期は水田を覆った砂礫層(818年の洪水堆積層)を掘り込んで確認したことから818年より新しい井戸と思われる。

1-2号井戸址 (第43図、図版16)

位置 D7-E2・3 グリッド

標高 76.90m

形状 開口部の径145cm前後のほぼ円形、断面形はロート状を呈し、中位から下位にかけて、大きくえぐられて広がっている。深さは確認面より150cmを測る。

備考 確認面は1号井戸と同じく砂礫層の面に位置し、水田面層・浅間C軽石を多く含む灰褐色土層を掘り込んでいる。底面は河原石を含む。

遺物は土師片が1点検出されたが井戸の構築材などは検出されなかった。時期は1号井戸と同じ形状から同時期と思われる。

1-3号井戸址 (第43図、図版16)

位置 D6-E・F23 グリッド

標高 76.90~76.95m

形状 開口部径220~250cm前後のほぼ円形、断面形はロート状を呈すると思われるが中位より崩れている。深さは確認面より160cmを測る。

備考 確認面は1・2号井戸と同じく砂礫層の面に位置し、水田面層・浅間C軽石を含む層・にぶい黄褐色粘質土層まで掘り込み、河原石を含む砂礫層に達して底面になる。覆土は水田を覆った砂礫層や水田面層の灰褐色粘質土、浅間C軽石を含む灰褐色土層である。遺物や井戸の構築材などは検出されなかった。また、井戸の壁面上層が底部に堆積していることや水田を覆った砂礫層などが見られることから、自然崩壊したものと思われる。

1・2号井戸と同時期の井戸と思われる。

1-4号井戸址 (第44図、図版16)

位置 D6-F24グリッド

標高 76.85m

形状 開口部径155~180cm前後のほぼ円形、断面形はロート状を呈すると思われるが中位より崩れている。深さは確認面より120cmを測る。

備考 確認面は1~3号井戸と同じく砂礫層の面に位置し、水田面層・浅間山C軽石を多く含む灰褐色土層・にぶい黄褐色粘土層まで掘り込んでいる。底面は河原石と砂礫で堆積している。覆土は、褐色・暗褐色の砂質土や崩れた壁面で埋まる。

遺物や井戸の構築材は検出されなかった。時期は他の1~3号井戸と同時期と思われる。

(1) 井戸址について

調査区D6・D7区で確認した井戸址4か所は近接して作られている。形状はほぼ円形で、掘り込みは浅い。立地も東に荒砥川、西に桃木川に挟まれた自然堤防上の低地帯に位置し、浅い掘り込みで簡単に水が求められる。反面自然堤防上という立地のため、河川の増水や氾濫により埋没したと思われる。地質が砂質層なので影響が大きかったと推定される。また、井戸の構築材などが検出されず立地条件から容易に掘り直しのできる井戸が近接して作られたものと思われる。

構築時期は、水田面を覆った818年の洪水堆積層面状で確認し付近に住居址などなく、水田遺構が埋没後、微高地状になってから掘られた井戸と思われる。また、1号井戸東側に中世以降の溝が確認されており、井戸の形状から近世の井戸と思われる。

12. 道跡（全体図4の1・2）

B3・4区内に道跡（旧道）を確認した。B3区内の道跡はH3～J8グリッド内に南東～北西方向に位置し、現耕作土下にある。長さ21m、幅1.1～1.3m、高さは10～12cm程高く、水田堆積土層（砂礫層）まで掘り込んで現耕作土とほぼ同じ褐灰色砂質土層で作られて、現八坂用水方向に向かって伸びている。途中、カクランのため一部は不明である。また調査区の北側壁面には、浅間B軽石の堆積層が見られるが、道跡側（南壁側）には見られない。現耕作土と道跡は浅間B軽石層を掘り込んで作られたと思われる。道跡は中・近世の遺構と思われる。

B4区内の道跡は、全長37m程で途中南壁側より8m北寄り、西方向にカーブして12m程伸びる。幅は2～2.5mで小石や、現代の遺物を含む硬く締まった土層で確認された。付近には、古墳時代の住居址や溝跡など見られるが、道跡は検出された遺物や旧地形図などから、土地改良前の新しい遺構と思われる。

第IV章 ま と め

中原遺跡群は、桃木川、荒砥川に挟まれた旧利根川の流路で広瀬川低地帯と侵食から残された前橋台地への移行部で自然堤防上の後背湿地にある。今回の調査は試掘調査の結果をもとに実施し、818(弘仁9)年の地震に伴う洪水堆積物（砂礫層）の直下から平安時代の水田址を広範囲にわたり検出した。また、水田址が中心の遺跡と思われたが微高地上には、古墳時代から平安時代にかけての住居址やC3区内には平安時代水田面下における遺構確認（第2面調査）において古墳時代住居と畝状遺構を検出した。他に平安時代水田に伴う水路やB軽石下の畝状遺構、中近世の遺構と思われる井戸、集石、土坑、水路、溝、道跡なども検出した。

個々の時代での遺構や環境では、古墳時代前期から中期の遺物を伴う住居址H-3～9号や畝

状遺構などがある。H-3~7号住居址はやや微高地上に作られており、古墳時代の遺物を伴う。特にH-3号住居址からは「祭祀」的行為の存在が推測される手づくね土器や石製模造品などが出土している。また古墳時代前期~中期の遺物を伴うH-8・9号住居址東側には畝状遺構も確認されている。第2面調査(確認トレンチ)では、古墳時代の水田址が確認されていないことから平安時代水田以前は部分的に住居、畑地として使われていたと考えられる。

次に平安時代になると地形の形態が変わり(洪水等の自然災害のためと思われる)古墳時代では住居址、畑地として使用されていた所が、平安時代には水田址に変わり、微高地上の古墳時代住居址だった所は平安時代になっても住居址(H-1・2号)となっていることがわかる。さらに平安時代では調査区のほとんどが水田地帯となり、集落と水田地帯とが区別されるようになったと考えられる。水田地帯は自然地形の傾斜を利用した区画と思われる。水田はほぼ東西南北に区画が見られ、条里制のもととなる1区画約109mの間隔に当てはめた坪界に当たると推定され、他の畦畔より幅が広めの大畦畔がとびとびの調査区に部分的に見られ、接合するとは坪界にあてはまる。大きな区画の中には、さらに東西南北に縦長や横長の区画が作られている。また大小の水路に沿った部分は地形に沿って変則区画(斜め畦畔や蛇行さみの畦畔)が作られている。また水田地帯には、大小の水路等が設けられており、地形的に現桃木川や荒砥川に挟まれた所で、昔から自然河川を利用して計画的に取水したことがうかがわれる。水路は両端に畦畔が作られており、旧河川と思われる水路W-31は、幅や深さなどや水田からの排水口跡などが端に数か所見られることから、主に排水目的として使われたと考えられる。他の水路W-32・33は水路両端の畦畔に取水、排水のための水口があり、灌漑用水路と思われる。また各水田、畦畔には配水する水口が設けられている。大小の水路に沿った区画は、地形に沿った変則区画や小さな区画等が見られ、畦畔の方向を変えて、滞水や配水を考えて作りと思われる。さらに水田面や水路際には足跡と思われる凹凸が見られ、水路、畦畔に沿って歩いた様子がうかがわれる。水田は水を広範囲に灌漑する関係で地形の高低差と傾斜を利用し作られ、さらに自然災害とも密接な関係があり、818(弘仁9)年の地震によりほぼ全域を洪水砂礫層が覆うまで水田耕作を営んでいたと考えられる。

また地震による影響が各調査区に見られ、地割れや噴砂、水田、畦畔の陥没(C2・3区)や水路、溝(W-47・48・49)等の決壊跡が見られる。さらに洪水堆積物で見ると、地形の高い所と低い所での洪水堆積物の厚みが異なることから、水田としての土地利用に大きな影響を与えたと思われる。また中原遺跡の水田址が良好に残っているのは、短期的な洪水により埋没する条件が必要で常に洪水等に見舞われた地域で818年の地震がさらに大きな影響を与えたと考えられる。水田、水路からの遺物を見ると水田からは、平安時代の遺物片が見られ、水路からは、古墳時代から平安時代の遺物が見られる。さらにB5区ではB軽石層下より、蛇行した畝状遺構が確認され、洪水堆積層(818年)まで掘り込みが見られる。平安時代水田址が洪水堆積物で埋まったあと耕作地として使用したことがうかがえる。

他に中近世の遺構と思われるものは、平安時代水田、水路等を掘り込んでいる集石遺構やB4区内の粘土を使用した土坑、B5区内の土坑群等、D7区に見られる中世のものと思われる水路(W-43)や井戸址などがある。遺物も集石遺構からは古銭、鉄製品等や土器片、馬歯などが出土している。井戸からは土器片1点、溝からは、遺物は出土していない。他にB3・4区道跡が検出されている。

参 考 文 献

- ・柳久保遺跡群 I 1985 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
- ・芳賀岡地遺跡群 第2巻 芳賀東部岡地遺跡 II 古墳～平安時代編その2
1988 前橋市教育委員会
- ・元総社明神遺跡IX 1991 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
- ・前箱田遺跡 1982 前橋市教育委員会
- ・中原遺跡群 I 1993 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
- ・資料集 赤城山麓の歴史地質 1991 新里村教育委員会
- ・大八木水田遺跡 1979 高崎市教育委員会
- ・芦田貝戸遺跡 II 1980 高崎市教育委員会
- ・昭和町 I 遺跡 1992 高崎市教育委員会
- ・荒冠北部遺跡群発掘調査概報 1988 荒冠北部遺跡群調査会 群馬県教育委員会
- ・日高遺跡 1982 報告書 第5集 群馬県教育委員会 群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団
- ・同遺跡 1983 財団法人群馬県埋蔵文化財発掘調査事業団
- ・考古学ライブラリー45 出土歴来銭 ～中世～
坂詰秀一編 ニューサイエンス社 1986 初版発行
- ・畑作文化の誕生 縄文農耕論へのアプローチ
1988 佐々木隆明 松山利夫 日本放送出版協会

中原遺跡群Ⅱ区出土土物観察表

註：法量は①口径②底径③胴部最大径④胴部径⑤底部径⑥高さ⑦幅⑧厚み⑨穿孔をcmで⑩重量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	器形	法量	①胎土 ②地肌 ③色調 ④残存	器形・製作技法の特徴
1	H-3	土師甕	①(12.9) ②5.3 ⑦7.3	①褐色 黒炭母・軽石を含む ②良好③によい黄褐色④×	体部は深く、大きく内腹しなから立ち上がり、口縁部は外反突縁に開く。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。二次焼成あり。
2	H-3	土師甕	①(12.6) ②5.5 ⑦6.9	①褐色 軽石・黒炭母を含む ②良好③によい黄褐色④×	身と口縁の境界に縁を持ち、口縁部は内面にそがれ、口縁部を外反させる。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面体部へう磨き。内外とも黒色二次焼成あり。
3	H-3	土師甕	①12.0 ②6.0 ⑦7.6	①褐色 軽石・チャートを含む ②良好③によい黄褐色④ほぼ充形	深目の体部。口縁部は縁に縁を有して直縁状に開く。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面体部へう磨き。二次焼成(黒色)あり。
4	H-3	土師甕	①13.4 ②6.2 ⑦7.6	①密 軽石・黒炭母・チャートを含む ②良好③によい黄褐色④ほぼ充形	内腹土器。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面へう磨きあり。二次焼成あり。
5	H-3	土師甕	①12.8 ②6.0 ⑦7.1	①密 軽石・黒炭母混入 ②良好③によい黄褐色④ほぼ充形	内面に焼成時のものとと思われるひび割れ多し。外面口縁部横ナデ。体部へう削り。内外面口縁部横ナデ。体部へう削り。内面へう磨きあり。底面に二次焼成あり。
6	H-3	土師甕	①(12.4) ②7.4 ⑦6.1	①褐色 軽石・チャートを含む ②良好③赤褐色④×	別様な縁を有し口縁部は外反する。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面体部へう磨き。二次焼成あり。
7	H-3	土師小型甕	①(14.1) ②5.4 ⑦15.8 ⑧12.7 ⑩19.2	①密 黒炭母を含む②良好 ③によい黄褐色④×	体部中位によくろみを持つ。口縁部から外反する。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面体部へう削り後へう磨き。二次焼成あり。
8	H-3	土師甕	①(16.2) ②4.4 ⑦17.0 ⑧(2.6)	①密 軽石・黒炭母・石英混入 ②良好③によい黄褐色④×	胎土。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。底面孔周辺へう削り後へう調整。内面体部へう削り後へう調整。二次焼成あり。
9	H-3	土師甕	①(17.0) ②26.0	①密 軽石・石英・長石・黒炭母混入 ②良好③によい黄褐色④×	黒炭母の底部を輪切りにした形状。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。底面へう調整。内面体部へう削り後へう磨き。二次焼成あり。
10	H-3	土師小型甕	①11.5 ②4.7 ③9.4 ⑦12.4	①褐色 軽石・黒炭母を含む②良好 ③によい黄褐色④×	外反直立口縁から明確な肩を持つ体部。肩に最大径を持つ。内外面口縁部横ナデ。体部へう削り後へう磨き。外面底面へう調整。二次焼成を内外に有する。
11	H-3	土師小型甕	①(14.7) ②5.8 ⑦16.2 ⑧12.9 ⑩14.7	①密 石英・長石・黒炭母を含む ②良好③によい黄褐色④×	口縁と器蓋を等しくする。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう削り。内面体部へう磨き。内面体部へう削り後へう磨き。二次焼成あり。
12	H-3	手捏ね土甕	①6.8 ②4.6 ③9.8	①密 軽石・チャート・黒炭母を含む ②良好③によい褐色④充形	ミニチュア土器。外面一部へう調整。内面へう削り。内外とも二次焼成あり。
13	H-3	手捏ね土甕	①6.1 ②4.1 ③5.6	①褐色 軽石・チャートを含む ②良好③褐色④充形	ミニチュア土器。内面に焼成時のものとと思われるひび割れあり。外面へう削り部分あり。底面へう削り。内面へう磨き。
14	H-3	手捏ね土甕	①7.4 ②3.6 ③4.9	①密 軽石・黒炭母を含む②良好 ③灰褐色④ほぼ充形	ミニチュア土器。内面に九弁による割製イケイあり。外面一部へう調整。内面へう削り。内外とも二次焼成を受ける。
15	H-3	石製模造品	①(4.8) ②2.9 ③0.7 ④0.3 ⑤22.28		〈貝首か〉
16	H-3	叩き石	①14.8 ②5.0 ③669		輝石安山岩。角閃石を含む。
17	H-3	敲石	①15.7 ②6.2 ③518		輝石安山岩。灰長石と微量の角閃石を含む。
18	H-3	敲石	①17.4 ②8.5 ③970		輝石安山岩。灰長石を含む。
19	H-4	土師甕	①(12.8) ②5.5	①密 軽石・石英・黒炭母を含む ②良好③褐色④×	肉厚。有縁。口縁部はよくろみを持たせながら内腹する。内外面口縁部横ナデ後へう磨き。外面底面へう削り後へう磨き。内面体部へう磨き。比重大。底面に黒色二次焼成あり。
20	H-4	土師甕	①(16.4) ②(16.3)	①褐色 石英を含む②良好 ③によい黄褐色④×	長脚甕の形態を示す。外面胴部へう削り後へう磨きを施す。内面に磨きあり。
21	H-5	土師甕	①15.1 ②10.0 ③7.8	①良 黒炭母・軽石・チャートを含む ②良好③褐色④×	肩を窪ませる大型の甕。肉厚。底面に体部を付け足す内腹。内外面口縁部横ナデ。外面体部・底面へう削り。内面体部へう削り。体部に二次焼成あり。
22	H-5	土師甕	①13.2 ②7.0 ③6.2	①密 石英・長石・黒炭母・軽石を含む ②良好③明赤褐色④ほぼ充形	口縁部外反。内外面口縁部横ナデ。外面へう削り。内面へう磨き。
23	H-5	土師甕	①(15.8) ②(19.8)	①密 軽石・角閃石・石英・黒炭母を含む ②良好③によい褐色④×	丸い体部。内外面口縁部横ナデ。体部へう削り。二次焼成あり。
24	H-5	土師甕	①(16.0) ②(9.7)	①褐色 軽石・長石・石英・黒炭母を含む ②良好③褐色④×	輪立ち成形。内外面口縁部横ナデ。外面胴部へう削り。体部へう削り。内面体部へう削り。二次焼成を受ける。
25	H-5	土師甕	①20.4 ②(20.8) ③(24.3)	①密 石英・長石・軽石・黒炭母 ②良好③褐色④×	丸い体部で、体中央部より中や上と最大径を持つ。内外面口縁部横ナデ。体部へう削り。内面底面接合面へう調整。二次焼成あり。
26	H-5	土師甕	①(20.2) ②(26.2) ③(24.3)	①密 軽石・石英・黒炭母 ②良好③褐色④×	肩状の丸い体部を持つ。内外面口縁部横ナデ。体部へう削り。二次焼成あり。
27	H-5	土師甕	①(18.9) ②(16.0)	①密 石英・黒炭母・軽石を含む ②良好③褐色④×	内外面口縁部横ナデへう削り。二次焼成あり。
28	H-5	土師甕	①19.8 ②29.5 ③32.0	①褐色 石英・軽石・石英をふくむ ②良好③によい褐色④ほぼ充形	外面へう削り。底面へう調整。内面へう削り。底面へう削り。二次焼成あり。

註：法量は①口径②底径③胴部最大径④頸部径⑤胎高⑥長さ⑦幅⑧厚み⑨穿孔をcmで⑩質量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	器形	法量	①胎土 ②焼成 ③色調 ④紋付	器形・製作技法の特徴
29	H-5	土師器蓋	①(18.5)⑤28.5	①赤 軽石・黒炭母・石英 ②良好③赤褐色④凡	胴中央部に最大径を持つ丸い体部。輪轆み成形。内外面口縁部横ナデ、体部へう割り。外底面へう割り。二次焼成あり。
30	H-6	土師高坏	①12.9②坏部5.1 ③9.8④8.1	①褐色 石英・黒炭母・軽石を含む ②良好③赤褐色④ほぼ完形	柱部のない短く安定した脚部。赤色塗彩。外面口縁部横ナデ。体部へう割り。脚部横ナデ。内面環状部へう割調整は横ナデ。頸部横ナデ、体部横ナデ後へう割り。
31	H-6	土師高坏	①12.0②(5.0) ③9.1④7.7	①赤 石英・チャート・長石・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④ほぼ完形	柱部短く安定した作り。赤色塗彩。内外面口縁部横ナデ。外面環状部へう割り。脚部横ナデ。内面環状部へう割調整は横ナデ。頸部横ナデ、体部へう割り。脚部横ナデ後へう割り。
32	H-6	土師 小型丸底土器	①(9.2)②10.9 ③8.8④7.1	①褐色 石英・長石・黒炭母・軽石を含む ②良好③赤褐色④ほぼ完形	胴下に最大径を持つ。扁平な体部に短かい外底。口縁を持つ。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう割り。内面体部へう割り。二次焼成あり。
33	H-6	土師蓋	①(19.0)⑤(15.7)	①褐色 石英・長石・角閃石・黒炭母・軽石 ②良好③赤褐色④凡	小型。丸底。輪轆み成形あり。外面環状部合部へう割調整。体部へう割り。内面環状部横ナデ。頸部都合部へう割調整。体部へう割り。二次焼成あり。
34	H-6	土師蓋	①(14.0)②6.3 ③21.1 ④10.6 ⑤19.4	①赤 チャート・軽石・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④凡	蓋と厚むける丸い胴。胴下に最大径を持つ。最大径の部分から付け足す作り。外面口縁部横ナデ後へう割り。胴部へう割り後へう割り。底面へう割り。内面口縁部へう割り後へう割り。
35	H-7	土師蓋	①(17.0)②(14.8)	①赤 軽石・炭母・輝石・黒炭母混入 ②良好③赤褐色④凡	内外面口縁部横ナデ。外面体部へう割り後へう割り。内面体部へう割り。二次焼成あり。
36	H-7	土師蓋	①(14.0)②(6.2)	①赤 石英・長石・石英・黒炭母混入 ②良好③赤褐色④凡	輪轆み成形。内外面口縁部横ナデ。胎厚さ。体部横ナデ。内面体部へう割り。二次焼成あり。
37	H-8	土師 蓋合	①14.2 残高4.4 ③④所1.3	①赤 軽石・黒炭母・チャートを含む ②良好③赤褐色④凡	短かい柱から傘状に大きく接地部を開く。3内底を持つ。外面へう割り。内面受部へう割り。脚部へう割り。接地部横ナデ後、へう割調整。赤色塗彩あり。
38	H-9	土師蓋	①(15.0)②22.8 ③(19.1)	①褐色 軽石・石英・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④凡	胴上半部に最大径を持つ。底部を環状に作り、体部を作らずに横ナデ。外面口縁部横ナデ。外面体部へう割り後、へう割り。内面体部へう割り。二次焼成あり。
39	H-9	土師 蓋合(身部)	①残径17.4 ②13.8 ③坏部13.3 残高 (17.1)	①赤 軽石・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④凡	環部は逆台形であるが底面は曲線状で口縁部はほぼ上方に開く。外底面横ナデ後へう割り。口縁部も同様。内面口縁部から立ち上りふりまわって横ナデ。底面へう割り。二次焼成あり。
39	H-9	土師 蓋合(脚部)	①(17.4)②(17.1)	①赤 石英・長石・黒炭母・軽石を含む ②良好③赤褐色④脚部横ナデ	接合部から縁やかに開き、頸部を内縮させて立ち上がる。3つの三角部を持つ。外面口縁部横ナデ後へう割り。底面へう割調整。内面へう割り。二次焼成あり。
40	H-9	土師蓋	①(15.7)②(24.7) ③(25.5)	①赤 長石・輝石・石英を含む ②良好③赤褐色④凡	傘状の丸い筒形に環状の突出した底部を持つ。輪轆み成形。外面口縁部横ナデ後、粗い刷毛目。体部粗い刷毛目。内面口縁部横ナデ。体部へう割り。底面へう割り。二次焼成あり。
41	A2Y6-7 グリッド	土師蓋	①(19.3)⑤(5.5)	①赤 軽石・石英・長石・黒炭母を含む ②良好③赤④緑の凡弱	赤色塗彩。輪轆み痕を残す。外面口縁部横ナデ後部分的に磨目を施す。体部へう割後部分的に磨目を残す。内面口縁部横ナデ。体部へう割り。二次焼成あり。
42	A2Y6-7 台付煮物鉢	土師	①10.9 残高5.4	①褐色 石英・長石・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④脚部横ナデ	接地部の折り返しへう割調整。外面横ナデ調整後斜位の磨き施す。内面体部へう割り。注ぎ痕を有す。
43	A2Y9 グリッド	土師蓋	①14.0 残高8.8	①赤 軽石・チャート・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④凡弱	体部に細い磨目を施す。輪轆み痕あり。内外面口縁部横ナデ。外面体部横ナデ。内面体部へう割り。黒色二次焼成あり。
44	C3S14 グリッド	土師蓋	①(22.7)②(17.8) ③4.8	①赤 黒炭母・軽石・チャートを含む ②良好③赤褐色④口縁部の凡	折り返し口縁。4本単位の高い刷毛目あり。内外面横ナデ。外面横ナデは細かい刷毛目を斜位にし、ほぼ直行する様に高い刷毛目を残す。
45	C3S16 グリッド	横置蓋	①8.4②4.1③5.6	①褐色 軽石・黒炭母・白炭母を含む ②良好③赤褐色④凡	ニエチャ土蓋。内外面口縁部横ナデ。外面へう割り。底面へう割り。内面輪状工具による磨目。
46	D4E01 W-351	土師 蓋合	①残径15.7 ②坏部 8.8③残高9.9④1.9	①褐色 軽石・黒炭母・長石を含む ②良好③赤褐色④凡	受部は直線的な逆台形を呈し、口縁部はやや上向きに縁に開く。輪轆みは柱状で、環状口部に3内底を持つ。受部にも同形あり。赤色塗彩を認める。外面へう割り。内面へう割り。頸部に受け部を付け足した跡あり。
47	W-66 (E7-V17)	土師 台付煮物鉢	⑤8.9 ⑥残高4.0	①赤 軽石・石英・長石を含む ②良好③赤褐色④脚部横ナデ	「ハ」の字状に開く。頸部や内より粗く。外面横ナデ。内面環状部横ナデ。へう割り。
48	E7-T28 グリッド	横置蓋	①24.9②27.5 ③残高(27.8)	①赤 石英・安山岩・小輝石・軽石・黒炭母を含む ②良好③赤褐色④凡	口縁部折り返し成形。沈脚一帯を認めず。輪轆み成形。内外面口縁部横ナデ。頸部・体部へう割り。
49	E7-V20	横置 長頸煮物鉢	⑥残高14.8	①褐色 黒炭母を含む ②良好③赤褐色④ほぼ完形	口縁部外反。頸部中に二条の沈脚あり。頸部横ナデあり。外面口縁部横ナデ。内面口縁部へう割り。頸部斜位に付け足す痕あり。
50	H-1	土師蓋	①(24.0)②(15.3)	①赤 石英・長石・角閃石・軽石・黒炭母・チャート②良好③赤④凡	大型。体部は直線的で口縁部は「く」の字状に外反する。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう割り。内面体部へう割り。体部へう割り。二次焼成あり。
51	II-1	土師蓋	①(25.0)②(17.0)	①良 石英・輝石・角閃石・黒炭母・軽石・チャート②良好③赤褐色④凡	体部にも丸みを持ち、頸部でしまり、口縁部で強く外反する。内外面口縁部横ナデ。外面体部へう割り。内面体部へう割り。内面横ナデ。体部へう割り。
52	H-1	土師 羽蓋	①(18.8)②(12.8)	①良 軽石・長石・黒炭母混入 ②良好③赤褐色④凡	胴は粘土粘付後水平に張り出すように調整。内外面口縁部横ナデ。外面環状部へう割調整。体部へう割り。内面へう割り。二次焼成あり。

注：法量は①口径②底径③胴部最大径④胴部径⑤胴部径の高さ⑥幅⑦厚み⑧穿孔をcmで⑨重量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	器形	法量	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	器形・製作技法の特徴
83	H-2 カマド	土師甕	①(14.2)②(4.9)	①褐色②灰③に黄褐色④体部1/4	体部に丸みをもち、口縁部は緩く外反する。口縁部に一条の沈線あり。
84	F7-F7 グリュッド	須恵器 高台付甕	①(14.0)②4.8 ③6.4	①褐色 黒炭母・長石を含む ②良好③灰白色④1/4	静止水切り後、高台貼付、ロクロ整形。
85	E7-J13-14 グリュッド	土師質埴	①11.6②6.3③4.2	①赤 黒炭母を含む②良好 ③褐色④完形	小ぶり。口縁部内側、外面右回転ロクロ整形後へう削り、底面へう削り。内面右回転ロクロ整形。
86	W-56 (E7-X25)	須恵埴	①13.2②7.0③3.5	①赤 チャート・黒炭母・長石を含む ②良好③灰白色④完形	平底。体部はわずかに内傾し口縁部で外反する。外面右回転ロクロ整形。底面へう削り。内面ロクロ整形。
87	W-56 (E7-V19)	土師埴	①(14.2)②18.0 ③(4.3)	①褐色 黒炭母・白炭母を含む ②良好③褐色④1/4弱	丸底筒形の底形。体部緩やかに外傾し、口唇部のみや内傾する。外面口縁部緩く外反。内面へう削り。
88	W-59 (F7-C11)	須恵埴	①(12.5)②3.5 ③7.9	①褐色 チャート・黒炭母を含む ②良好③灰白色④1/4	回転水切り。外面右回転ロクロ整形。内面ロクロ整形。
89	B3-A8 グリュッド	石鏡	②2.8③1.4④0.4 ⑤1.38	-	無文。チャート。
90	B3-C20 グリュッド	黒曜石 (小塊)	高さ2.4 ②2.0 ③1.1④14.17	-	0.1~0.2mmの気泡痕7%含む。
91	集石内 (D2-C12)	鉄鏡 (茎の一部)	②2.1③1.17	-	茎の一部。
92	E7-I20 グリュッド	鉄製品 (釘か)	②6.8③0.9④0.7 ⑤13.21	-	鍛造。中空方形を芯とし、八角形を重ね叩きたしたもの。
93	B5-I6 グリュッド	鉄鏡	②13.0③(2.2) ④(0.4)⑤35.73	-	鍛造。
94	集石内 (D2-C12)	刀子か	②12.8③0.8④0.3 ⑤29.11	-	二重折り返し。鍛造。
95	B3区一括	不明	②1.4③2.1④0.55 ⑤2.49	③褐灰色	おはじき型。
96	F7-G3 グリュッド	土師断片	②(2.1)③(8.73)	①軽石・内阿石を混入する褐色粘土 ②良好③灰白色④1/4	胴太形状。
97	F7-G3 グリュッド	土師	②4.8③2.3④16.73	①褐色 軽石・石英・黒炭母を含む ②良好③黒灰色④灰白色⑤完形	胴太。外面へう削り。
98	D2-A10 グリュッド	寛永通宝	-	-	裏無文。
99	集石内 (D2-C12)	宋銭	-	-	皇宋通宝1039年初铸
70	集石内 (D2-E)	宋銭	-	-	皇宋通宝1039年初铸
71	D4-X5 グリュッド	寛永通宝	-	-	裏無文。
72	D2区一括	煙管(吸口)	②6.8③0.5④4.94	-	青銅製。ロート状。丸口。
73	A2-T2 グリュッド	炭石	②29.3③8.8④1489	-	輝石安山岩。石英を含む。
74	143号水田 (C2-H14)	丸平石	②18.5③13.1④1540	-	輝石安山岩。灰長石を含む。
75	W-32 (C2-S16)	多宝塔の 部か	②24.1③20.9④7800	-	しを輝石角閃安山岩。斜長石を含む。外面大型鋭利な刀物による加工痕を残す。
76	W-6 (E7-M3)	輝石石 部 部1ヶ所あり	②7.8③0.4④389	-	輝石安山岩。比重大。暗褐色に酸化。隙気石を多量に含む。一部は自然形破片。
77	C2-H14 グリュッド	円板状平石	②18.5③15.0④1020	-	輝石安山岩。酸化状態から灰状輝石・陽起石を多量に含む。
78	W-1 (D4-N3)	炭石	②18.0③7.8④1190	-	輝石安山岩。灰状輝石を含む。
79	17号水田 (A2-V13)	叩き石	②15.4③6.8④899	-	楕円角閃黒炭母片麻岩か。石英・長石・輝石を含む。
80	18号水田 (A2-Y14)	杖	②40.4③2.7④2.8	-	丸木の端部に両面から加工を集中させ先端部としたもの。
81	18号水田 (A2-Y14)	杖	②22.9③4.5④4.3	-	丸木材の側面と三方から加工し先端とする。
82	18号水田 (A2-Y14)	杖	②19.2③3.1④4.7	-	丸材を両面から削り、先端部とする。削り落としははややく飛ぶ。
83	18号水田 (A2-Y14)	杖	②20.3③2.5④1.3	-	丸材を半截にし両面から削り先端とする。
84	18号水田 (A2-Y14)	杖	②18.5③4.2④2.2	-	丸材の一端を面取りし先端とする。先端部は丸い。

註：質量は①口徑②底徑③胴部最大徑④胴部径⑤底部高⑥長さ⑦輪⑧厚み⑨穿孔をcmで⑩質量をgで表し、()は推定値を示す。

番号	出土位置	器形	法 量	①粘土 ②構成 ③色調 ④残存	器 形・製 作 技 法 の 特 徴
85	W-42 (B4-C7)	鉢	①21.1②9.8③3.7	-	丸材の縁部に3cm位の削り面あり。先端のみ削り込む。
86	W-42 (B4-C7)	鉢	①32.3②5.7③6.9	-	丸材の一端を削り、端部を切断したもの。
87	試験319 (F5-P5)	鉢	②7.0	①密 軽石・黒炭母を含む②良好 ③灰白色④底部のみ	内面。外面体部、底部ともへう削り。外面体部、底部ともへう削り。内面へう削り。北重大。
88	試験019 (E3-A7)	土師器台	①7.0②9.0	①陶術 軽石・黒炭母・新炭母を含む ②良好③褐色④ほぼ充形	受部の径が小さい。胴部に三つの凹窪をもつ。一部に赤色塗彩痕あり。内外面受部へう削り変換ナデ。内面胴部へう磨き痕、縁位の彫線き文を遺す。内面胴部へうナデ、底部へう削り変換ナデ。
89	試験019 (E3-A7)	土師環	①(14.2)②5.3	①陶術 石英・黒炭母を含む ②良好③褐色④充形	内筒する口縁部から内面外反の口縁部をもつ。内外面口縁部残ナデ。外面へう削り。内面全体ナデ。内面全体気孔が充れ、調整不明瞭。
90	試験129 (E5-X23)	土師高環	①15.9②14.8	①密 軽石・黒炭母・石英混入 ②良好③赤褐色④%	胴部は輪積み成形。赤色塗彩。外面環部へう削り、口縁部残ナデ。底部へう磨き。底部残ナデ。内面口縁部残ナデ。へう磨き。胴部へう削り。二次焼成痕あり。
91	試験129 (E5-X22)	土師埴	①14.2②6.9	①陶術 軽石・黒炭母を含む ②良好③ふい褐色④ほぼ充形	底部を平らに作り、縁やかに外反する。口縁部下に透ナデによる凹窪をもつ。内外面口縁部残ナデ。外面体部へう削り。内面口縁部残ナデ。底部ナデ磨き。体長から口縁部内面にかけての二次焼成痕あり。
92	試験419 (F9-P6)	小型壺(蓋)	①(9.8)②3.8 ③(16.6)	①陶術 軽石・黒炭母を混入②良好 ③ふい褐色④%	輪積み成形で、体部を作り、口縁部を粘付する作り。内外面口縁部残ナデ。外面体部へう削り反、体部上縁に彫線き施文。内面体部へう削り。小型壺に穿孔し、蓋に転用したと思われる。
93	試験019 (E3-P5)	土師甕	①(15.9)②(17.8)	①良 軽石・石英・長石・黒炭母を含む ②良好③褐色④1/4磨	底を厚むせる丸形。体部に外反する長い口縁をもつ。輪積み成形。外面口縁部残ナデ。体部へう削り。内面へう削り。体長に黒色二次焼成痕あり。
94	試験019 (E3-P6)	土師甕	①(17.8)②(11.5)	①底 軽石・石英・黒炭母混入 ②良好③ふい褐色④約1/4	明瞭な質を持たず丸い胴となる。輪積み成形。内外面口縁部残ナデ。へう削り。体内外に黒色二次焼成痕あり。
95	試験319 (F4-F18)	井戸茶碗	①11.2 ②5.5	①陶術 粘土②良好③極暗赤褐色 ④ほぼ充形	茶碗に残い井戸尻。口切り縁やかに内筒。高台内部にも塗彩。輪は黒漆が外面コロロ調整。内面コロロ整形。
96	試験B1-F6 グッド	湯呑み (蓋部)	①(8.0)②4.9	①陶術 ②良好 ③乳白色	小振り。口切り外反。コロロ整形。オフセット型腔。
97	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ(29.5)柄の長さ3.7 柄の幅5.5 上輪21.1 下輪19.3 ①11,100		(97~105) 空輪は扁平な凝室球状。下部に最大径を持つ。風輪は上下とも上に向かった凸形に刻まれ、逆台型を呈する。7~8mm幅のノミによる整形。全体に雨打ちによる損傷を受けているが残存状況は良好である。尚岡石家山岩。
98	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ32.9 柄の長さ5.2 柄の幅7.7 上輪19.8 下輪16.7 ①10,900		
99	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ39.8 柄部分穴径 上輪19.4 下輪18.4 ①9,700		
100	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ(30.4) 柄の長さ4.4 柄の幅7.9 上輪20.2 下輪16.3 ①11,000		
101	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ33.0 柄の長さ4.3 柄の幅7.9 上輪20.3 下輪16.7 ①12,000		
102	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ31.5 柄の長さ5.4 柄の幅7.2 上輪21.3 下輪19.4 ①9,900		
103	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ40.8 柄の長さ7.0 柄の幅8.9 上輪25.2 下輪23.9 ①18,500		
104	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空風輪)	高さ(31.7) 柄の長さ4.2 柄の幅6.2 上輪21.5 下輪18.5 ①11,700		
105	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (空輪)	高さ(18.1) 上輪19.4 ①3,200		
106	B5-Q16,17 グッド	五輪塔 (火輪)	高さ19.7 上輪14.3 下輪29.8 ①22,000		
107	B5-Q16,17 グッド	白	高さ17.3 ①1,050		

水田址計測表

() は推定値及び推定形状, N・S・E・W は畦畔位置を示す

田 No.	面 積 (㎡)	東 畔 (m)	南 畔 (m)	西 畔 (m)	北 畔 (m)	形 状	水 口 (併用)	備 考
1	(215.6)	(12.8)	(21.0)	-	-	-	S-2, E-2	-
2	(171.4)	(16.3)	(23.2)	-	(18.4)	(三角形)	N-1, E-1	-
3	(71.7)	(3.8)	-	-	(14.5)	-	E-1	-
4	(24.1)	-	-	(3.8)	(9.0)	-	W-1	-
5	(241.3)	(18.0)	(19.5)	(11.8)	-	-	S-3, W-2	-
6	(7.4)	4.6	1.1	6.0	-	楕円形	S-1	-
7	185.3	17.6	13.2	9.6	14.9	不定形	N-5, E-2, S-1	-
8	(44.8)	1.5	-	(6.8)	13.2	-	N-1, W-1	-
9	(38.0)	(8.9)	5.5	(4.8)	-	-	S-1	-
10	(61.5)	10.7	5.0	13.2	5.5	縦長方形	N-1, S-2	-
11	(43.7)	11.5	-	12.2	5.0	不定形	N-2, E-1	-
12	(2.46)	-	(3.7)	-	-	-	S-1	-
13	(58.46)	(8.4)	4.2	(14.7)	(3.7)	縦長方形	N-1, S-2	足跡有
14	(22.53)	-	11.1	4.9	8.3	三角形	N-1, S-1	-
15	(220.06)	(23.1)	-	(18.8)	17.2	菱 形	N-1, W-1	足跡有
16	(4.6)	-	(2.8)	(3.9)	-	-	-	-
17	(68.83)	-	(10.6)	(10.7)	-	-	-	凹凸有
18	(111.4)	-	-	(23.1)	-	-	-	-
19	(31.5)	-	-	-	(12.6)	-	-	-
20	(76.6)	(16.5)	-	-	-	-	-	凹凸有
21	431.8	-	(30.9)	(16.5)	-	-	-	-
22	(21.2)	-	4.1	-	(6.9)	-	-	-
23	(26.4)	-	(5.7)	-	4.1	-	-	-
24	(20.8)	(5.9)	4.0	-	(5.7)	-	S-1	-
25	(19.63)	7.2	(2.8)	-	(3.6)	-	N-1, E-1	-
26	(4.0)	(2.0)	-	-	(2.8)	-	-	-
27	(29.9)	7.5	(5.2)	-	(3.7)	台 形	-	-
28	65.23	9.9	7.4	-	(9.8)	横長方形	-	-
29	(67.3)	5.2	13.9	(5.9)	-	横長方形	-	-
30	84.15	6.9	14.2	6.6	14.9	横長方形	S-1, W-1	-
31	(54.3)	5.3	(5.9)	(2.7)	14.2	横長方形	N-1	-
32	(8.0)	(3.2)	-	-	(5.9)	-	-	-
33	(74.8)	(12.1)	9.3	(8.1)	(2.1)	不定形	-	-
34	(46.8)	(6.5)	(10.4)	(5.9)	(9.3)	(横長方形)	-	-
35	69.96	9.2	9.6	6.4	(10.4)	横長方形	S-1	-
36	43.95	4.2	9.3	6.8	9.3	横長方形	N-1, S-1	-
37	(53.4)	(5.3)	-	(7.3)	9.4	長方形	N-1	-
38	(78.0)	(6.3)	(5.5)	-	-	-	-	-
39	(157.2)	13.5	(5.2)	(3.6)	(5.5)	不定形	-	-
40	(110.7)	10.3	(6.3)	(2.2)	(5.2)	-	-	-
41	(94.2)	8.0	(14.3)	9.2	(6.3)	-	E-1	-
42	(56.35)	(3.3)	(10.5)	(4.2)	(14.0)	横長方形	-	-
43	(28.8)	-	-	(5.3)	(9.8)	-	-	-
44	(5.5)	(1.1)	(4.9)	(1.9)	-	-	-	-
45	(32.1)	(9.2)	(3.9)	8.8	-	縦長方形	-	小区画
46	(17.4)	6.7	2.3	6.9	(3.9)	縦長方形	S-1	小区画
47	16.2	8.2	2.1	7.8	2.3	縦長方形	N-1, S-1	小区画
48	14.6	7.6	1.9	7.5	2.1	縦長方形	N-1, S-1, W-1	小区画

() は推定値及び推定形状、N・S・E・W は畦畔位置を示す

田 No.	面 積 (㎡)	東 畦 (m)	南 畦 (m)	西 畦 (m)	北 畦 (m)	形 状	水 口 (か所)	備 考
49	(9.7)	(6.7)	-	(7.6)	1.9	(縦長方形)	N=1, W=1	小區画
50	(10.86)	-	18.8	(0.9)	-	-	-	-
51	163.9	8.8	20.5	9.4	18.8	横長方形	-	-
52	(118.06)	5.5	20.6	6.5	20.5	横長方形	S=3	-
53	(162.4)	8.2	21.4	8.3	20.6	横長方形	N=3, S=2	-
54	(123.4)	(2.3)	(21.1)	7.3	21.4	横長方形	N=2	-
55	(53.0)	-	-	(8.4)	(21.1)	-	-	-
56	(188.33)	(7.9)	22.4	9.5	(3.4)	(横長方形)	S=1	-
57	(87.1)	(1.8)	(13.2)	2.7	-	-	N=1, S=1	-
58	(61.23)	-	(5.1)	7.8	-	-	N=1, S=1	-
59	(12.1)	-	-	5.1	-	-	N=1	-
60	(9.6)	-	(1.8)	(7.9)	-	-	-	-
61	(71.5)	(2.5)	-	-	-	-	-	-
62	(72.7)	8.7	(15.4)	(2.7)	(1.6)	-	S=2	-
63	(384.9)	15.0	-	(2.5)	(15.4)	-	N=2	-
64	41.73	7.5	(9.8)	-	(3.1)	-	N=1, S=2, E=1	-
65	106.7	6.9	18.8	(0.8)	(9.8)	(横長方形)	N=2, S=1, E=1	-
66	130.7	5.6	20.9	8.7	18.8	横長方形	S=1	-
67	251.2	(13.1)	(3.1)	15.0	20.9	長方形	N=1	-
68	(51.58)	-	(12.4)	-	-	-	-	-
69	(106.08)	-	(21.3)	(4.5)	(12.4)	-	S=1	-
70	(92.36)	-	(22.6)	(6.5)	(21.3)	-	N=1, S=1, W=1	-
71	(237.58)	-	-	(23.5)	(22.6)	-	N=1, W=1	-
72	(1.2)	-	-	(1.4)	1.6	-	-	-
73	(2.0)	(1.4)	(23.1)	-	-	-	S=1	-
74	(9.8)	(5.4)	-	-	-	-	-	-
75	(74.83)	(11.5)	(6.5)	(5.4)	-	(縦長方形)	-	-
76	(261.5)	(12.9)	(23.3)	(11.5)	-	(横長方形)	-	-
77	(179.4)	7.2	-	-	(23.8)	-	-	-
78	39.36	(5.3)	(8.1)	7.2	6.7	(方 形)	-	-
79	-	-	-	-	-	-	一部のみで実測不能	-
80	(115.5)	(13.9)	-	-	(9.9)	-	-	-
81	(34.23)	(5.7)	9.4	(2.6)	-	-	E=1	-
82	(72.8)	8.2	(9.2)	(9.9)	9.4	方 形	-	-
83	(43.56)	(13.9)	4.6	(13.6)	-	(縦長方形)	S=1, W=1, E=1	-
84	(93.6)	(16.8)	-	(19.2)	(7.6)	-	E=1	-
85	(50.2)	10.1	(6.0)	9.6	6.1	(縦長方形)	N=1, W=1	-
86	(29.13)	(6.0)	-	(7.1)	(6.0)	(縦長方形)	-	-
87	(117.8)	13.7	8.9	(13.9)	-	(縦長方形)	W=1	-
88	(103.13)	(14.3)	-	(16.1)	8.9	(縦長方形)	-	-
89	(30.9)	(14.0)	-	(14.3)	2.3	不定形	E=1	-
90	(151.05)	(14.9)	13.5	(13.7)	-	(縦長方形)	E=1	-
91	(145.5)	(12.9)	8.5	(14.9)	-	(縦長方形)	S=1, E=1, W=1	-
92	(129.1)	7.1	15.2	9.9	18.2	横長方形	N=1S=1E=1W=1	-
93	(31.8)	(0.4)	-	(4.1)	15.2	-	N=1	-
94	(28.86)	-	4.5	(12.9)	-	-	W=1	-
95	(44.56)	-	-	(7.1)	6.9	-	W=2	-
96	(13.78)	(4.6)	1.3	(8.5)	-	-	-	-
97	(203.96)	11.2	19.5	9.8	-	-	S=1	陥没有

() は推定値及び推定形状, N・S・E・W は陸岸位置を示す

田 No.	面 積 (m^2)	東 畔 (m)	南 畔 (m)	西 畔 (m)	北 畔 (m)	形 状	水 (<small>か</small> 岸)	備 考
98	223.13	14.4	3.5	25.4	19.5	不定形	N-1, S-1	足跡・陸設有
99	(51.5)	(12.6)	-	(18.9)	10.1	不定形	-	-
100	(147.43)	(3.6)	24.2	(11.2)	-	-	-	-
101	246.63	6.6	24.2	16.3	24.2	不定形	S-2	陸設有
102	(57.5)	-	(12.7)	10.2	-	-	S-1	陸設有
103	(152.46)	(8.6)	27.1	-	(15.3)	-	N-1, S-1, E-1	陸設有
104	293.26	35.0	5.9	45.8	8.8	不定形	N-2, S-1, W-1	-
105	417.4	34.3	12.7	42.1	12.8	不定形	N-1S-2E-1W-1	足跡有
106	(2.1)	-	(2.9)	(1.8)	-	-	-	-
107	(103.5)	(4.8)	8.7	13.4	-	-	W-1, S-1	-
108	43.76	4.1	10.6	5.5	8.7	不定形	N-1, S-1	-
109	187.6	14.3	12.6	14.3	11.3	不定形	N-1S-1E-1W-1	-
110	114.76	17.7	-	12.2	15.0	不定形	N-3, S-1, W-1	足跡有
111	21.0	5.4	6.4	-	8.4	三角形	N-1, S-1	-
112	12.46	6.1	2.4	5.4	3.3	楕円形	N-1	-
113	(1.0)	-	(1.6)	(1.8)	-	-	-	-
114	(32.7)	(0.7)	7.6	6.9	(1.6)	-	S-2	-
115	114.4	7.6	18.3	5.3	20.2	不定形	N-3, S-2	-
116	256.86	22.5	20.8	12.8	18.3	不定形	N-2S-1E-1W-1	-
117	(0.2)	-	(0.8)	(0.7)	-	-	-	-
118	(15.06)	5.3	2.1	7.6	(0.8)	(縦長方形)	S-1, E-1	-
119	(59.73)	24.7	3.8	-	2.1	縦長方形	N-1, E-1, W-1	-
120	(21.3)	(8.0)	(7.2)	5.3	-	-	S-1, W-1	-
121	(93.16)	-	(15.0)	9.1	(7.2)	-	N-1, S-1	-
122	(202.6)	(5.8)	20.2	10.3	(15.0)	(横長方形)	N-1	足跡有
123	250.1	21.1	(23.7)	5.1	20.2	不定形	W-1	足跡・陸設有
124	(101.4)	-	(14.5)	(15.1)	-	-	S-1	陸設有
125	(333.46)	-	(31.4)	11.8	14.5	-	N-1, S-1	陸設有
126	(51.63)	-	(21.6)	5.3	(15.6)	-	N-1, S-1, W-1	足跡有
127	(34.98)	-	(9.0)	3.5	(12.6)	-	N-1, S-1	足跡有
128	(81.6)	(23.0)	(9.2)	-	-	-	-	-
129	(40.46)	(12.1)	-	-	(7.6)	-	-	足跡有
130	(33.2)	-	(7.1)	(7.0)	-	-	S-1	-
131	(37.13)	-	(7.1)	-	(7.1)	-	N-1	足跡有
132	(32.93)	-	(5.8)	-	(7.1)	-	-	足跡有
133	(18.93)	-	(3.2)	-	(5.8)	-	-	足跡有
134	(10.93)	(1.5)	(5.0)	-	(3.2)	-	-	足跡有
135	(14.98)	-	(1.9)	(11.8)	-	-	-	足跡有
136	(26.93)	-	-	-	(1.9)	-	-	足跡有
137	(1.5)	-	(3.9)	-	-	-	-	-
138	(122.9)	(14.9)	14.2	(8.2)	-	-	-	足跡有
139	(162.83)	(11.9)	(15.0)	(14.9)	-	-	-	-
140	(64.03)	-	(13.2)	(11.9)	-	-	-	-
141	(196.3)	-	(42.4)	15.9	(35.1)	不定形	-	足跡有
142	23.8	5.4	8.9	-	9.2	三角形	-	-
143	(232.2)	2.7	(49.1)	-	(40.4)	不定形	S-1	足跡有
144	(223.26)	14.0	(11.9)	-	(11.8)	不定形	-	足跡有
145	(335.6)	(20.6)	22.3	(14.0)	22.3	(台形)	N-1	陸設有
146	(498.15)	22.6	12.9	(20.6)	40.2	不定形	S-1	足跡・陸設有

() は推定値及び推定形状, N・S・E・W は方位位置を示す

図面 No.	面積 (㎡)	東 壁 (m)	南 壁 (m)	西 壁 (m)	北 壁 (m)	形状	水 (か所)	備考
147	155.86	18.6	13.1	22.6	-	不定形	N-1, S-1	足跡・階段有
148	(69.1)	8.5	13.6	-	(11.9)	不定形	-	階段有
149	243.56	24.4	24.2	8.5	13.5	不定形	S-1, E-1	階段有
150	229.2	25.6	9.9	24.4	8.8	縦長方形	N-1, W-1, E-1	-
151	326.1	28.6	141.0	25.6	12.9	縦長方形	S-1, E-2, W-2	-
152	331.9	17.6	23.9	28.6	13.1	不定形	N-1, S-2, W-2	階段有
153	456.06	52.9	55.5	4.7	2.9	不定形	N-1S-1E-3W-1	足跡・階段有
154	557.3	44.0	36.8	-	11.1	三角形	N-2W-1E-5	足跡・階段有
155	(119.0)	-	4.3	7.1	-	(三角形)	W-1	-
156	123.26	14.9	15.7	12.2	4.3	不定形	S-2, W-1	足跡有
157	(454.8)	20.5	32.9	20.3	15.7	不定形	N-2S-2E-1W-1	階段・足跡有
158	(208.16)	12.8	19.9	15.2	(13.8)	不定形	S-2E-1W-2	階段・足跡有
159	219.5	11.6	20.5	9.0	15.1	不定形	N-1S-1E-1W-1	階段・足跡有
160	(195.1)	-	(14.2)	6.7	(25.8)	(不定形)	W-1	-
161	(28.7)	(6.8)	-	(5.4)	6.6	-	N-1	-
162	(92.3)	-	-	(11.8)	(17.5)	-	N-2, W-1	階段有
163	(245.5)	(14.9)	(5.8)	(13.0)	(11.5)	(不定形)	W-1, E-1	階段・足跡有
164	(101.56)	2.3	-	(14.9)	10.6	-	E-1, W-1	階段・足跡有
165	(2.7)	-	-	(2.4)	(3.4)	-	W-1	階段有
166	(114.16)	(28.8)	(8.3)	-	-	-	S-1	-
167	(95.1)	(13.9)	7.2	-	(8.3)	-	N-1, S-1	-
168	(152.8)	9.1	8.9	(15.8)	20.5	不定形	S-1	-
169	(180.13)	-	(34.6)	9.4	(29.7)	不定形	N-1, S-1	-
170	(88.2)	(17.9)	(3.7)	-	7.2	-	N-1	-
171	(242.1)	29.1	8.3	(21.6)	8.9	縦長方形	N-1, S-1	-
172	142.4	28.3	(5.3)	28.8	(34.6)	縦長方形	N-1, E-1	-
173	(210.7)	10.8	(20.9)	10.5	(20.0)	横長方形	S-2	-
174	207.46	10.1	(19.8)	9.7	(20.9)	横長方形	S-2	-
175	(34.2)	(1.5)	16.3	-	(3.7)	-	S-1	-
176	(1.83)	(3.9)	-	-	(1.5)	-	N-1	-
177	(5.93)	5.5	-	-	(1.6)	-	-	-
178	(97.3)	(13.6)	(6.6)	(14.7)	(7.9)	(縦長方形)	-	-
179	(124.3)	(13.7)	(10.2)	(13.6)	(8.9)	(縦長方形)	-	-
180	(209.9)	9.2	8.1	(12.5)	(19.8)	横長方形	S-1, W-2	-
181	108.1	6.8	17.9	6.5	8.0	横長方形	N-2, S-1	-
182	122.9	17.4	11.2	16.0	5.4	不定形	N-1, S-1	-
183	(204.7)	(10.5)	(33.1)	(5.8)	25.8	横長方形	N-2, S-1	-
184	欠番							
185	(202.8)	3.1	(14.5)	(7.9)	(33.1)	(横長方形)	N-1, S-1	-
186	欠番							
187	(66.2)	(15.4)	-	(11.8)	1.5	-	N-1	-
188	(48.4)	(4.7)	-	(5.7)	(10.2)	-	-	-
189	(10.2)	-	-	(2.9)	(8.2)	-	N-1	-
190	(45.1)	(5.7)	-	2.5	(6.6)	-	-	-
191	(78.3)	(13.7)	(7.9)	-	(8.3)	-	N-1	-
192	(68.3)	(10.6)	(8.9)	(13.7)	(5.3)	-	-	-
193	(1.0)	-	-	(3.2)	-	-	-	-
194	(37.26)	-	(4.3)	-	(1.5)	-	-	-
195	(45.43)	-	(3.6)	-	(4.3)	-	-	-

() は推定値及び推定形状, N・S・E・W 方位位置を示す

田 No.	面 積 (㎡)	東 距 (m)	南 距 (m)	西 距 (m)	北 距 (m)	形 状	水 (<small>□</small> 所)	備 考
196	(137.3)	-	(3.0)	-	(4.7)	-	-	-
197	(7.8)	-	(3.4)	-	(3.3)	-	-	-
198	(30.1)	-	-	-	(3.4)	-	-	-
199	(0.1)	-	-	(0.9)	-	-	-	-
200	(89.86)	-	-	-	-	-	-	-
201	(46.1)	(10.4)	-	-	-	-	-	-
202	(30.1)	-	-	-	(10.4)	-	-	-
203	(43.6)	-	-	(7.6)	-	-	-	-
204	(90.95)	(7.6)	(4.9)	(5.2)	-	-	S-1	-
205	(36.2)	(5.2)	(9.5)	(2.6)	-	-	S-1	-
206	(29.3)	-	-	4.8	(14.4)	-	N-2, W-1	-
207	(50.0)	(5.6)	(10.1)	(3.6)	-	-	E-1	-
208	(12.6)	(1.0)	(4.2)	-	(10.1)	(横長方形)	-	-
209	(3.6)	-	-	(1.1)	(4.2)	-	-	-
210	(30.8)	(3.6)	(10.2)	(1.4)	-	-	S-1	-
211	(21.3)	-	12.3	3.0	(10.2)	(横長方形)	N-1	-
212	(24.35)	(1.1)	(0.7)	(3.1)	12.3	(横長方形)	W-1	-
213	(2.3)	(1.4)	(3.6)	-	-	-	-	-
214	(58.5)	7.4	(7.2)	-	(3.6)	-	E-1	-
215	(79.43)	14.0	(4.2)	-	-	-	S-1, E-2	-
216	(15.6)	-	(2.2)	12.4	(0.7)	-	W-2	-
217	(41.03)	13.3	(1.8)	-	(4.2)	-	N-1, S-1	-
218	(24.83)	-	3.1	(8.5)	(2.2)	-	S-1, W-1	-
219	(30.5)	-	(6.3)	13.2	3.1	-	N-1	-
220	(14.16)	(12.4)	-	-	1.8	-	N-1	-
221	(114.4)	-	-	(16.5)	(5.6)	-	-	足跡有り
222	(10.06)	-	-	-	(6.5)	-	-	-
223	(79.2)	-	(9.2)	-	-	-	-	-
224	(132.3)	(0.8)	(14.4)	-	-	-	S-1	-
225	(82.3)	6.7	(12.7)	-	(14.4)	(横長方形)	N-1, S-1	-
226	(77.96)	5.6	11.2	-	(12.7)	(横長方形)	N-1, S-1	-
227	(125.6)	14.2	(8.0)	-	(11.2)	-	N-1	-
228	(2.06)	0.5	-	-	(8.0)	-	-	-
229	(211.5)	(17.7)	14.2	(13.1)	-	-	S-2	-
230	(100.1)	18.0	14.2	(17.7)	-	(縦長方形)	S-1, E-1	-
231	130.2	7.0	21.3	(6.2)	20.3	横長方形	N-3, S-3	-
232	138.2	7.1	29.8	7.5	21.3	横長方形	N-3, S-3	-
233	(174.9)	9.0	(23.3)	(0.5)	29.8	(横長方形)	N-3, S-1, E-1	-
234	(121.5)	(8.6)	(15.5)	-	23.3	(横長方形)	N-1, S-1, E-1	-
235	(112.2)	8.0	(13.4)	-	(15.5)	(横長方形)	N-1	-
236	(66.4)	5.6	(17.3)	-	(13.4)	(横長方形)	S-2	-
237	(191.1)	(11.3)	(16.7)	-	(17.3)	(横長方形)	N-2	-
238	(32.6)	(1.6)	(15.1)	-	(16.7)	(横長方形)	S-1	-
239	(16.16)	(10.0)	-	-	(1.9)	-	-	-
240	(173.7)	(16.7)	(11.9)	(10.0)	(10.0)	(縦長方形)	S-1	-
241	(204.5)	(6.3)	-	-	(11.9)	-	N-1	-
242	(83.36)	-	4.0	(13.9)	-	(縦長方形)	S-1, W-1, E-1	-
243	(157.2)	(13.8)	(12.5)	(7.8)	-	-	S-2	-

() は推定値及び推定形状、N・S・E・F 方位位置を示す

No.	面 積 (㎡)	東 距 (m)	南 距 (m)	西 距 (m)	北 距 (m)	形 状	水 (分所)	備 考
244	(212.45)	(11.8)	(9.7)	(13.8)	(12.5)	-	N-2, S-1, W-1	-
245	(68.3)	(6.1)	(16.8)	6.5	(13.9)	〈横長方形〉	N-2, S-1	-
246	(74.5)	(11.3)	(13.7)	6.4	(16.8)	〈横長方形〉	N-1, S-1	-
247	(57.1)	(6.1)	(23.3)	6.1	(13.7)	〈横長方形〉	N-1, S-1	-
248	(57.98)	(10.8)	(22.1)	4.6	(23.3)	〈横長方形〉	N-1, S-2, W-1	-
249	(75.3)	(11.8)	(22.3)	6.2	(22.1)	〈横長方形〉	N-2, S-2	-
250	(121.8)	(5.8)	(24.3)	9.8	(22.3)	〈横長方形〉	N-2, S-1, W-1	-
251	(125.0)	(7.2)	(15.6)	5.6	(24.3)	〈横長方形〉	N-1, S-1	-
252	(331.5)	(13.5)	(24.2)	(12.9)	(15.6)	〈横長方形〉	N-1	-
253	20.9	2.3	13.0	2.6	11.8	横長方形	-	-
254	15.9	2.2	7.9	2.3	8.9	不定形	E-1	-
255	(423.6)	(14.2)	(21.0)	(17.6)	(25.1)	〈横長方形〉	N-1	-
256	(123.1)	16.5	(8.2)	(5.3)	9.5	〈縦長方形〉	-	-
257	(123.6)	(13.1)	(3.1)	15.8	(10.0)	〈縦長方形〉	-	-
258	(126.3)	(12.3)	(17.4)	(13.1)	(1.6)	-	-	-
259	(69.88)	(12.7)	6.6	(11.2)	-	〈縦長方形〉	S-1, E-1	-
260	78.15	13.6	6.2	13.7	6.6	縦長方形	N-1, S-1	-
261	(350.2)	33.2	8.2	(41.0)	6.2	〈縦長方形〉	N-1, E-1	-
262	34.3	5.2	8.2	4.9	8.2	横長方形	S-1, E-1	-
263	-	(4.0)	-	(2.1)	5.2	-	N-1, E-1	-
264	-	-	-	(4.0)	2.9	-	W-1	-
265	(150.1)	(16.1)	11.0	(12.7)	-	〈縦長方形〉	S-1, W-1	-
266	185.7	18.4	(19.5)	18.5	11.0	縦長方形	N-1, S-1, E-1, W-1	-
267	(117.9)	12.6	(8.4)	(12.9)	(9.5)	〈縦長方形〉	N-1, S-1, W-1	-
268	(237.9)	(29.2)	(2.4)	(15.8)	(8.4)	〈縦長方形〉	N-1, W-1	-
269	(127.4)	-	(10.9)	(13.9)	-	-	S-1	-
270	(219.1)	(7.8)	12.8	18.1	(10.8)	〈縦長方形〉	N-1	-
271	(260.5)	(44.7)	-	(44.5)	5.6	〈縦長方形〉	W-1	地割れ有
272	-	(37.8)	-	(44.7)	7.3	〈縦長方形〉	-	地割れ有
273	(7.3)	-	(2.3)	(8.3)	-	-	-	-
274	-	-	-	(37.8)	(2.3)	-	-	地割れ有
275	(588.2)	(36.8)	-	(16.6)	(27.8)	不定形	E-1	-
276	(629.0)	(27.0)	-	(36.8)	21.1	不定形	W-1	-
277	(144.9)	(22.5)	-	(27.0)	(7.0)	〈縦長方形〉	-	-
278	(96.7)	(2.4)	-	(22.5)	(2.3)	〈縦長方形〉	-	-
279	(0.4)	-	-	(2.4)	-	-	-	-

畦畔断面計測表

単位：cm

No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	畦 の 高 さ				No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	畦 の 高 さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
1	A2-S6	17	40	-	-	15	11	48	A3-X2	20	55	-	-	11	6
2	A2-S12	18	42	-	-	7	15	49	A3-X9 ①	16	44	-	-	7	10
3	A2-S13	8	22	-	-	7	12	50	A3-X9 ②	12	40	10	10	-	-
4	A2-S14	16	42	6	8	-	-	51	A3-Y2	10	48	-	-	12	7
5	A2-T12	18	36	8	6	-	-	52	A3-Y3	10	36	6	8	-	-
6	A2-T15	10	17	3	5	-	-	53	A3-Y9	20	40	-	-	11	7
7	A2-U3	23	40	9	10	-	-	54	B2-A9	34	47	1	4	-	-
8	A2-U5	27	43	-	-	3	3	55	B2-A18①	10	26	-	-	5	12
9	A2-U6	32	48	-	-	10	8	56	B2-A18②	9	25	10	17	-	-
10	A2-U11	20	36	-	-	6	13	57	B2-A20	8	40	5	12	-	-
11	A2-U12	25	40	-	-	4	8	58	B2-A22	8	35	-	-	8	5
12	A2-U13	26	55	-	-	8	10	59	B2-A23	10	35	1	7	-	-
13	A2-V8	18	45	8	10	-	-	60	B2-A24	14	40	-	-	2	3
14	A2-V11	7	25	-	-	6	8	61	B2-B15	16	33	8	14	-	-
15	A2-V12	14	38	4	12	-	-	62	B2-B18	11	34	-	-	19	10
16	A2-W5	16	38	8	9	-	-	63	B2-B20	8	15	6	10	-	-
17	A2-W10	18	34	6	7	-	-	64	B2-C18①	12	37	6	18	-	-
18	A2-W12	30	39	4	4	-	-	65	B2-C18②	18	36	-	-	9	10
19	A2-W13	34	61	7	20	-	-	66	B2-C21①	8	40	7	12	-	-
20	A2-W14	68	103	8	20	-	-	67	B2-C21②	14	36	-	-	8	9
21	A2-W19	10	40	-	-	6	6	68	B2-C21③	10	34	-	-	12	8
22	A2-W22	6	38	-	-	4	4	69	B2-C23	8	42	3	14	-	-
23	A2-X3 ①	12	32	8	14	-	-	70	B2-C24	14	44	-	-	8	5
24	A2-X3 ②	12	28	-	-	6	5	71	B2-D24	18	36	-	-	6	6
25	A2-X9	33	40	-	-	0	11	72	B3-A1	10	33	3	8	-	-
26	A2-X10	14	35	-	-	13	12	73	B3-B2	11	40	-	-	10	8
27	A2-X14	155	185	20	15	-	-	74	B3-B3	30	60	4	5	-	-
28	A2-X18	12	36	6	16	-	-	75	B3-B4	9	52	8	13	-	-
29	A2-X19	32	52	3	14	-	-	76	B3-B13①	14	40	-	-	8	6
30	A2-X20	20	40	-	-	10	2	77	B3-B13②	18	34	4	5	-	-
31	A2-X23	20	38	0	12	-	-	78	B3-B15	12	34	12	16	-	-
32	A2-Y4	16	38	-	-	10	13	79	B3-C0	6	34	3	9	-	-
33	A2-Y5	28	40	10	16	-	-	80	B3-C2	34	58	-	-	8	6
34	A2-Y7	16	46	8	16	-	-	81	B3-C13	20	38	-	-	12	11
35	A2-Y22	12	18	-	-	7	5	82	B3-D0	12	35	7	16	-	-
36	A3-S4	20	50	3	8	-	-	83	B3-D12	16	42	11	12	-	-
37	A3-S7	20	56	7	7	-	-	84	B3-D13	26	44	-	-	12	12
38	A3-U9	24	60	-	-	4	6	85	B3-E8	12	40	-	-	8	14
39	A3-U14	20	46	-	-	6	12	86	B3-E10	5	30	11	12	-	-
40	A3-V2	38	70	-	-	12	3	87	B3-E13①	8	39	-	-	11	12
41	A3-V6	14	55	4	6	-	-	88	B3-E13②	14	36	-	-	16	14
42	A3-V9	28	44	-	-	4	5	89	B3-E16	14	36	-	-	10	19
43	A3-V12	20	50	4	9	-	-	90	B3-F5	8	34	8	10	-	-
44	A3-W3	15	27	3	5	-	-	91	B3-F8	12	38	-	-	10	13
45	A3-W6	12	40	8	12	-	-	92	B3-F14	10	36	-	-	14	16
46	A3-W7	16	44	7	10	-	-	93	B3-G10	10	35	12	15	-	-
47	A3-W11	14	60	10	14	-	-	94	B3-G13	18	33	-	-	10	10

単位 : cm

No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	睡 の 高 さ				No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	睡 の 高 さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
95	B3-12	54	80	-	-	9	10	143	C2-I14	22	31	6	11	-	-
96	B3-13	8	33	12	8	-	-	144	C2-J11・12	24	35	-	-	8	7
97	B3-16	118	124	10	12	-	-	145	C2-J20	23	52	-	-	17	8
98	B3-110	18	40	-	-	8	8	146	C2-J17	9	36	-	-	18	8
99	B3-113	12	40	-	-	10	14	147	C2-M12	26	40	6	5	-	-
100	B3-Y5	15	30	7	8	-	-	148	C2-M18	28	48	6	11	-	-
101	B4-J19	20	38	-	-	4	6	149	C2-M21	33	57	5	5	-	-
102	B4-J21	40	60	-	-	6	8	150	C2-N7	32	50	-	-	9	4
103	B4-L21	84	128	14	8	-	-	151	C2-Q20	16	50	-	-	15	10
104	B4-L24	30	66	12	10	-	-	152	C2-R15	20	44	-	-	17	9
105	B5-J2 ①	10	18	-	-	6	4	153	C2-R22	14	59	-	-	11	10
106	B5-J2 ②	38	50	-	-	4	2	154	C2-S21①	20	44	8	6	-	-
107	B5-J3	12	36	8	8	-	-	155	C2-S21②	12	51	-	-	12	10
108	B5-J4	14	34	-	-	14	8	156	C2-T15	20	40	-	-	19	8
109	B5-J5	28	42	-	-	10	12	157	C2-T・U22	20	42	-	-	15	6
110	B5-J7	86	104	-	-	16	12	158	C2-V14	14	46	8	12	-	-
111	B5-K4	20	40	-	-	14	5	159	C2-V15	26	48	5	12	-	-
112	B5-K10	25	45	-	-	12	8	160	C2-W15	25	24	-	-	3	4
113	B5-N12	15	40	-	-	18	8	161	C2-W16	49	80	-	-	11	10
114	B5-K13	20	37	-	-	14	12	162	C2-X18	32	56	7	5	-	-
115	B5-L1	46	62	6	7	-	-	163	C3-G0	16	34	6	8	-	-
116	B5-M3 ①	44	65	12	10	-	-	164	C3-G2	68	86	-	-	10	12
117	B5-M3 ②	78	100	10	8	-	-	165	C3-J5	10	20	-	-	5	12
118	B5-M4	56	74	12	13	-	-	166	C3-K2	56	66	-	-	13	14
119	B5-M5	30	52	18	13	-	-	167	C3-K8	17	37	-	-	10	8
120	B5-M9	38	65	20	19	-	-	168	C3-L0	36	70	-	-	15	8
121	B5-M12	32	70	18	12	-	-	169	C3-M4	44	64	9	6	-	-
122	B5-M13	46	64	12	14	-	-	170	C3-M7	44	64	14	18	-	-
123	B5-N0 ①	30	56	3	5	-	-	171	C3-M8	26	43	-	-	3	7
124	B5-N0 ②	30	66	-	-	4	2	172	C3-M9	54	80	10	15	-	-
125	B5-N1	40	60	10	8	-	-	173	C3-N5	24	39	-	-	8	5
126	B5-N3	36	50	-	-	4	6	174	C3-O9	25	40	-	-	11	9
127	B5-N5	20	44	-	-	14	8	175	C3-O13①	26	46	-	-	7	10
128	B5-N7	60	107	-	-	24	16	176	C3-O13②	20	40	2	7	-	-
129	B5-N8	26	44	-	-	14	14	177	C3-P7・8	29	46	10	10	-	-
130	B5-O10	20	34	10	8	-	-	178	C3-P13	20	34	-	-	8	7
131	B5-P3	50	66	-	-	5	4	179	C3-R2	20	42	-	-	9	12
132	B5-P4	30	70	-	-	4	6	180	C3-R3・4	12	44	4	8	-	-
133	B5-P6	22	52	-	-	12	8	181	C3-R13	26	40	-	-	9	8
134	B5-P8	14	50	-	-	12	22	182	C3-R15・16	25	44	-	-	4	3
135	C2-B11	24	40	-	-	6	5	183	C3-R16①	24	44	7	11	-	-
136	C2-C10	20	-	2	20	-	-	184	C3-R16②	21	50	-	-	12	6
137	C2-C14	16	-	-	-	11	2	185	C3-S9・10	24	51	7	15	-	-
138	C2-D・E13	30	-	3	16	-	-	186	C3-S12	21	35	10	11	-	-
139	C2-D15	30	-	4	16	-	-	187	C3-S13	37	46	-	-	10	3
140	C2-E15	32	50	7	18	-	-	188	C3-S14	25	40	4	2	-	-
141	C2-E22	25	45	-	-	12	10	189	C3-S16	30	50	-	-	7	8
142	C2-I11	30	40	5	4	-	-	190	C3-T2	18	58	-	-	22	18

単位：cm

No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	靴 の 高 さ				No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	靴 の 高 さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
191	C3-T14	16	59	-	-	6	7	238	D3-C7	26	44	16	8	-	-
192	C3-T16	35	50	-	-	-	-	239	D3-C23	22	46	-	-	15	10
193	C3-U4	14	52	4	10	-	-	240	D3-D9	20	58	8	12	-	-
194	C3-U13	26	60	-	-	11	5	241	D3-D11	10	40	-	-	10	8
195	C3-U18①	28	46	-	-	4	6	242	D3-E2	40	70	-	-	18	18
196	C3-U18②	18	36	-	-	7	3	243	D3-E5	32	56	15	7	-	-
197	C3-V11	32	48	-	-	10	8	244	D3-E・F7	20	42	6	8	-	-
198	C3-V18	18	21	-	-	16	11	245	D3-E8	24	40	-	-	12	6
199	C3-V14	10	58	8	14	-	-	246	D3-E14	18	59	-	-	10	4
200	C3-V15	25	58	4	12	-	-	247	D3-F11	14	36	11	8	-	-
201	C3-V18	24	42	7	12	-	-	248	D3-F23	27	44	-	-	10	4
202	C3-V19	12	32	7	11	-	-	249	D3-G0	34	52	-	-	-	-
203	C3-W18	23	41	-	-	8	7	250	D3-H0	30	60	-	-	5	12
204	C3-X10	21	44	10	15	-	-	251	D3-J24	41	80	-	-	5	7
205	C3-X12	25	44	9	19	-	-	252	D4-E・F0	33	58	5	12	-	-
206	C3-X13①	58	70	14	20	-	-	253	D4-J2	26	44	7	8	-	-
207	C3-X13②	20	40	-	-	18	12	254	D4-V5	18	38	11	13	-	-
208	C3-X14	42	73	-	-	11	18	255	D4-W6	20	40	13	11	-	-
209	C3-X17・18	20	44	-	-	10	11	256	D4-Y6	19	42	11	19	-	-
210	C3-X19	18	33	10	9	-	-	257	D6-D21	16	40	6	10	-	-
211	C3-Y7 ①	26	52	5	11	-	-	258	D6-E20	18	54	8	10	-	-
212	C3-Y7 ②	29	52	-	-	4	8	259	D6-E23	22	56	-	-	7	6
213	C3-Y10	42	56	-	-	6	7	260	D6-E・F23	17	40	7	10	-	-
214	C3-Y18	13	32	-	-	7	7	261	D6-E・F24	16	58	8	8	-	-
215	D2-A16	28	50	6	8	-	-	262	D6-F20①	26	68	-	-	8	5
216	D2-A・B18	33	50	8	6	-	-	263	D6-F20②	8	40	-	-	4	4
217	D2-B16	43	57	-	-	6	4	264	D6-F21	20	48	9	10	-	-
218	D2-B22	16	70	12	11	-	-	265	D6-F23①	32	42	4	8	-	-
219	D2-C21	29	51	-	-	9	6	266	D6-F23②	14	50	-	-	6	4
220	D2-D16	51	60	-	-	3	2	267	D6-G19	18	52	-	-	10	8
221	D2-D・E19	32	57	6	7	-	-	268	D6-G20	32	72	-	-	4	6
222	D2-D21	20	46	-	-	8	10	269	D6-I20	22	48	-	-	8	6
223	D2-E15	20	60	-	-	6	6	270	D6-J・K19	16	37	6	7	-	-
224	D2-F16・17	45	65	-	-	5	4	271	D6-J20①	12	63	-	-	8	4
225	D2-F19	25	50	8	8	-	-	272	D6-J20②	18	44	-	-	8	8
226	D2-F23	29	60	10	12	-	-	273	D6-L20	26	38	-	-	3	4
227	D2-G15	20	48	-	-	6	2	274	D6-L・M20	20	32	4	11	-	-
228	D2-H21	32	51	5	9	-	-	275	D6-M20	10	39	-	-	11	7
229	D2-I18	40	54	-	-	3	4	276	D6-N20	18	40	1	4	-	-
230	D2-J16	30	50	2	8	-	-	277	D6-N20	24	50	-	-	1	4
231	D2-J19	30	58	6	6	-	-	278	D6-P20	11	34	-	-	8	6
232	D3-B4	30	46	15	9	-	-	279	D6-S・T21	80	98	10	20	-	-
233	D3-B15	16	68	20	12	-	-	280	D6-Y22	16	52	10	10	-	-
234	D3-B18	14	34	-	-	10	7	281	D7-C10	16	50	8	10	-	-
235	D3-B22	20	44	4	11	-	-	282	D7-D1	14	54	-	-	10	8
236	D3-B23	30	60	-	-	11	10	283	D7-D3	12	46	-	-	12	10
237	D3-C2	68	90	-	-	30	20	284	D7-D6・7	14	50	-	-	10	10

単位: cm

No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	畦 の 高 さ				No.	グリッド	上 端 幅	下 端 幅	畦 の 高 さ			
				N	S	E	W					N	S	E	W
285	D7-E1	10	56	-	-	6	4	333	E7-L16	29	49	8	12	-	-
286	D7-E2	20	42	12	10	-	-	334	E7-L20	20	47	-	-	14	12
287	D7-E4	10	46	7	10	-	-	335	E7-M4	22	44	10	9	-	-
288	D7-F1・2	26	60	-	-	6	9	336	E7-M6	12	43	-	-	8	6
289	E3-J0	16	46	10	8	-	-	337	E7-M7	16	42	-	-	10	6
290	E4-A6	18	40	11	10	-	-	338	E7-M8	21	36	9	10	-	-
291	E6-C・D23	19	40	-	-	8	6	339	E7-M・N10	14	51	11	11	-	-
292	E6-E24	16	38	9	8	-	-	340	E7-M18	19	39	-	-	7	11
293	E7-B17	40	70	-	-	12	10	341	E7-N6	22	46	-	-	10	12
294	E7-C14	22	70	-	-	-	-	342	E7-O10	38	58	6	8	-	-
295	E7-D4	22	42	11	12	-	-	343	E7-P5・6	25	51	-	-	10	8
296	E7-D6	12	34	-	-	12	9	344	E7-P16・17	30	52	-	-	12	11
297	E7-D7	20	32	-	-	4	5	345	E7-Q4	18	57	10	12	-	-
298	E7-D8	18	42	6	8	-	-	346	E7-Q7	30	50	9	12	-	-
299	E7-D14	19	70	10	9	-	-	347	E7-Q15	28	51	-	-	14	9
300	E7-D16	29	48	6	11	-	-	348	E7-R5	48	62	-	-	6	3
301	E7-D17	32	58	-	-	15	7	349	E7-R・S7	22	44	5	9	-	-
302	E7-D19	11	52	12	17	-	-	350	E7-R18	30	60	-	-	6	10
303	E7-E0・1	18	36	-	-	5	6	351	E7-S4	20	44	11	10	-	-
304	E7-E6	29	48	-	-	6	9	352	E7-S14	28	58	-	-	8	5
305	E7-E14	24	50	-	-	18	10	353	E7-T5	38	62	-	-	12	6
306	E7-F4	26	48	-	-	7	10	354	E7-T14	28	65	10	12	-	-
307	E7-F7	15	32	-	-	8	6	355	E7-T15①	24	50	-	-	10	12
308	E7-F17	12	50	-	-	14	10	356	E7-T15②	27	62	8	19	-	-
309	E7-G0・1	32	42	-	-	7	8	357	E7-U・V3 ①	12	38	9	9	-	-
310	E7-G3	22	34	8	12	-	-	358	E7-U・V3 ②	17	70	9	13	-	-
311	E7-G・H5	32	50	8	10	-	-	359	E7-U14	24	53	-	-	5	6
312	E7-G・H13	19	43	9	12	-	-	360	E7-V・W4 ①	20	44	8	8	-	-
313	E7-G24	25	46	6	8	-	-	361	E7-V・W4 ②	14	70	6	6	-	-
314	E7-H0・1	22	44	-	-	7	7	362	E7-V・W8	135	175	10	6	-	-
315	E7-H6	20	48	12	12	-	-	363	E7-V・W9 ①	10	22	3	6	-	-
316	E7-H8	23	38	8	12	-	-	364	E7-V・W9 ②	140	160	16	8	-	-
317	E7-H18	28	50	8	12	-	-	365	E7-V・W9 ③	18	28	-	-	-	-
318	E7-H・I19	42	54	12	16	-	-	366	E7-V・W9 ④	40	70	10	6	-	-
319	E7-H20	35	72	-	-	6	6	367	E7-W1・2	32	54	-	-	9	5
320	E7-I5	22	44	6	10	-	-	368	E7-W4	24	54	-	-	8	7
321	E7-I8	12	40	8	10	-	-	369	F7-A3	19	80	10	8	-	-
322	E7-I15	20	46	9	9	-	-	370	F7-A6	38	72	10	8	-	-
323	E7-I17	22	45	-	-	23	8	371	F7-A・B8	34	70	9	8	-	-
324	E7-I20	12	32	2	4	-	-	372	F7-B4・5	29	66	-	-	6	5
325	E7-J0	22	42	-	-	8	4	373	F7-C7	28	72	-	-	12	7
326	E7-J6	26	56	-	-	7	6	374	F7-C9	25	64	-	-	8	11
327	E7-J14	24	52	-	-	18	11	375	F7-C17	28	56	-	-	18	4
328	E7-K5	26	52	10	12	-	-	376	F7-D22	26	42	-	-	16	11
329	E7-K8	11	48	8	10	-	-	377	F7-D23	22	52	-	-	18	15
330	E7-K17	20	54	-	-	16	14	378	F7-E3・F3	42	150	22	10	-	-
331	E7-K・L24	18	42	10	14	-	-	379	F8-F0	14	54	-	-	5	10
332	E7-L7	22	44	6	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

水路・溝 計測表

() は推定値を表す

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	溝幅 (%)	溝幅 (cm)	流水 方向	溝の位置 (グリッド)	堆積土層 (砂・シルト)	備 考
1	(19)	N 80 S 128	N 77.80 S 77.70	5.26	上 (380) 下 400	N-S	A2-S0~X0	⑤・⑥	近世の遺物 木杭あり
2	14.8	N 37 S 22	N 78.65 S 78.62	2.03	上 40 下 30	N-S	A2-S14~V15	⑤・⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
3	7.1	N 15 S 10	N 78.55 S 78.50	7.04	上 80~90 下 45~60	N-S	B2-A14~C13 ~14	⑥	水田面を掘り込んでいる 木杭跡あり
4	10.4	N 16 W 32	N 78.83 S 78.76	6.73	上 70~80 下 20~30	N-S	A2-R17~19	⑤・⑥	水田面を掘り込んでいる
5	35.4	N 10 S 15	N 78.80 S 78.60	5.65	上 30~40 下 10~15	N-S	A2-U18~B2- A17	⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
6	24	N 45 S 20	N 78.62 S 78.60	0.83	上 60~110 下 40~100	N-S	A2-R20~ W18	⑤・⑥	W-5、7と並行し、掘り込みが深い
7	38.8	N 10 S 20	N 78.80 S 78.60	5.15	上 60~110 下 55~90	N-S	A2-U19~B2- B17	⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
8	12.2	E 6 W 8	E 78.78 W 78.76	1.64	上 30~40 下 15~32	E-W	A2-X19~22	⑤・⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
9	33.5	W 20 E 7	W 78.64 E 78.50	4.18	上 32~62 下 26~40	W-E	A2-X7~B2- D24	⑤・⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
10	51.5	N 30 S 40	N 78.60 S 78.30	5.83	上 100~134 下 54~60	N-S	(A2-S20~B3- C3)	⑤・⑥	埋戻土は水田層 掘り込みはC層石を含む層まで
11	6.3	N 17 S 20	N 78.80 S 78.74	9.52	上 70~90 下 40~75	N-S	A2-R23~S24	⑤・⑥	水田面より下層まで掘り込みあり
12	6.2	W 4.5 E 4	W 78.89 E 78.86	17.74	上 30~40 下 15~25	E-W	A3-S0~S2	④・⑤	水田面より下層まで掘り込みあり
13	7.6	W 3.5 E 4	W 78.89 E 78.86	3.95	上 25~45 下 18~32	W-E	A3-S0~S2	④・⑤	水田面より下層まで掘り込みあり
14	21.6	N 8 S 12	N 78.90 S 78.80	4.63	上 60~64 下 30~40	N-S	A2-V22~A3- S0	⑥	水田面より下層まで掘り込みあり
15	5.3	N 10 S 5	N 78.87 S 78.86	1.89	上 30~45 下 18~35	N-S	A3-S2~T1	④・⑤	水田面より下層まで掘り込みあり
16	27.3	N 16 S 5	N 78.90 S 78.65	5.49	上 40~60 下 20~30	S-N	A2-Y0~A3- S3	⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
17	5.1	N 8 S 10	N 78.60 S 78.56	7.84	上 20 下 12	N-S	A3-X1~Y1	⑥	水田面を掘り込んでいる
18	39.4	N 10 S 12	N 78.70 S 78.66	1.02	上 44~90 下 30~74	N-S	A3-S4~C3	⑥	溝の両端に畦畔がある
19	(20)	W 246 E 272	W 77.54 E 77.28	13.00	上 300以上 下 170以上	W-E	B3-I0~K5	⑤・⑥	近世の遺物を含む
20	3.5	N 6 S 10	N 78.40 S 78.38	5.71	上 40~42 下 20~30	N-S	B3-I3~I3	①	水田面を掘り込んでいる
21	18	N 154 S 147	N 77.17 S 77.15	1.11	上 386 下 380	S-N	B4-R5~U7-8	⑤・⑥	近世の遺物を含む
22	14.1	N 42 S 44	N 78.26 S 78.15	7.09	上 100~115 下 40~80	N-S	B4-L16~O17	⑥	日軽石層より下にある
23	12.5	W 13 E 15	W 78.62 E 78.58	3.20	上 50~60 下 42~46	W-E	B4-I21~J24	⑥	上面は日軽石が堆積している
24	34.0	W 36 E 38	W 78.60 E 78.16	12.94	上 100~152 下 100~120	W-E	B4-K19~B5- I2	⑥	現耕作土より一層下より掘り込んでいる
25	36.0	N 45 S 70	N 78.10 S 77.76	3.89	上 200~380 下 50~100	N-S	B5-J0~B4-P- Q20	⑤・⑥	水田面を掘り込んでいる
26	7.0	N 18 S 12	N 78.44 S 78.31	18.57	上 90~104 下 34~70	S-N	B5-J0~J2	⑥	W-25に切られている
27	38.5	N 7 S 10	N 78.50 S 78.34	4.16	上 41~66 下 22~50	S-N	B5-I3~B4- P24	⑤・⑥・⑦	畦畔、水田面を掘り込んでいる
28	32.8	N 20 S 30	N 78.39 S 78.30	2.77	上 28~90 下 18~47	N-S	B5-K0~Q1	⑤・⑥	畦畔、水田面を掘り込んでいる
29	15.0	N 6 S 15	N 78.45 S 78.34	7.33	上 25~30 下 20~22	S-N	B5-M2~Q2	⑥	水田面を掘り込んでいる
30	4.0	N 9 S 7	N 78.10 S 78.09	2.50	上 75 下 25~42	S-N	B5-L7~M7-8	-	畦畔、小水田を掘り込んでいる 水口流水の掘り込み?

() は推定値を表す

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	溝勾配 (%)	溝幅 (cm)	流水 方向	溝の位置 (グリッド)	堆積土層 (地質マップ)	備 考
31	293	N 100 S 139	N 77.48 S 76.26	3.86	上 290~470 下 130~300	N-S	B2-X・Y8~ D4-N・O4	③・④	水田に伴う水路 (排水路) 遺物あり
32	124.8	N 50 S 40	N 77.86 S 77.71	1.20	上 50~250 下 35~160	N-S	C2-M・N9~ D9-H3	③・④	岡端に畦畔あり 水田に伴う水路
33	92.7	N 34 S 40	N 77.64 S 77.50	1.51	上 50~100 下 30~60	N-S	C2-O11~D2- I12	③	W-32より分岐している 岡端に畦畔あり
34	4.5	W 25 E 26	W 77.74 W 77.68	2.22	上 54~74 下 30~36	E-W	D2-B11~B12	③・④	水田を覆う砂礫層を掘り込んでいる
35	2.4	W 11 E 13	W 77.67 E 77.62	20.83	上 60~95 下 38~65	W-E	D2-O14	③	水田と同じ砂礫層で埋まる
36	7.0	N 6 S 7	N 77.72 S 77.52	20.0	上 35~40 下 10~16	N-S	D2-O14~P14	③・④	畦畔を掘り込んでいる
37	3.7	W 23 E 18	W 77.38 E 77.33	13.51	上 60~75 下 24~46	W-E	D2-U15・16	③	岡端に畦畔あり
38	3.3	W 29 E 32	W 77.27 W 77.24	9.09	上 70~100 下 28~40	R-W	E3-HO~I24・ 25	③・④	岡端に畦畔あり
39	29.5	N 45 S 48	N 76.90 S 76.86	12.20	上 105~270 下 50~140	N-S	D4-N2・3~ U3・4	③・④	岡端に畦畔あり
40	13.2	E 20 W 10	E 77.14 W 77.20	4.85	上 70~130 下 30~60	W-E	D4-P3・4~Q5	③・④	水田と同じ砂礫層で埋まる
41	7.8	W 20 E 25	W 77.20 E 77.10	13.33	上 110~120 下 50~60	W-E	D4-P・Q1~Q3	③・④ (掘 乱入)	水田と同じ砂礫層で埋まる
42	17	N 110 S 123	N 76.30 S 76.01	17.06	上 450~530 下 280~390	N-S	B4-A・B7~F- G7	③・④ (上 部崩乱)	上層より掘り込まれている 近世の遺物あり
43	7.8	N 102 S 74	N 77.22 N 76.98	30.77	上 390~430 下 110~140	S-N	D7-B6・9~ D8・9	③・④・⑤	栗耕作土下2層より掘り込まれている
44	7.5	N 90 S 86	N 77.20 N 77.10	13.33	上 295~380 下 140~150	N-S	D7-B12~ D12・13	③・④	水田を覆った砂礫層を含む
45	28.9	N 45 S 14	N 76.84 N 76.15	23.88	上 75~90 下 65~80	S-N	E7-C6~E7- I7	③・④・⑤	水田面を掘り込んでいる B粒石礫より下にある
46	98.9	N 55 S 9	N 76.46 S 76.23	2.33	上 60~120 下 50~100	N-S	E7-B9~F7- A10	③・④	水田面を掘り込んでいる
47	10.8	N 26 S 47	N 76.14 S 75.90	22.22	上 80~200 下 60~125	N-S	E7-B9~H10- 11	③・④	W-46による決壊の溝
48	(85.2)	N 142 S 121	N 75.70 S 74.70	11.74	上 225~600 下 80~300	N-S	E7-B11・12~ T16・17	③・④	W-49を決壊させ水田面を削ってW-56に合流する
49	(85)	N 118 S 65	N 76.00 S 75.64	4.24	上 250~350 下 150~190	N-S	E7-A12~ V12・13	③・④	W-48により決壊寸断している
50	(42.1)	N 15 S 20	N 76.15 S 75.95	4.04	上 65~90 下 40~60	N-S	E7-K11~U11	③	方向的にW-48に続いていると推定される
51	26.5	N 5 S 13	N 76.11 S 76.12	0.39	上 150~200 下 80~150	N-S	E7-L14~P19	③	畦畔 水田面を削っている
52	24.8	N 11 S 17	N 76.01 S 76.00	0.40	上 96~140 下 50~62	N-S	E7-N22~ T19・20	③	水田面を削っている 洪水のためか
53	19.7	N 20 S 18	N 75.92 S 75.84	4.06	上 70~100 下 30~70	N-S	E7-Q22~ U20・21	③	水田面を削っている 洪水のためか
54	(15.9)	N 16 S 9	N 76.20 S 75.92	17.61	上 80~150 下 30~100	N-S	E7-R22~V22	③	水田面を削っている 洪水のためか
55	9.7	N 30 S 27	N 75.63 S 75.67	2.06	上 100 下 50	決壊的 (N-S)	E7-U23~ W22	③	水田面を削っている
56	(49)	E 109 W 80	W 75.00 E 74.80	8.16	上 590~890 下 220~430	W-E	E7-V・W13~ X・Y24	③	W-49・59が合流 W-48等の決壊のため幅広くなっている 遺物あり
57	50	E 17 W 40	W 76.02 E 76.05	0.6	上 85~190 下 25~60	W-E	F7-B・C12~ A24	③・④・⑤	岡端に畦畔あり 庭に地割れ跡あり
58	8.8	W 7 E 11	W 76.20 W 76.03	19.32	上 50~75 下 25~30	E-W	E7-X12~Y14	③	W-57が切っている
59	(45.5)	N 30 S 30	N 76.04 S 75.83	4.62	上 230~360 下 70~220	S-N	E7-W12・13~ F7-H・I12	③・④・⑤	W-49と合流してW-56に流れていると推定される
60	48.8	N 11 S 10	N 76.22 S 76.10	2.46	上 80~250 下 30~100	N-S	F7-B・C1~ I11・12	③・④・⑤	水田面 畦畔を削っている

() は推定値を表す

No.	長さ (m)	深さ (cm)	底のレベル (m)	溝勾配 (%)	溝幅 (cm)	流水 方向	溝の位置 (グリッド)	埋戻し層 の層番号	備 考
61	3.4	N 7 S 12	N 76.10 S 76.02	23.53	上 30~70 下 15~40	N-S	F7-A23~B23	㊦	畦畔・水田面を削っている
62	(12.1)	N 3 S 6	N 76.13 S 76.10	2.48	上 50~55 下 35~40	N-S	F7-A22~C24	㊦	畦畔・水田面を削っている
63	(20.2)	N 5 S 3	N 76.20 S 76.00	9.90	上 30~50 下 25~30	N-S	E7-Y21~F7-C24	㊦	畦畔・水田面を掘り込んでいる
64	(4.4)	N 2 S 6	N 76.24 S 76.05	4.32	上 35~76 下 20~45	N-S	F7-A15~F8-E0	㊦	畦畔・水田面を掘り込んでいる

註：表中のN.S.W.Eは方向を示す

(水路・溝 計測表 土層注記ナンバー)

凡 例

- ① におい赤褐色土層 細砂を含む
 ② 暗赤褐色砂質層 酸化を帯びる
 ③ 褐灰色砂質層
 ④ 褐灰色土層 細砂、FPを含む
 ⑤ 褐灰色砂礫層
 ⑥ 灰褐色細砂層 礫を含む
 ⑦ 灰褐色微砂層
 ⑧ 灰褐色砂質層
 ⑨ 灰褐色土層 軽石を含む (FP、C軽石)
 ⑩ におい褐色土層 細砂、FP粒を含む
 ⑪ におい褐色土層
 ⑫ 明褐色土層
 ⑬ 褐色土層 細砂を含む
 ⑭ 黒褐色土層
 ⑮ 明黄褐色砂質層
 ⑯ 明黄褐色土層
 ⑰ 灰黄褐色砂質層
 ⑱ におい黄褐色土層 細砂、FP粒を含む
 ⑲ におい黄褐色砂礫層
 ⑳ 鈍い黄褐色粘質層
 ㉑ 暗褐色土層
 ㉒ 暗褐色砂質層
 ㉓ 灰色細砂層
 ㉔ 灰色細砂粗砂層
 ㉕ 灰色砂礫層
 ㉖ 灰色砂礫層 粘質土ブロックを含む
 ㉗ 暗灰色粗砂層 礫を含む
 ㉘ 暗褐色土層 細砂・小礫を含む
 ㉙ 暗灰褐色砂質層
 ㉚ 灰色細砂層 FP、C軽石を含む
 ㉛ 灰色細砂層 礫・FPを含む
 ㉜ 砂礫層 酸化を帯びる
 ㉝ 暗赤褐色土層 B軽石、細砂を含む 酸化している

土坑計測表

() は推定値 単位: m

形状: ①円形 ②楕円形 ③隅丸方形 ④隅丸長方形 ⑤不定形

土坑名	所在グリッド	長	幅	深さ	形状	備考
1	A2-Y21	0.80	0.80	0.15	①	
2	A2-S17~T17	4.05	0.35	0.62	③	
3	A2-S18~T18	1.10	0.35	0.17	②	
4	A2-T19~U19	4.45	0.45	0.12	③	
5	A2-X23	1.50	0.40	0.18	②	
6	A3-S2	0.85	0.50	0.15	③	畦畔を切っている
7	A3-X3	1.70	0.45	0.23	③	
8	A3-X4	2.00	0.45	0.17	③	
9	A3-X5	2.15	0.40	0.36	④	
10	A3-X6	2.20	0.35	0.52	③	
11	A3-X7	2.00	0.15	0.50	③	
12	A3-W7	1.65	0.50	0.15	③	
13	A3-Y5	1.50	0.60	0.15	④	
14	A3-T4 ~ T5	(4.55)	0.65	0.31	③	トロッコ 切込畦畔を切っている
15	A3-T7	3.10	0.75	0.35	④	
16	A3-U10	1.90	0.70	0.12	②	
17	A3-Y9	1.05	0.50	0.12	②	
18	A3-X9	1.00	0.45	0.09	④	
19	A3-X9	2.50	0.45	0.20	③	畦畔を切っている
20	A3-Y9	1.10	0.35	0.25	②	
21	A3-S11 ~ S12 A3-T1 ~ T2	3.50	0.55	0.11	④	畦畔を切っている
22	A3-T1	3.15	0.60	0.08	④	畦畔を切っている
23	A3-T2	4.60	0.40	0.30	③	
24	A3-U1	3.20	0.75	0.12	⑤	
25	A3-W1	2.25	0.35	0.36	④	
26	A3-W1 ~ X1	2.50	0.55	0.27	③	畦畔を切っている
27	A3-W0 ~ X0	1.70	0.40	0.35	③	
28	A3-W0 ~ X0	4.45	0.35	0.25	③	
29	A3-X1, Y0 ~ Y1	2.10	0.45	0.13	③	
30	欠番	-	-	-	-	
31	A3-S9	(2.65)	(0.40)	0.59	-	一部調査区外の為不明
32	B3-E7	(0.60)	(0.60)	0.25	-	一部調査区外の為不明
33	B3-F8	1.00	0.80	0.20	②	
34	B3-I7	1.35	0.40	0.15	④	
35	B3-I8	1.50	0.65	0.24	④	
36	B3-G10~G11	2.20	0.45	0.13	④	
37	B3-G11~G12	3.00	0.65	0.09	⑤	
38	B3-J11	1.65	0.40	0.17	④	
39	B3-D13~E13	1.70	0.40	0.26	④	
40	B3-C16~D16	1.50	0.45	0.33	④	
41	B3-F16	0.75	0.70	0.41	⑤	
42	B3-F16	2.60	0.50	0.28	④	
43	B3-E13~F13	1.60	0.60	0.30	④	
44	B3-I13	0.80	0.45	0.15	②	
45	B4-Q8	1.70	0.70	0.21	④	
46	B4-S14	1.05	1.05	0.40	①	特殊土坑

() は推定値 単位: m

形状: ①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

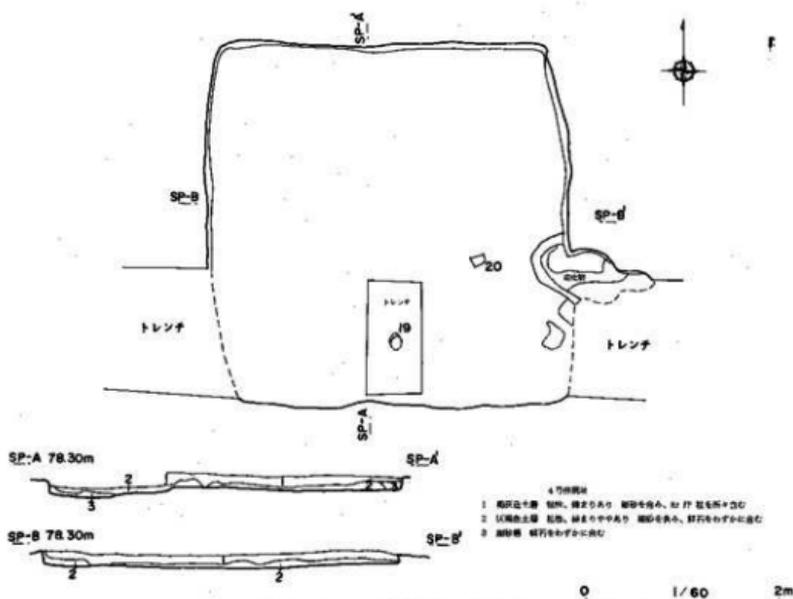
土坑名	所在グリッド	長	軸	短	軸	深	さ	形状	備	考
47	B4-S15	1.30		1.30		0.45		①	特殊土坑	
48	B5-L13	1.35		0.95		0.28		④		
49	B5-M12~M13	2.05		0.65		0.05		④		
50	B5-M-N12・13	4.50		0.50		0.32		④		
51	B5-M-N12・13	1.85		1.15		0.10		④		
52	B5-N-O12	2.45		0.75		0.21		④		
53	B5-N-O13	(2.45)		1.10		0.11		④		
54	B5-N-O13	2.75		(1.10)		0.17		④		
55	B5-N-O11・12	3.15		0.95		0.16		④		
56	B5-O10・11	0.90		0.90		0.08		①		
57	B5-M-N11	2.45		1.15		0.12		⑤		
58	B5-M-N10	1.00		1.00		0.14		①		
59	B5-L-M11	2.30		0.60		0.11		④		
60	B5-M10	-		1.30		0.10		-	一部調査区外の為不明	
61	B5-O9・10	1.65		1.20		0.14		④		
62	B5-P10	(1.05)		(0.50)		0.88		①		
63	B5-O7	(1.05)		(0.80)		0.30		①		
64	B5-K-L10	1.75		1.05		0.06		②		
65	B5-J11	2.35		0.55		0.09		④		
66	B5-J10	1.55		0.65		0.10		②		
67	B5-K9	1.45		0.65		0.07		④		
68	B5-L8	1.85		0.80		0.20		④		
69	B5-L8	1.75		0.75		0.30		④		
70	B5-K7・8	1.55		0.55		0.23		②		
71	B5-J7・8	1.70		0.60		0.08		④		
72	B5-J7・8	3.55		3.15		0.44		②		
73	B5-M-N9	1.55		1.20		0.15		②		
74	B5-N9	1.80		0.80		0.11		④		
75	B5-M-N8・9	3.35		0.70		0.15		④		
76	B5-N9	2.45		0.95		0.13		④		
77	B5-L-M10	(1.65)		1.00		0.09		④		
78	B5-L-M9・10	1.05		0.95		0.19		①		
79	B5-K4・5	3.15		2.60		0.27		⑤		
80	B5-LS	1.95		0.70		0.20		⑤		
81	B5-L6	2.35		1.15		0.16		④		
82	B5-L-M6	2.05		1.15		0.09		⑤		
83	B5-M-N6・7	2.50		2.40		0.07		②		
84	B5-M-N5	1.60		0.55		0.05		④		
85	B5-N7	1.50		1.45		0.28		⑤		
86	B5-O7	2.50		0.80		0.17		③		
87	B5-O6・7	1.70		1.70		0.25		①		
88	B5-O6	1.85		1.20		0.14		⑤		
89	B5-O6	1.20		1.15		0.14		⑤		
90	B5-O6	1.90		0.80		0.10		⑤		
91	B5-O6	1.20		0.75		0.09		②		
92	B5-O・P5・6	2.60		0.80		0.16		④		
93	B5-P5・6	1.40		0.80		0.14		④		

() は推定値 単位: m

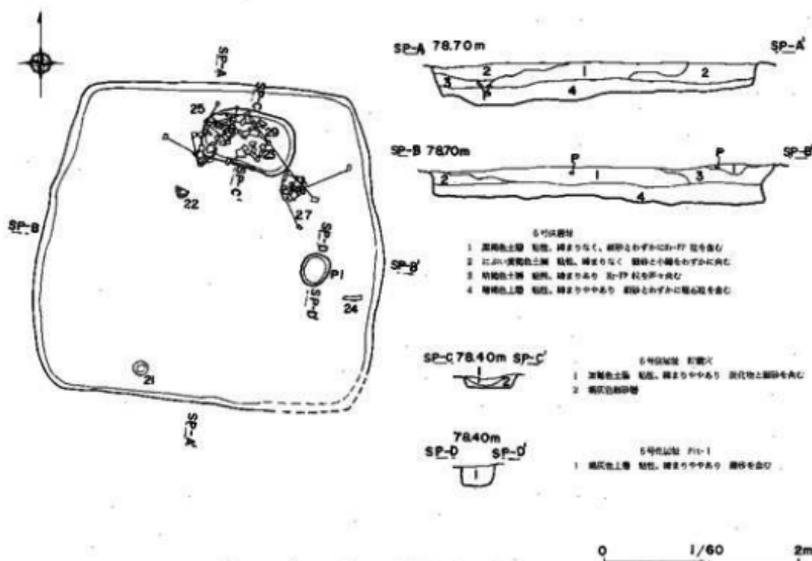
形状: ①円形②楕円形③隅丸方形④隅丸長方形⑤不定形

土坑名	所在グリッド	長 軸	短 軸	深 さ	形状	備 考
94	B5-P6	1.00	0.80	0.04	②	
95	B5-O・P5	1.50	0.90	0.09	④	
96	B5-P5	1.30	1.20	0.06	②	
97	B5-Q4	(1.25)	-	0.17	-	一部調査区外の為不明
98	B5-K・L7	11.70	2.80	0.29	⑤	
99	B5-K3・4	1.70	0.80	0.19	④	
100	B5-L4	2.90	2.00	0.10	④	
101	B5-M3	1.15	1.00	0.13	②	
102	B5-M3	1.10	0.80	0.10	⑤	
103	B5-Q4	(2.00)	(0.80)	(0.53)	-	一部調査区外の為不明
104	B5-O6	(1.45)	(1.00)	-	④	
105	B5-Q4	-	-	(0.85)	-	大部分調査区外の為不明
106	B5-J2	1.40	1.35	0.10	①	
107	B5-J2・3	1.45	1.25	0.05	⑤	
108	B5-J・K2	1.35	1.10	0.20	②	
109	B5-K3	0.80	0.60	0.14	②	
110	B5-K・L2	1.65	1.10	0.18	②	
111	B5-K2	1.20	1.10	0.16	②	
112	B5-K1	1.65	0.85	0.04	④	
113	B5-K・L0・1	1.95	1.20	0.18	④	
114	B5-L0	1.15	1.00	0.04	⑤	
115	B5-M2	1.90	0.60	0.08	④	
116	B5-M0	(1.15)	0.50	0.13	④	
117	B4-O24	0.85	0.40	0.06	②	
118	B4-Q24	2.15	0.70	0.35	④	
119	B4-J20	2.50	0.50	0.59	④	
120	B4-J・K20	1.15	0.82	0.10	⑤	
121	B4-J・K20	1.10	1.00	0.61	④	
122	B4-L22	1.00	0.95	0.11	①	
123	欠 番	-	-	-	-	
124	B5-17・8	2.50	-	-	-	一部調査区外の為不明
125	B5-L7	0.90	0.50	-	②	
126	B5-L7	0.95	0.70	-	②	
127	B5-K・L5・6	3.40	0.50	-	④	
128	B5-L5	1.10	0.90	-	⑤	
129	B5-J4	0.85	0.50	-	④	
130	B5-K・L3・4	2.10	1.00	-	④	
131	B5-K3	2.30	0.80	-	④	
132	B5-J・K3	1.50	1.10	-	④	
133	B5-J・K1	1.60	0.70	-	④	
134	B4-K22	1.20	1.10	-	①	
135	B4-I21	2.40	0.80	-	⑤	

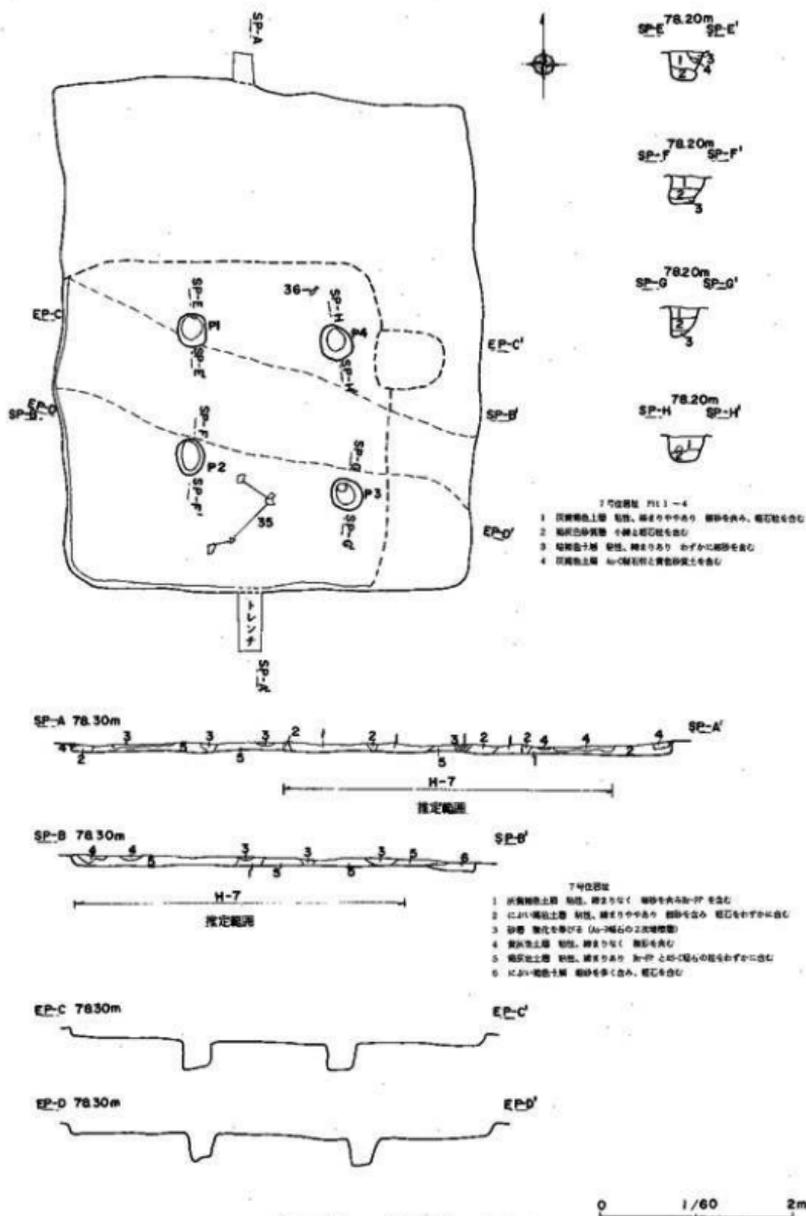
遺構・遺物実測図



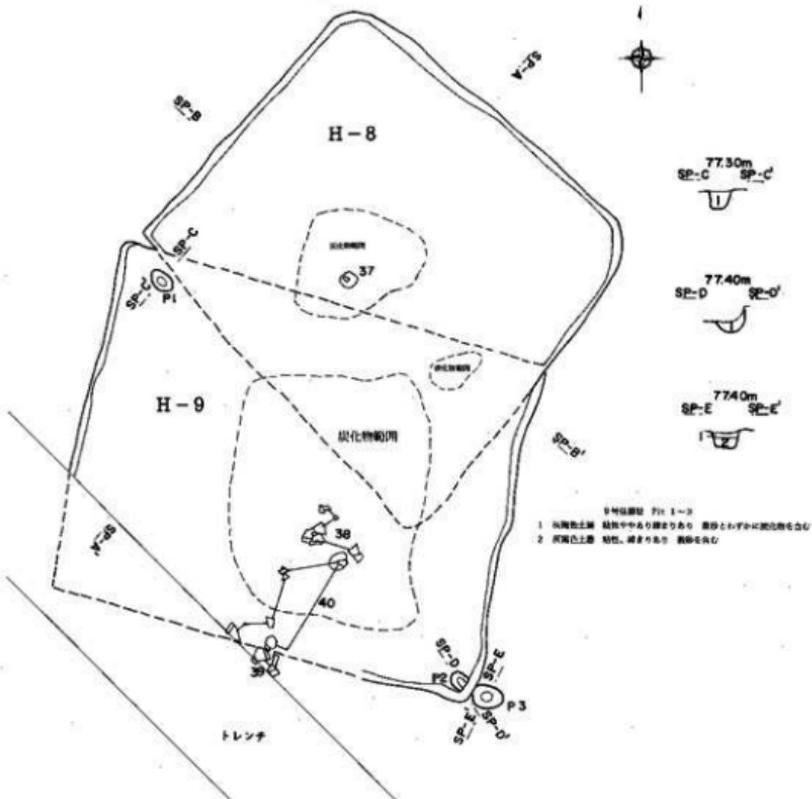
第9図 4号住居址 実測図



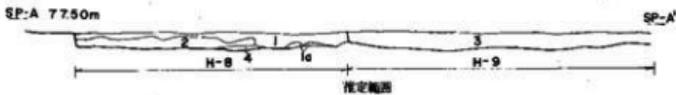
第10図 5号住居址 実測図



第 12 図 7号住居址 実測図



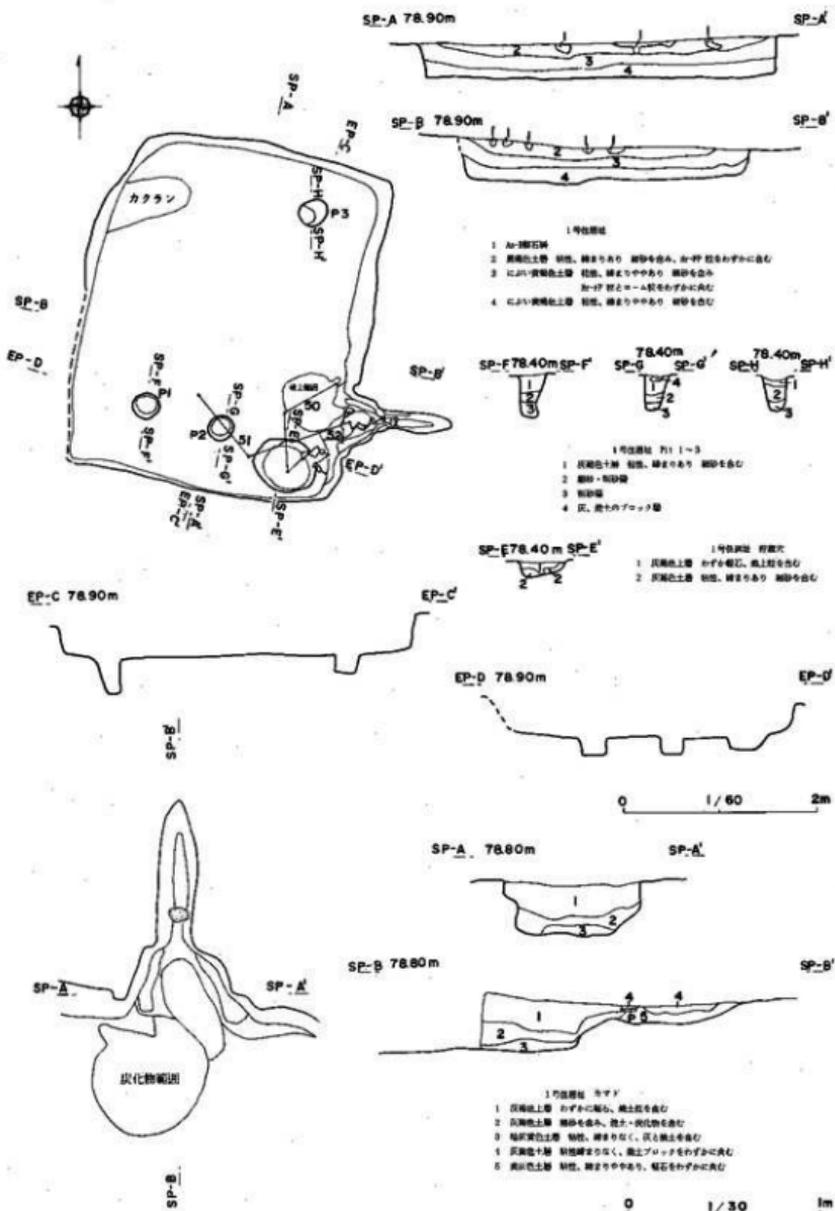
- 9号住居跡 P1: 1-3
- 1 炭質土層 粘性や中なり層もあり 黒砂とわずかに炭化物を含む
 - 2 炭質土層 粘性、硬まりあり 黒砂を含む



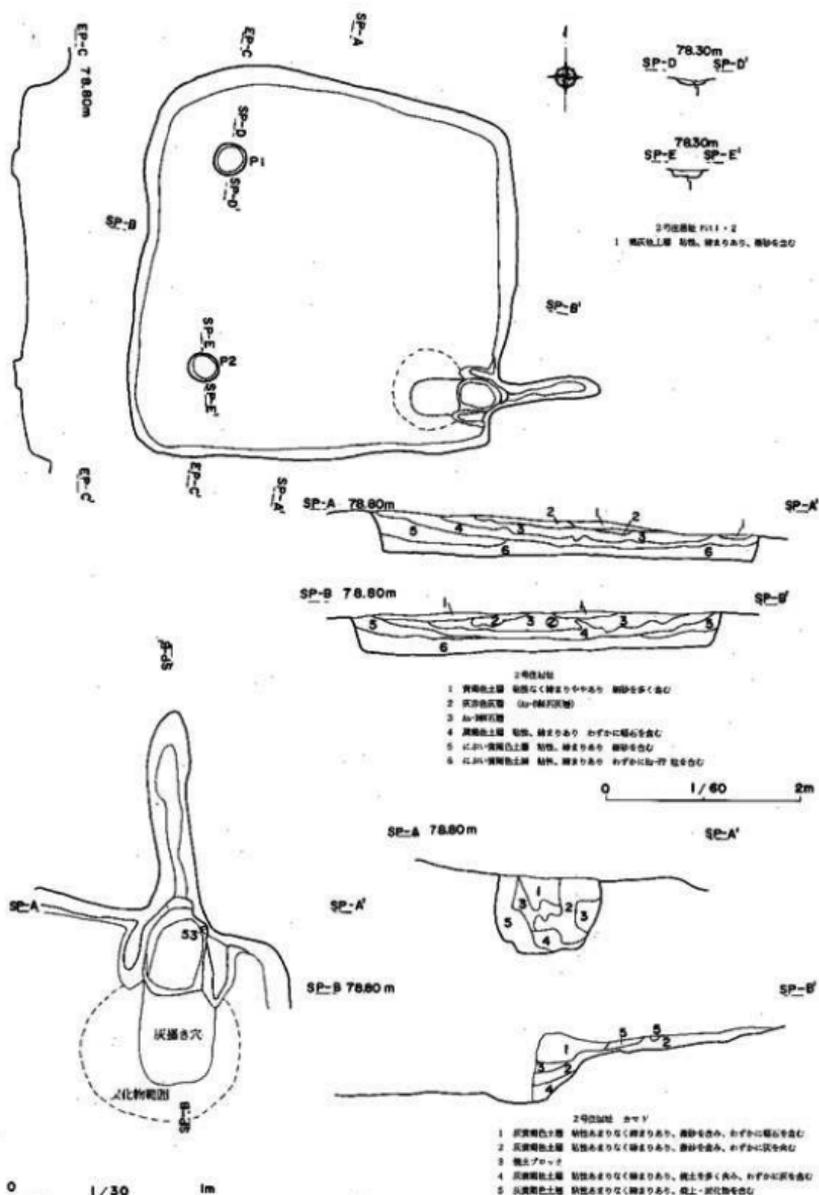
- 8-9号住居跡
- 1 炭質土層 粘性や中なり層もあり 黒砂とわずかに炭化物を含む
 - 1a 炭質土層 粘性や中なり層もあり 黒砂とわずかに炭化物を含む
 - 2 炭質土層 粘性、硬まりあり 黒砂を含む
 - 3 炭質土層 粘性や中なり層もあり 黒砂とわずかに炭化物を含む、黒砂と炭化物を含む 1層より厚い層になっている
 - 4 炭化物
- (1-3層の黒砂と炭化物がアースの底に埋まっている)

0 1/60 2m

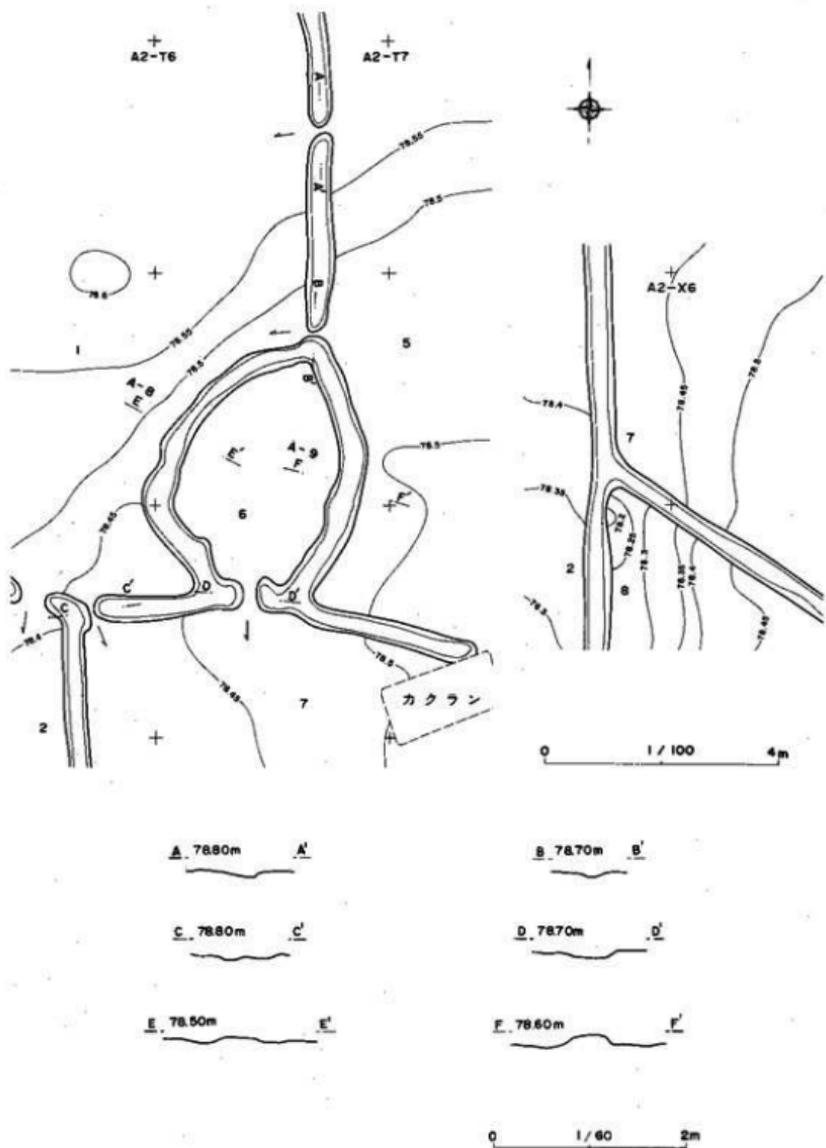
第 13 図 8・9号住居址 実測図



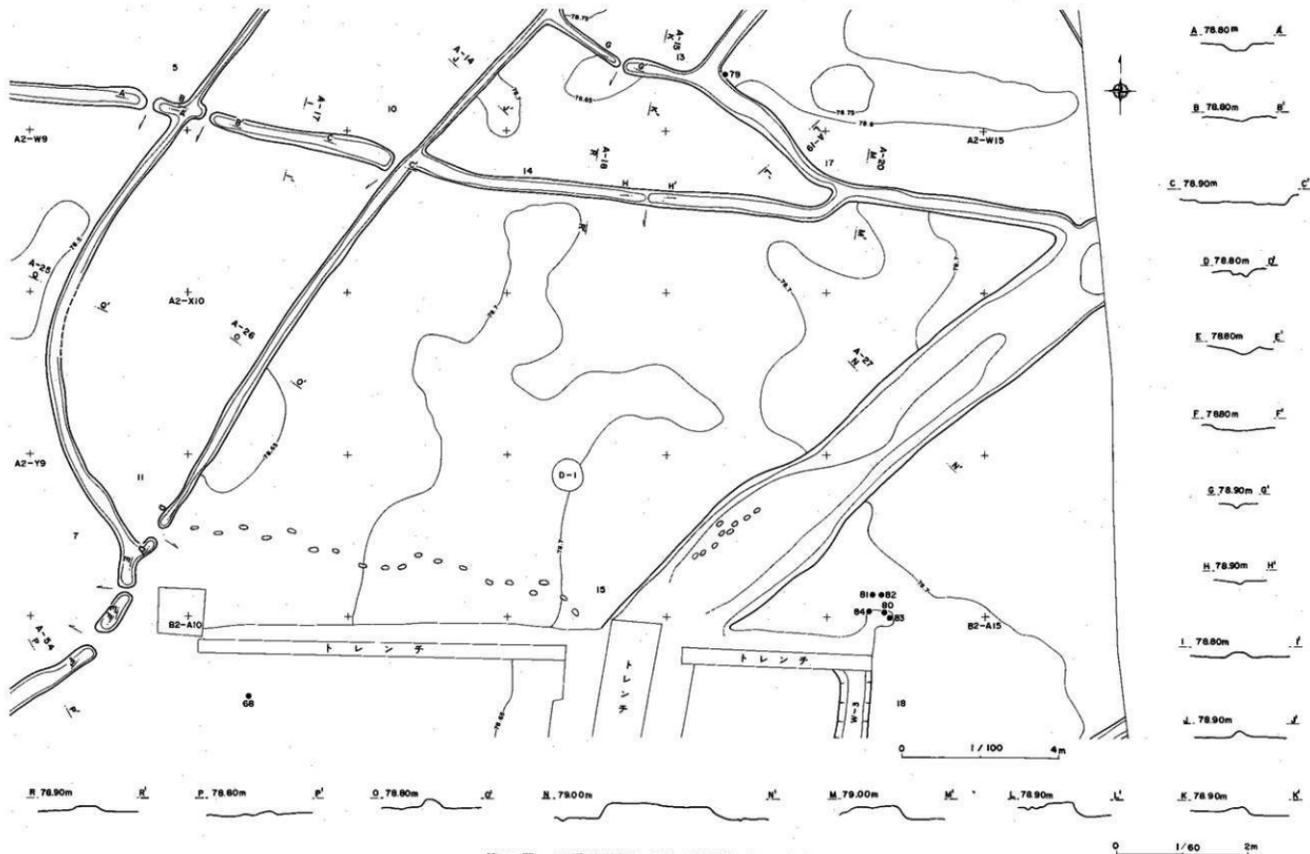
第 14 図 1号住居址・カマド実測図



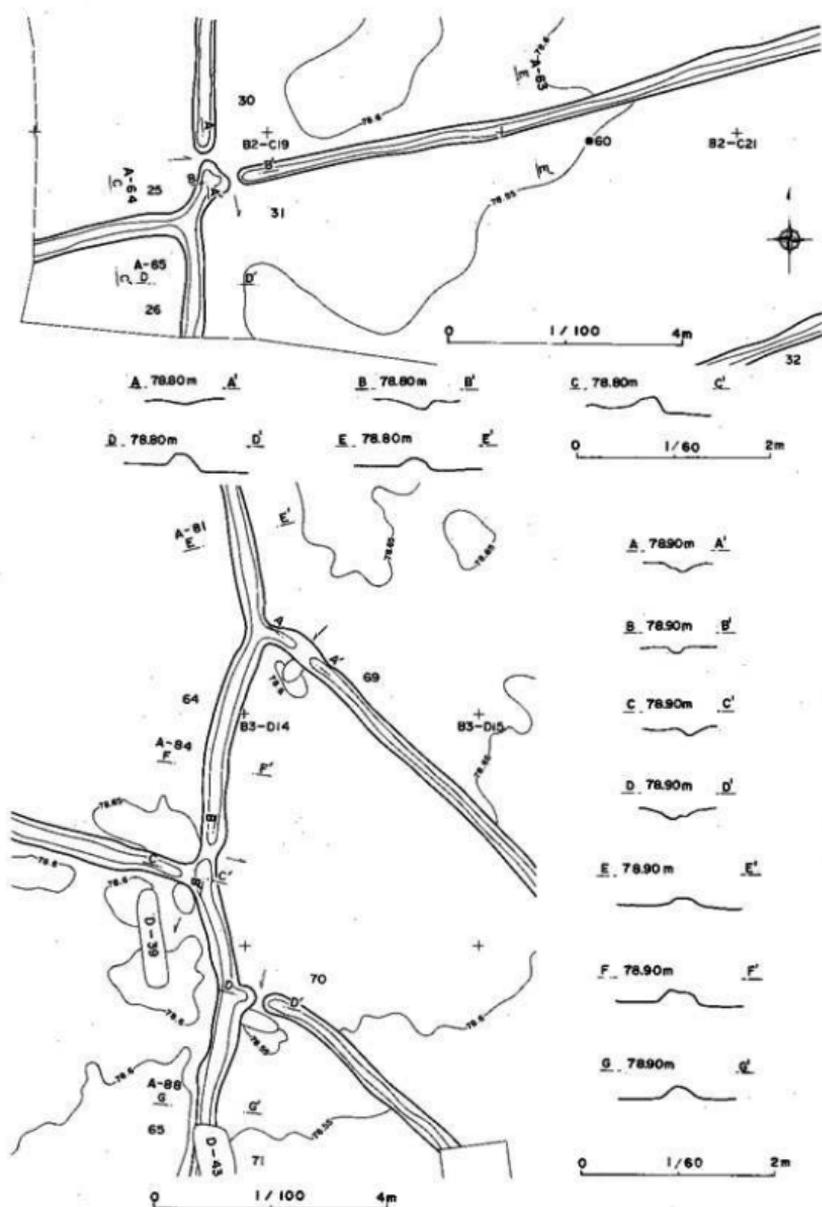
第15図 2号住居址・カマド実測図



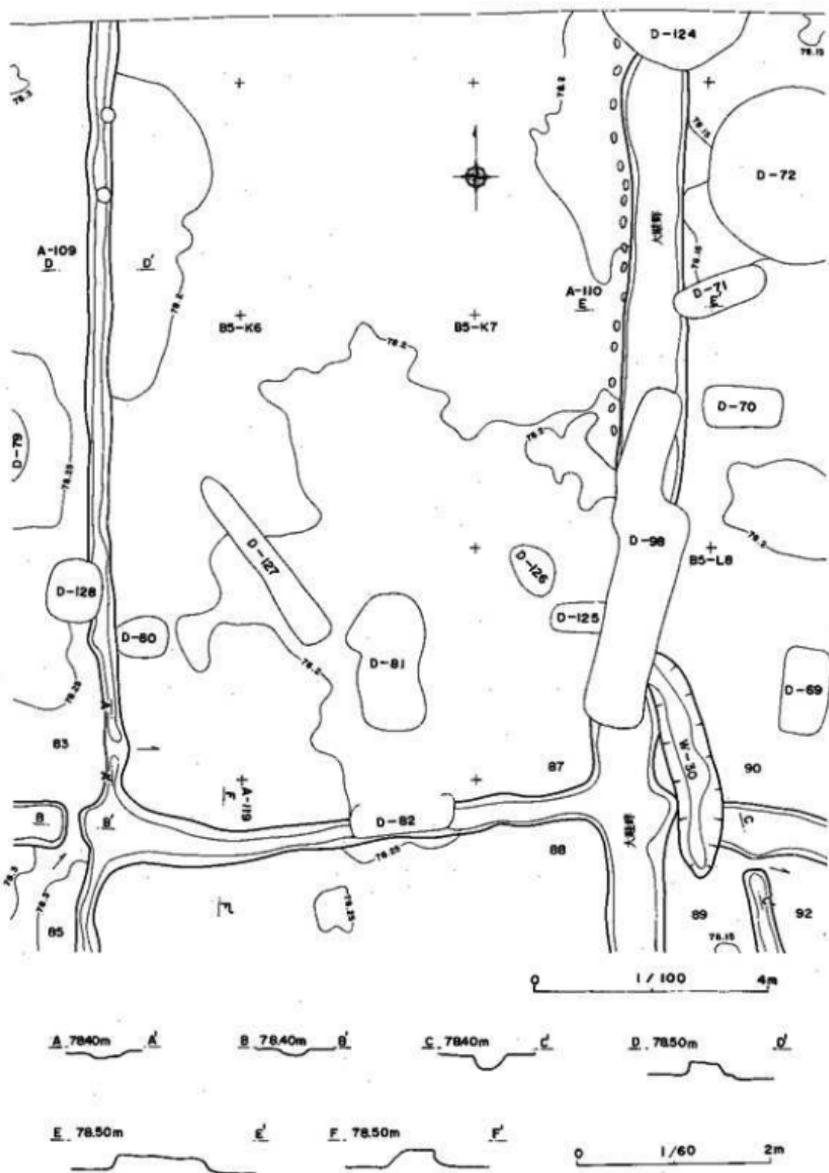
第 16 図 A2 区 6 号水田・畦畔交差部・水口・畦畔実測図



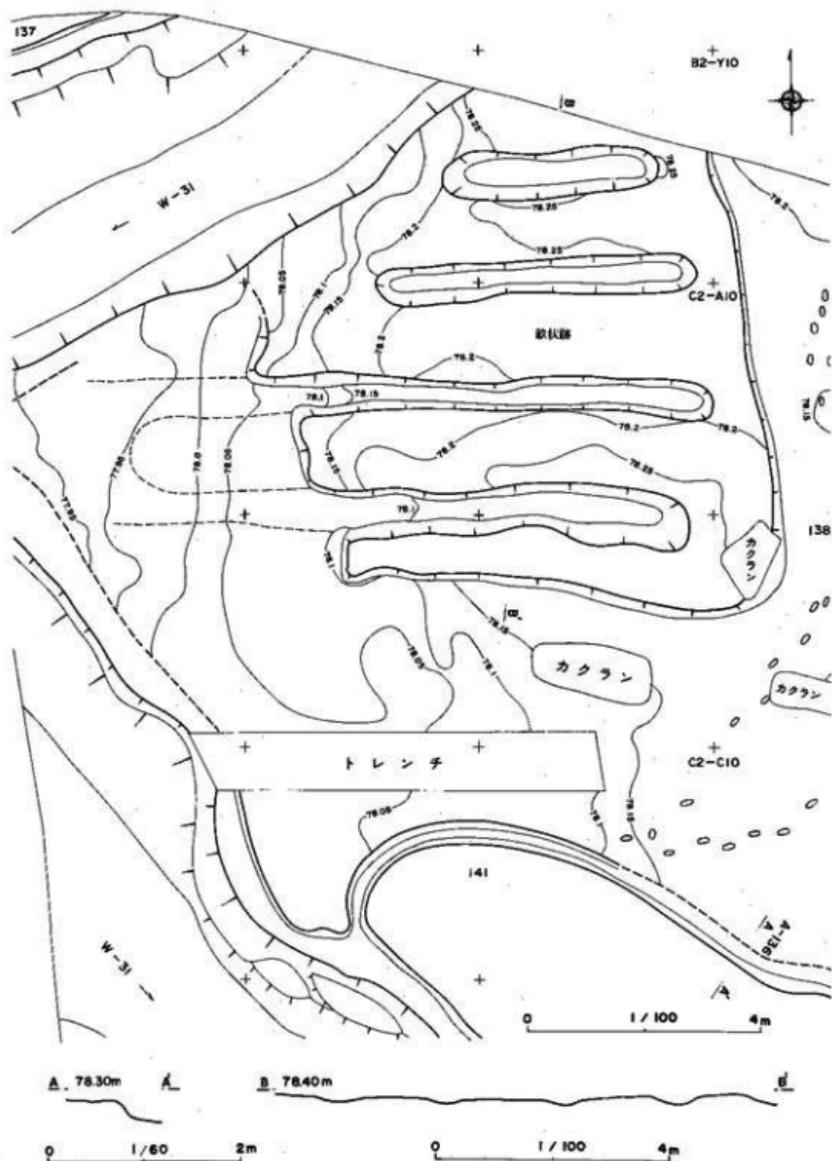
第 17 図 A2区B2区水田・足跡・出土遺物・水口・畦野実測図



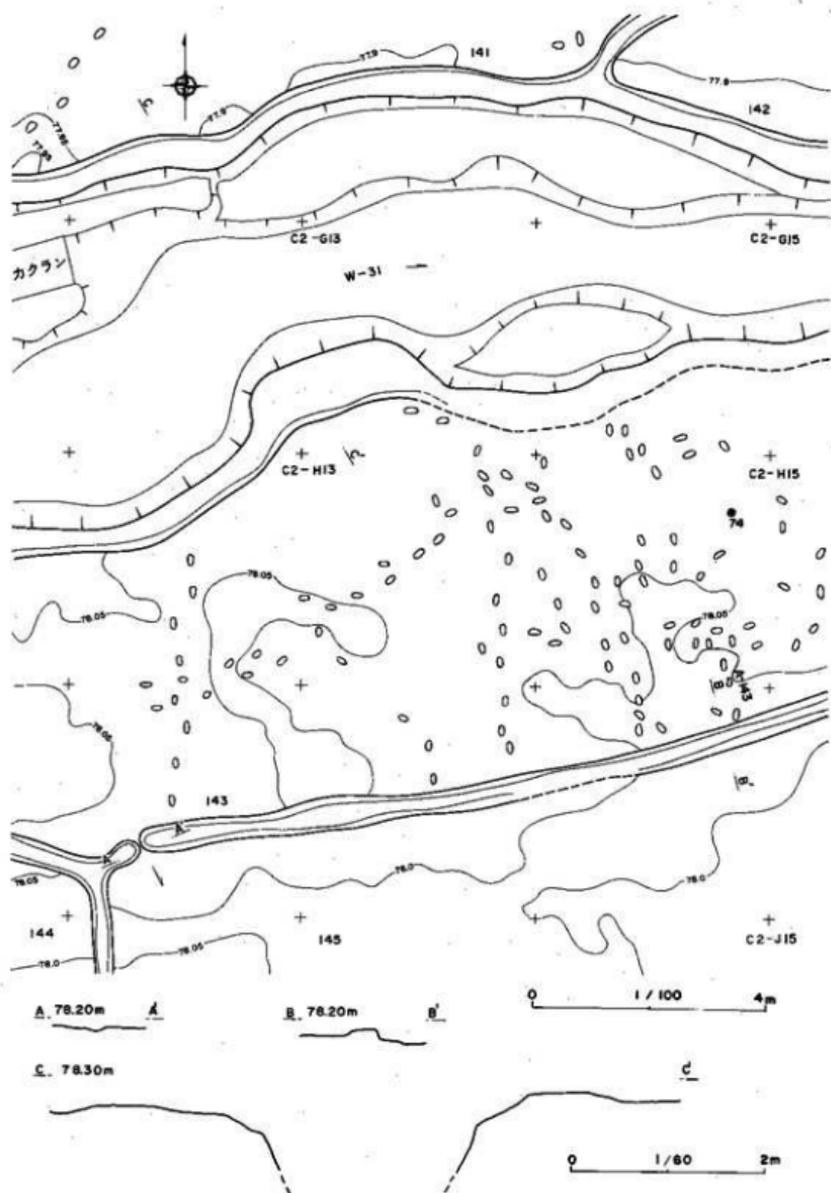
第 19 图 B2・3区出土遺物・畦畔交差部・水口・畦畔・実測図

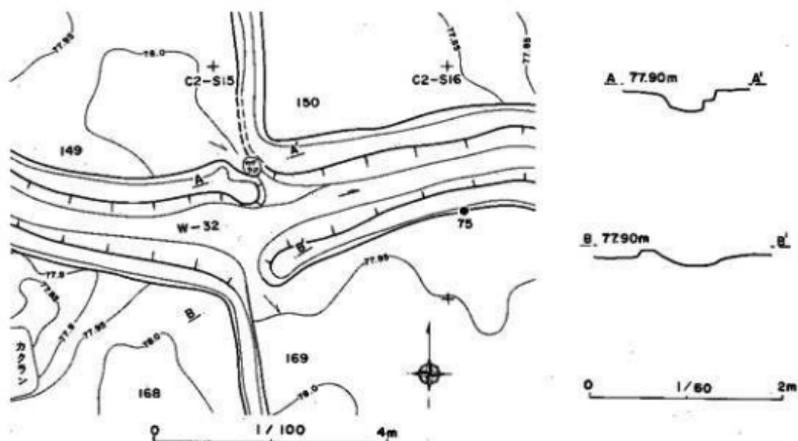


第 20 図 B5区大畦畔・足跡・W-30・水口・畦畔実測図

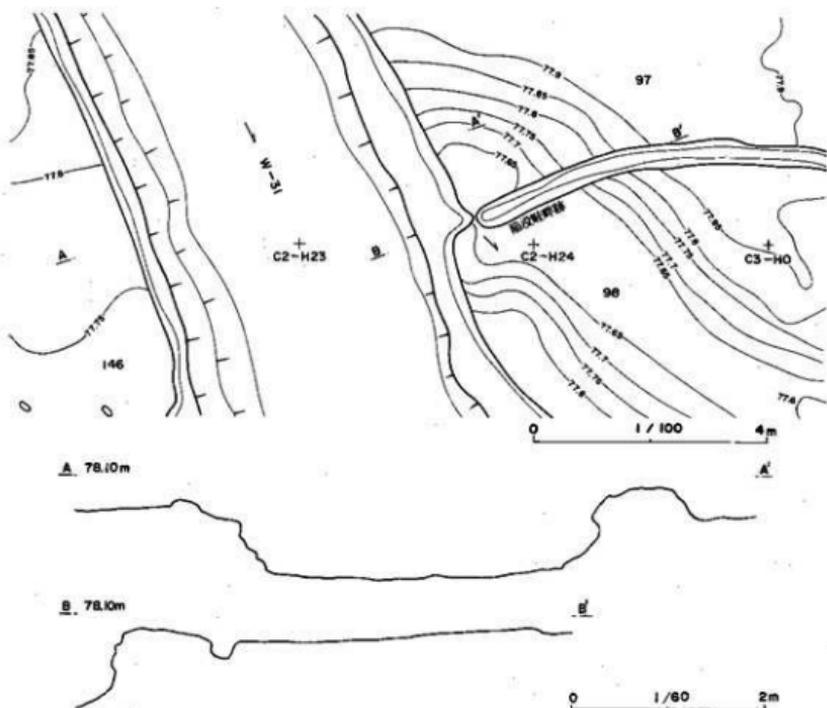


第 21 図 B2・C2 区畝状遺構・足跡・W-31・畦畔実測図

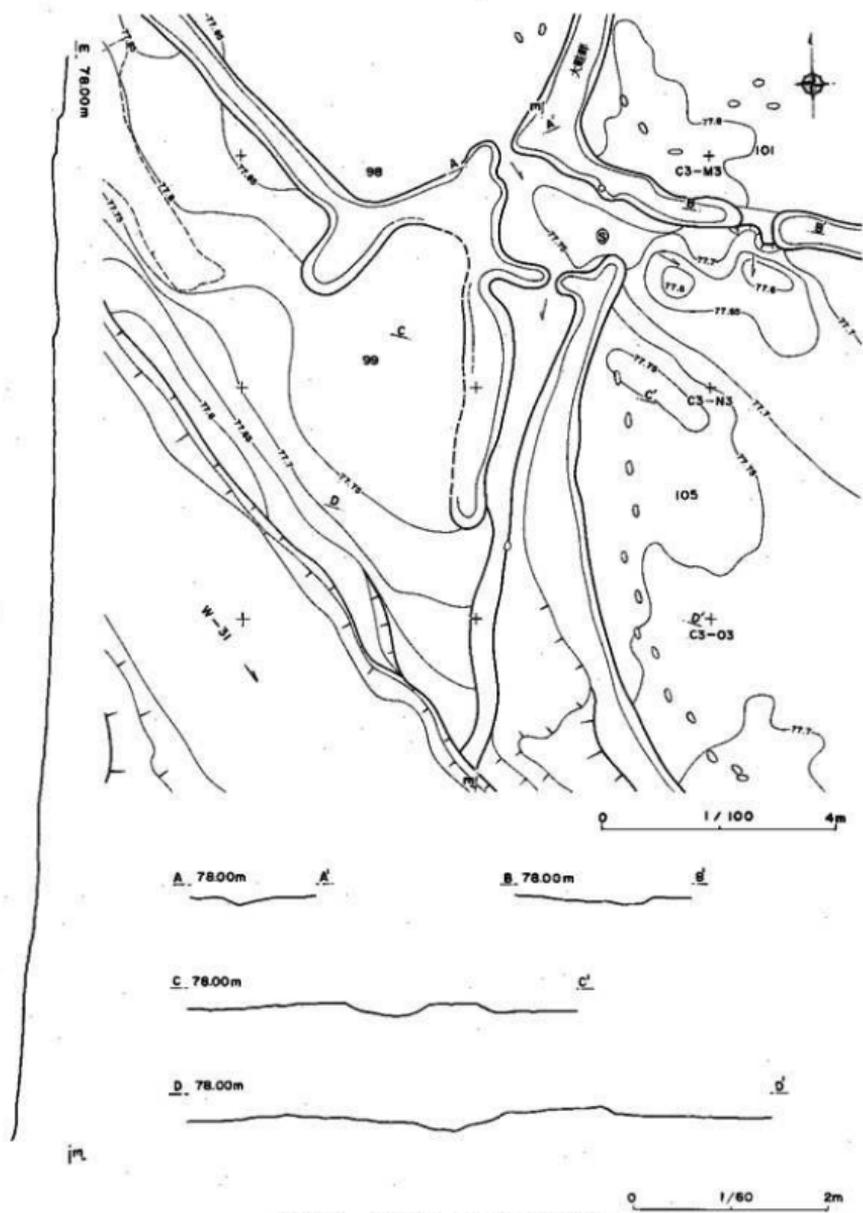




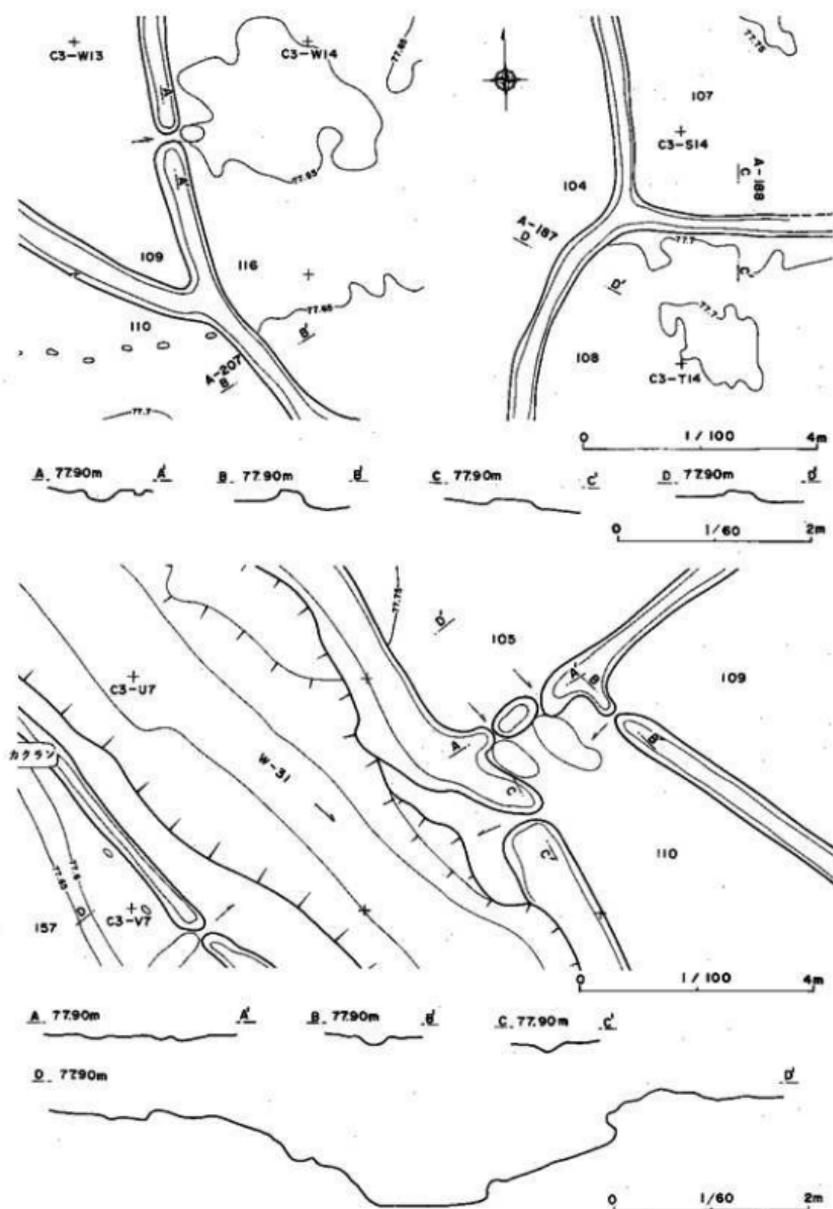
第 24 图 C2区 W-32・169,149号水田取水,排水口・出土遺物実測図



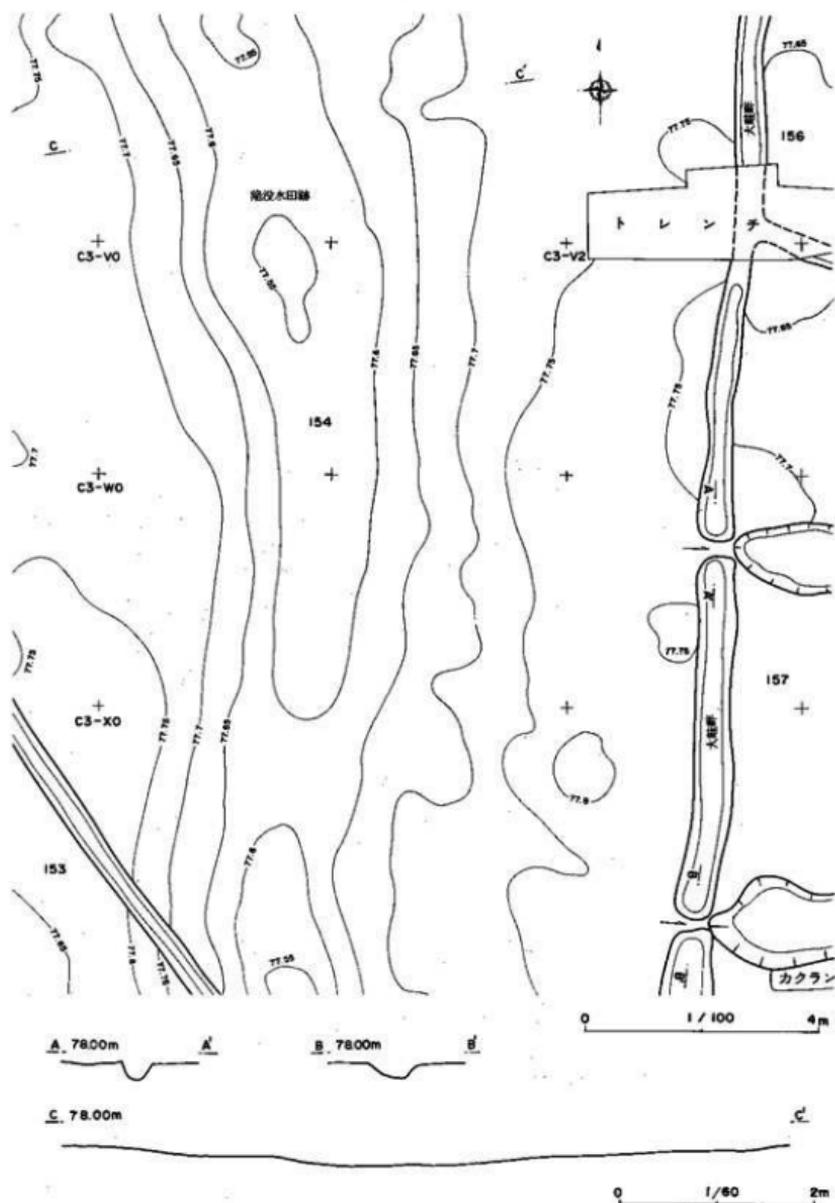
第 25 图 C2区 W-31・陥没畦畔実測図



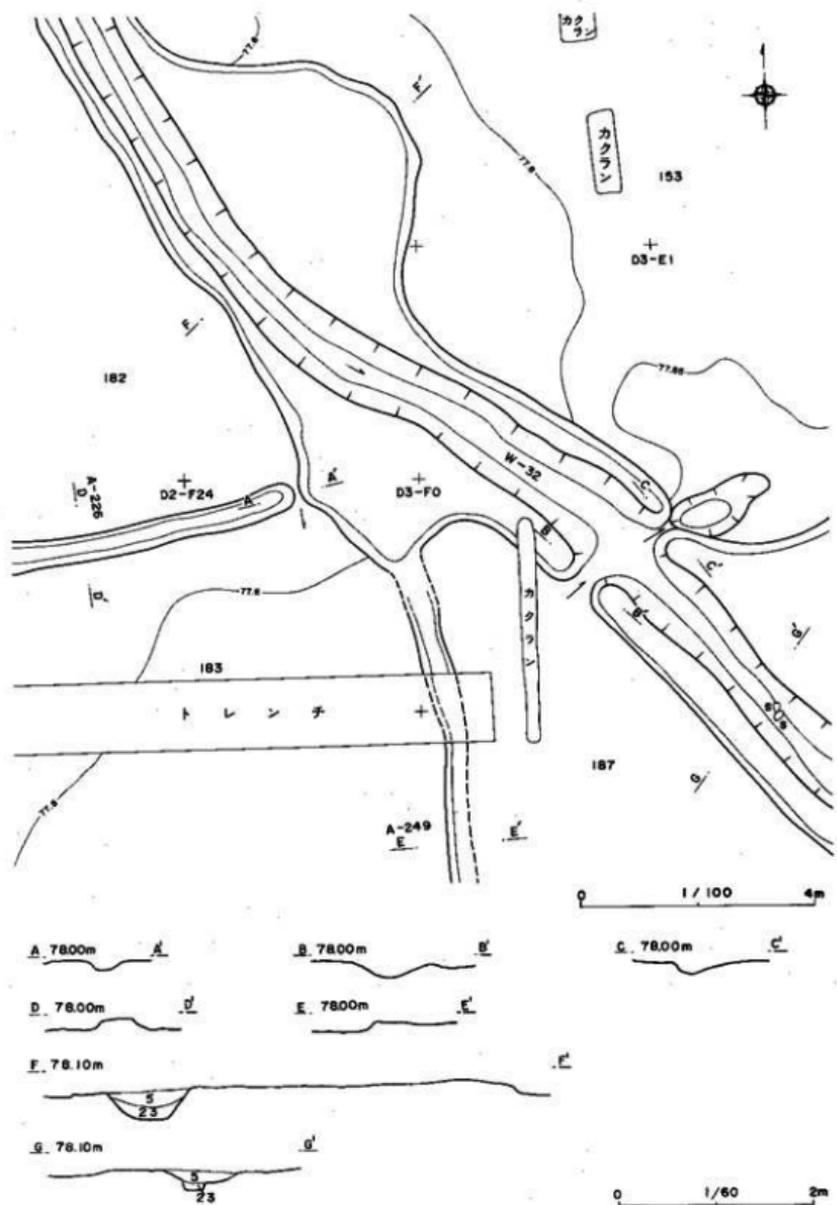
第 26 図 C3区 W-31・排水口実測図



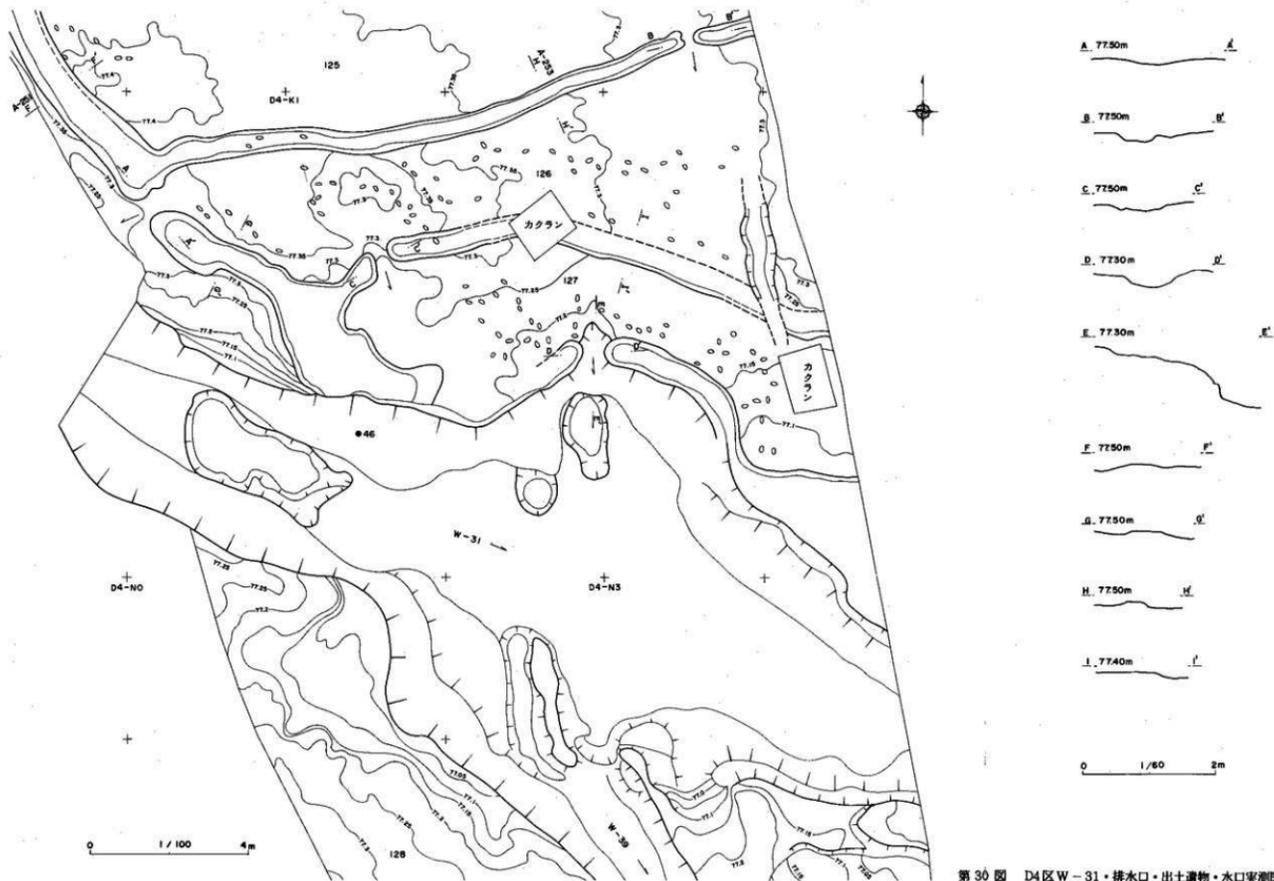
第 27 図 C3区W-31・排水口・畦畔交差部・水口・畦畔実測図



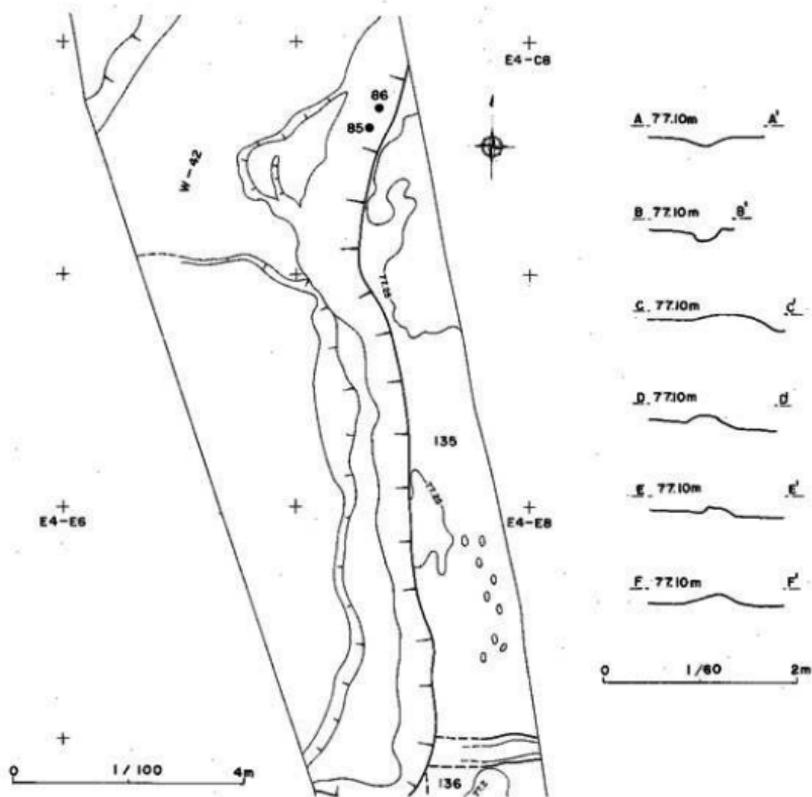
第 28 図 C3区154号陥没水田・大畦畔・水口実測図



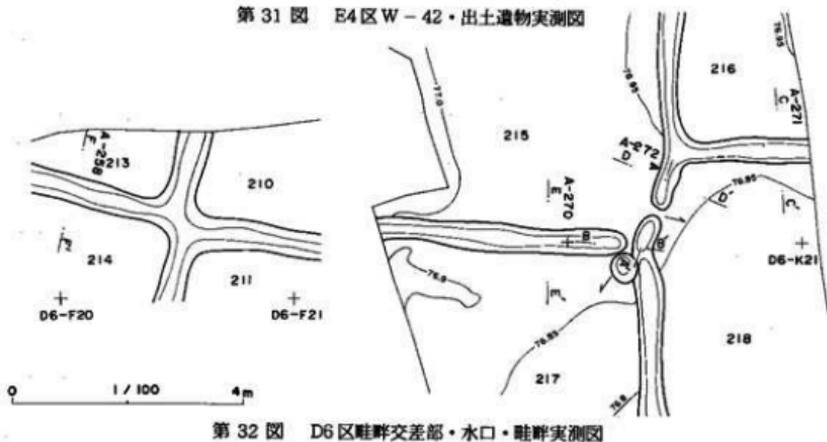
第 29 図 D2・3区 W-32・153,187 号水田取水排水口・畦畔・水口実測図



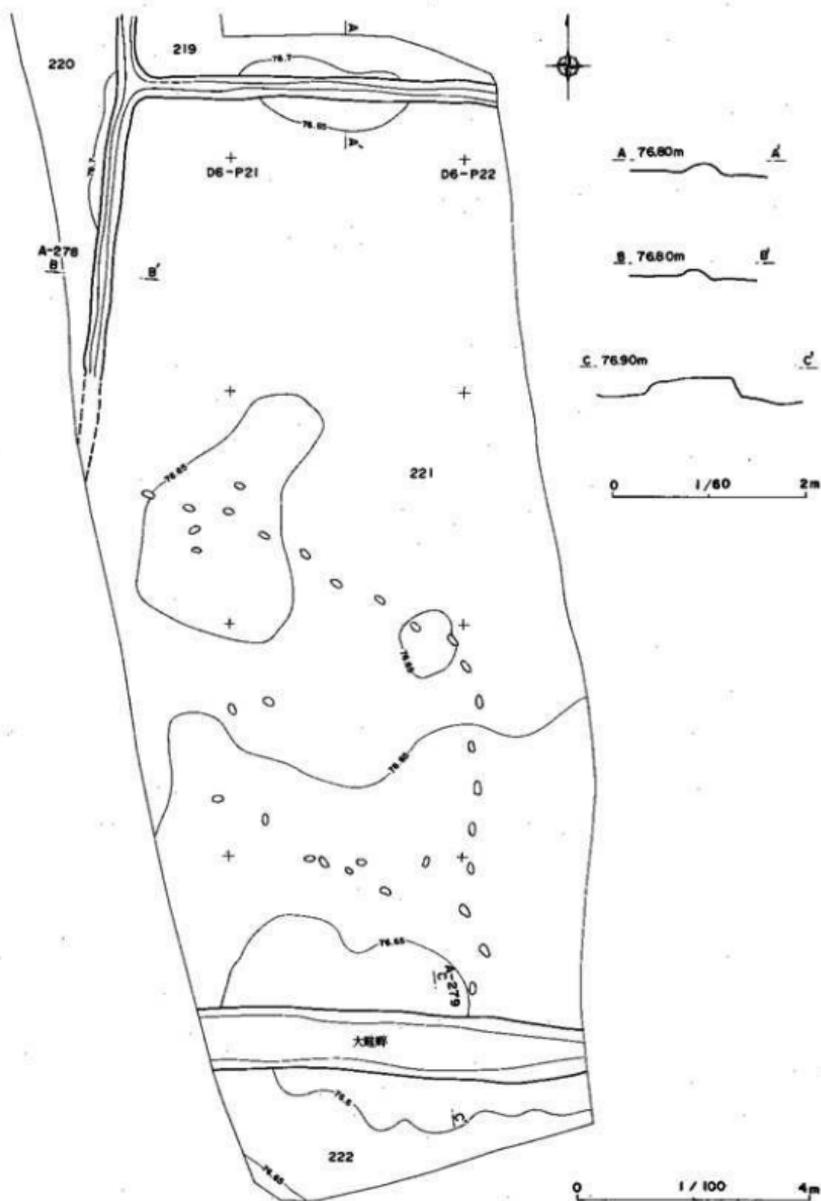
第30図 D4区W-31・排水口・出土遺物・水口実測図



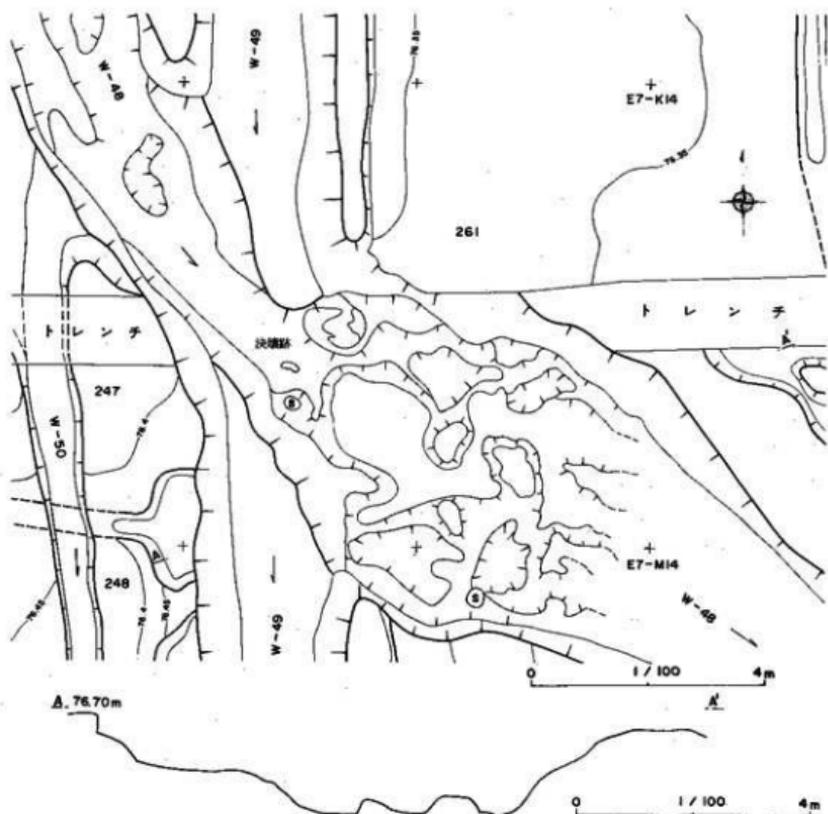
第 31 图 E4区 W-42・出土遺物実測図



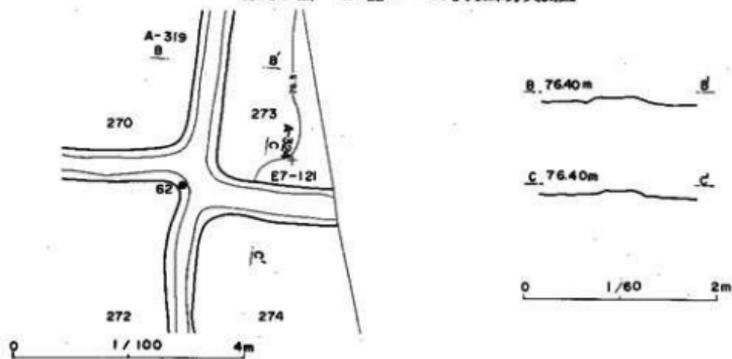
第 32 图 D6区畦畔交差部・水口・畦畔実測図



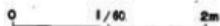
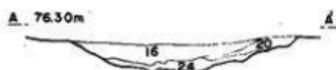
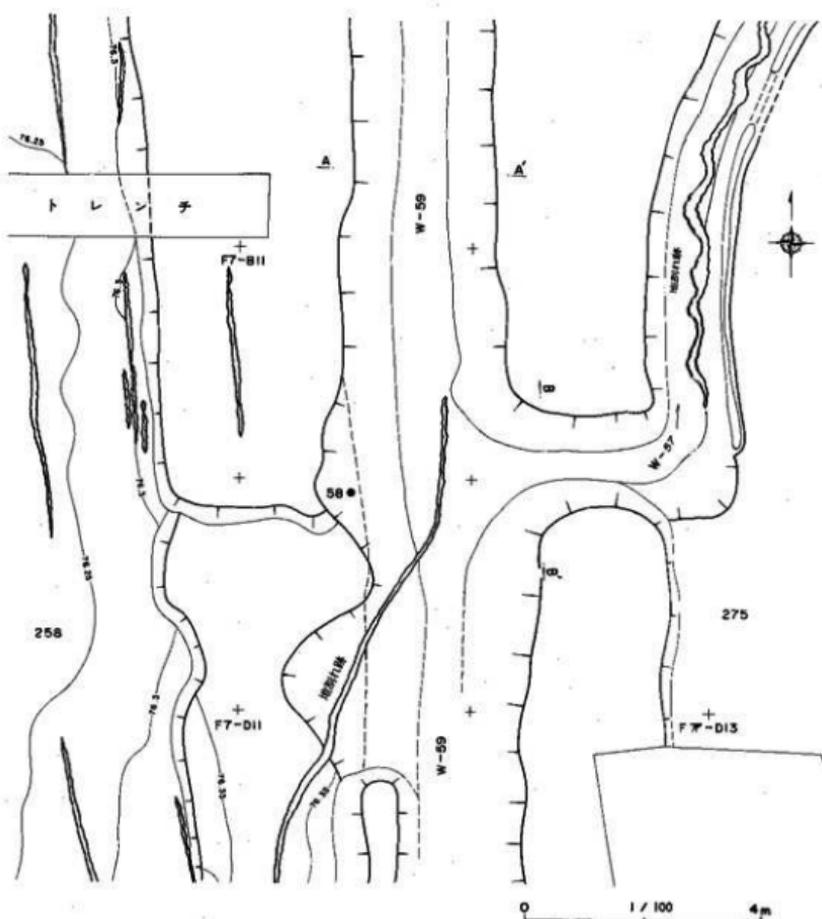
第 33 図 D6区大庭野・足跡・畦畔実測図



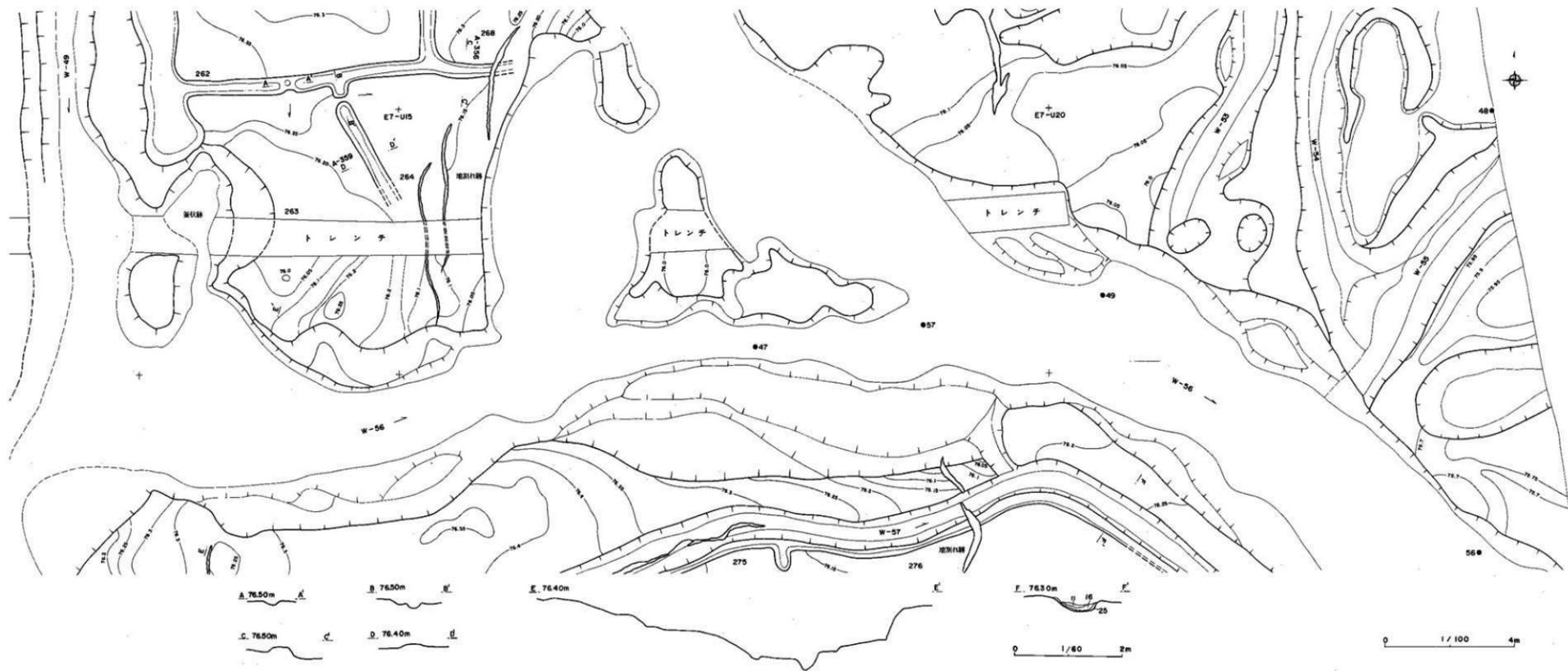
第 34 図 E7 区 W-49 決壊部分実測図



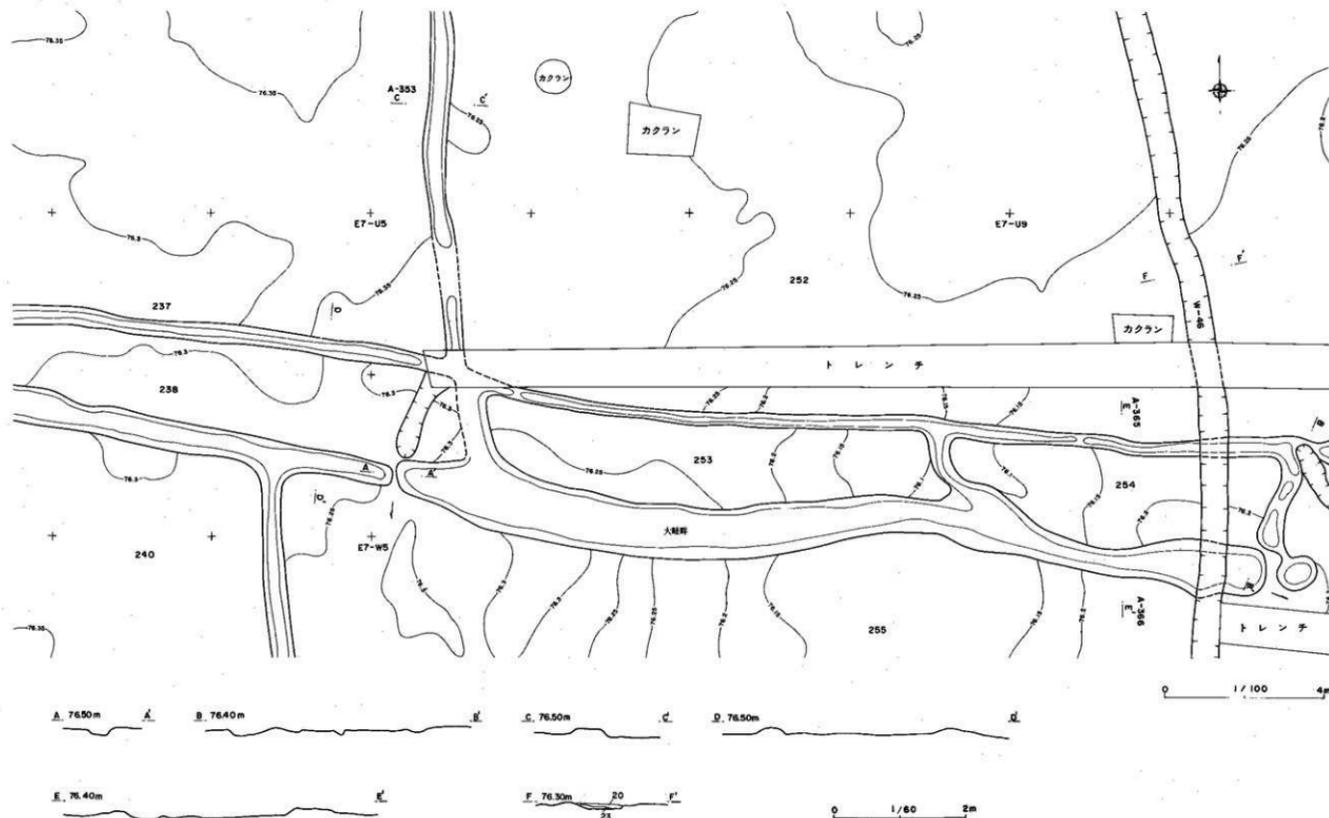
第 35 図 E7 区駐畔交差部・出土遺物・駐畔実測図



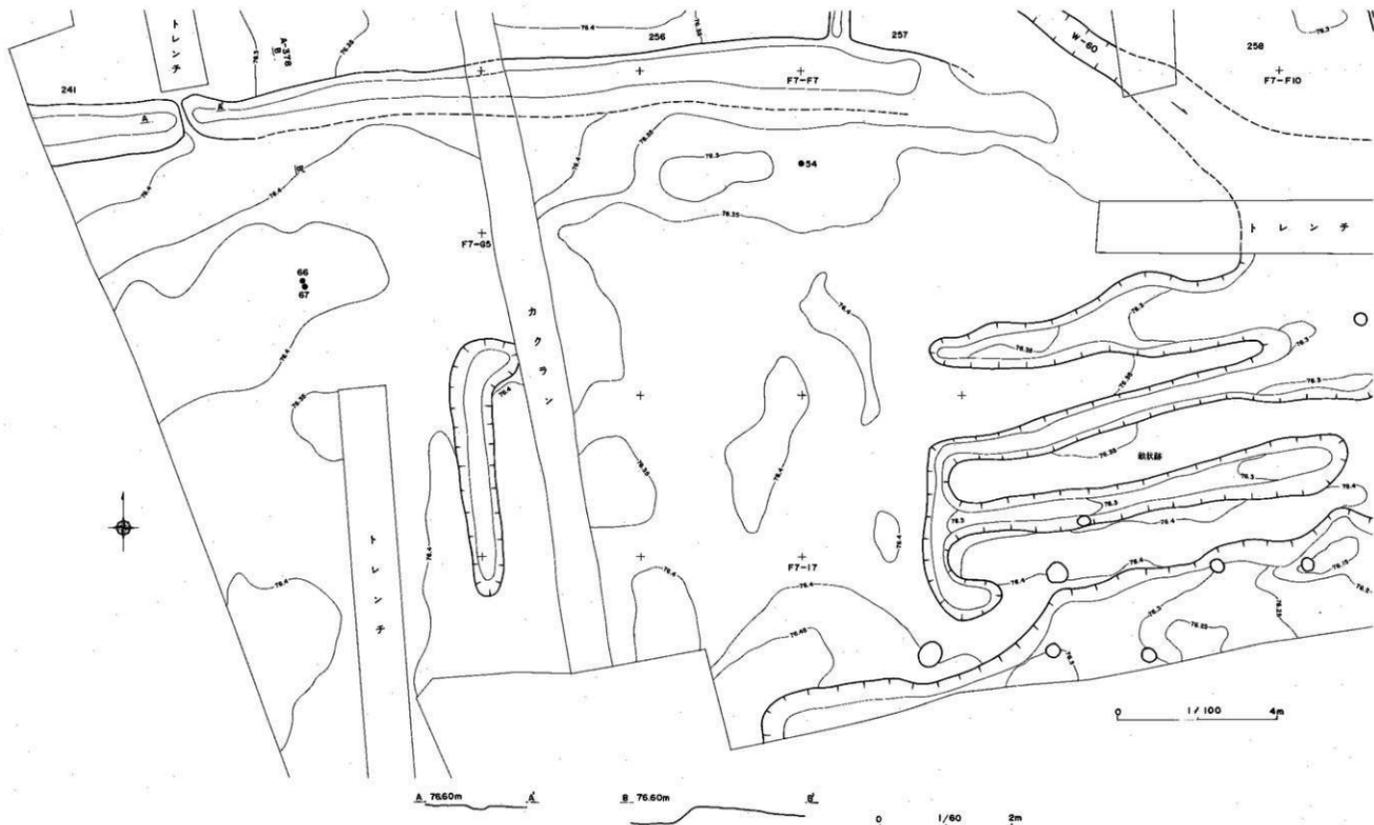
第 36 図 F7区 W-57 取水部分・W-59・地割れ・出土遺物実測図



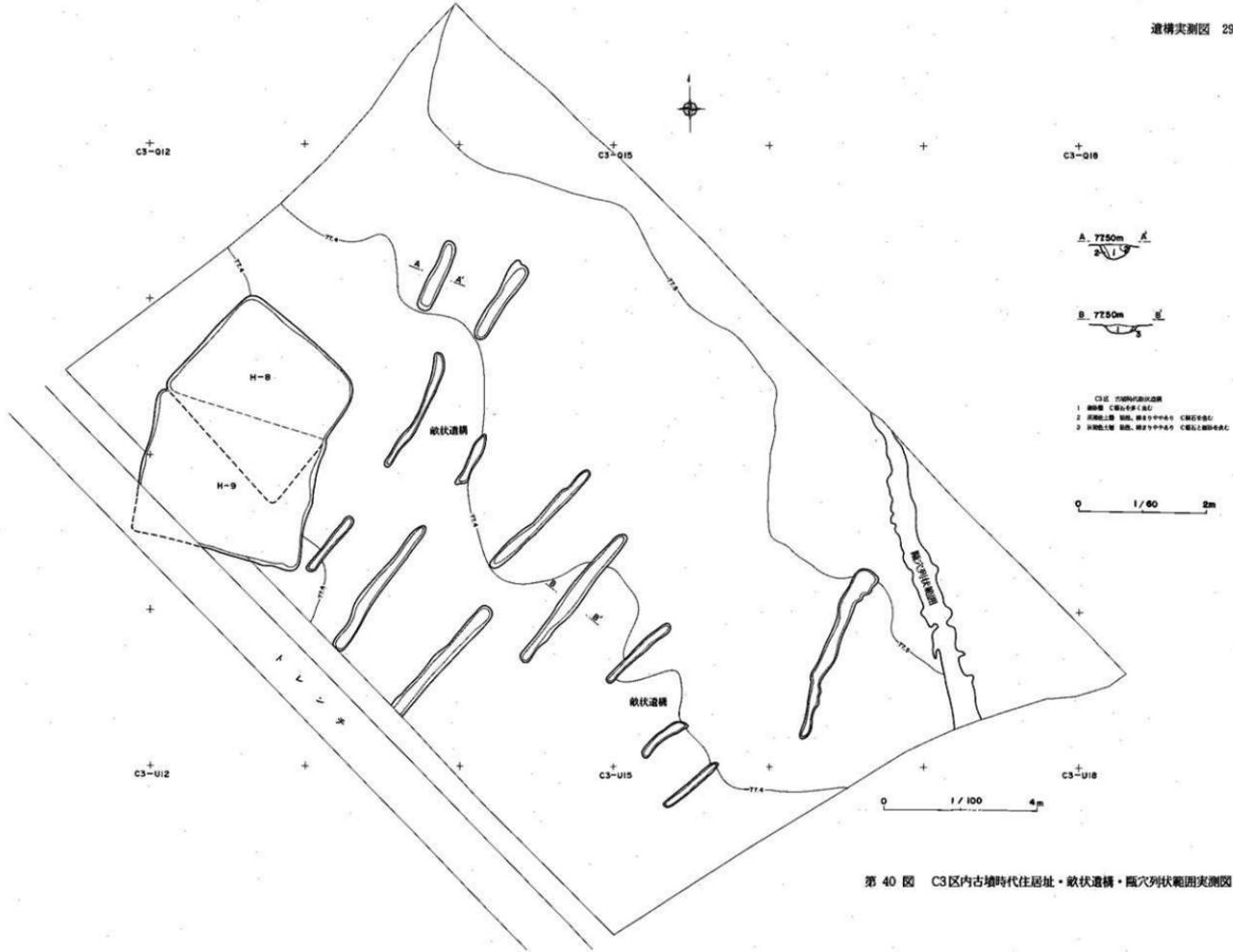
第 37 図 E7区 W-56・57・出土遺物・地割れ・水口・畦畔・釜状遺構実測図



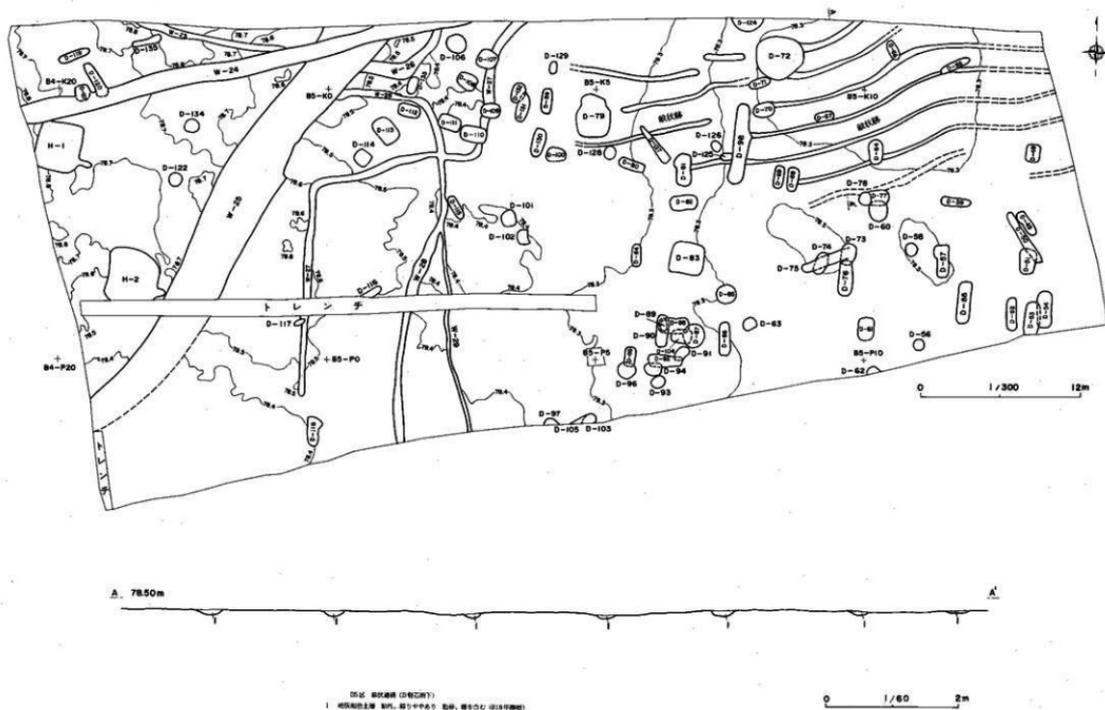
第 38 図 E7 区大船堀・小区画水田・W-46・水口・畦畔実測図



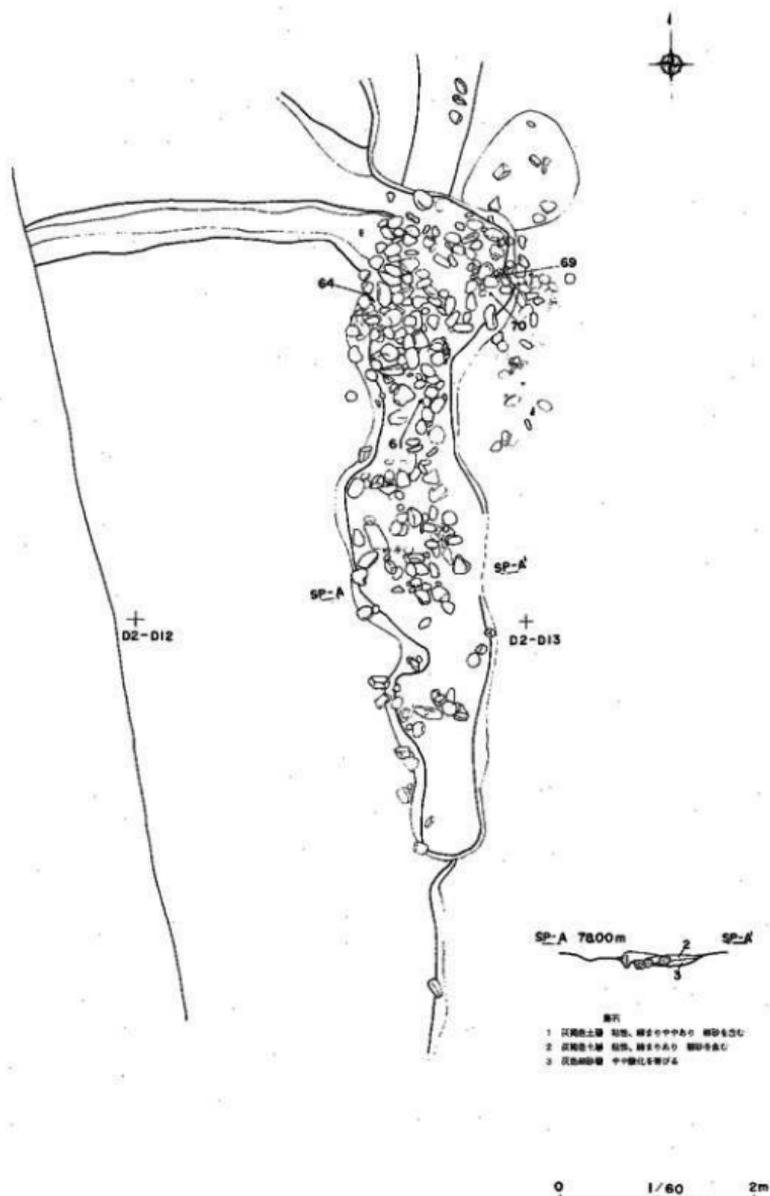
第39図 F7区畝状遺構・出土遺物 水口・畦畔実測図



第 40 図 C3区内古埴時代住居・散状遺構・甕穴列状範囲実測図

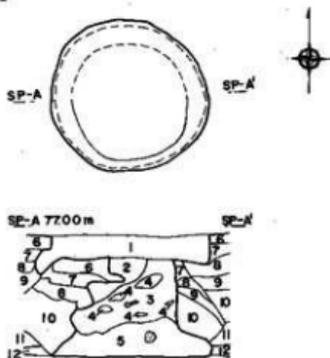


第 41 図 B4・B5区住居址・畝状遺構・土坑・水路・溝全体図



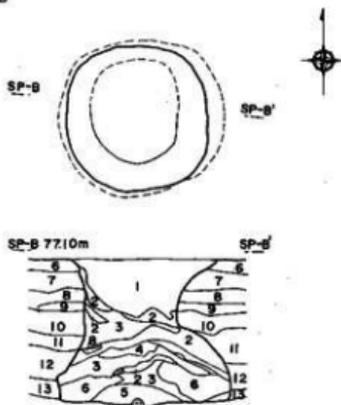
第 42 図 集石遺構実測図

I-1



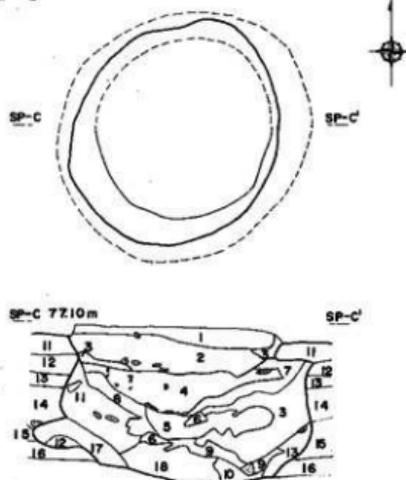
- I-1
- 1 灰褐色土層 粘粒、締まりなく 細砂・小礫を含有
 - 2 褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂を含有
 - 3 褐色土層 粘粒、締まりあり 細砂を含有、小礫をわずかに含む
 - 4 灰褐色土層 粘粒、締まりあり 細砂を含有、小礫・Cをわずかに含む
 - 5 灰褐色土層 粘粒、締まりあり 細砂を含有、小礫・Cをわずかに含む
 - 6 灰褐色粘質土層
 - 7 灰褐色粘質土層 灰・砂・Cを含有
 - 8 灰褐色粘質土層 灰・砂を多く含む
 - 9 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 10 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 11 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 12 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有

I-2



- I-2
- 1 灰褐色土層 粘粒、締まりなく 細砂・小礫を含有
 - 2 灰褐色土層 粘粒、締まりなく 細砂・小礫を含有
 - 3 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂を含有
 - 4 灰褐色土層 粘粒、締まりあり 細砂を含有、小礫をわずかに含む
 - 5 2層より3層の土層
 - 6 灰褐色粘質土層
 - 7 灰褐色粘質土層 (砂を含有)
 - 8 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 9 灰褐色粘質土層 粘粒、締まりあり 灰・砂を多く含む
 - 10 灰褐色土層 粘粒、締まりあり 細砂を含有
 - 11 灰褐色粘質土層
 - 12 灰褐色粘質土層
 - 13 灰褐色粘質土層

I-3

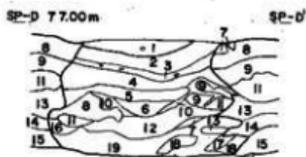
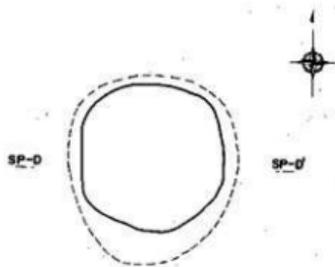


- I-3
- 1 灰褐色土層 粘粒、締まりなく 細砂・小礫を含有
 - (S15) 灰褐色粘質土層を含有
 - 2 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂・小礫を含有
 - 3 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂を含有
 - 4 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂を含有 (1-5cm) 粘粒を含有
 - 5 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂・小礫を含有
 - 6 灰褐色粘質土層
 - 7 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂・小礫を含有
 - 8 灰褐色土層 粘粒、締まりややあり 細砂・小礫を含有
 - 9 灰褐色粘質土層 2層より3層の土層 (S15) 灰褐色粘質土層
 - 10 灰褐色粘質土層
 - 11 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 12 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 13 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 14 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 15 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 16 灰褐色粘質土層 灰・砂を含有
 - 17 2層と3層の土層
 - 18 2層、3層、4層の土層

0 1/60 2m

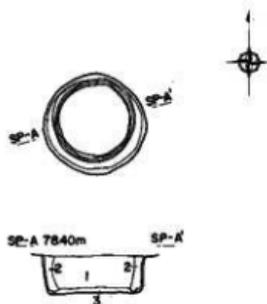
第43図 I-1・2・3 実測図

I-4

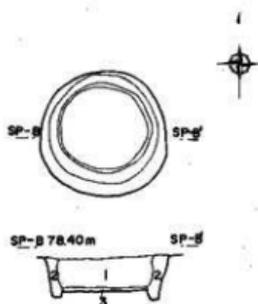


- I-4
- 1 焼土層 粘質、締まりやあり 焼跡と小溝を含む
 - 2 焼土層 粘質、締まりやあり 焼跡と小溝を含む
 - 3 焼土層 粘質、締まりやあり 小溝と土層を含む
 - 4 焼土層 粘質や中あり締まりあり 焼跡と小溝を含む
 - 5 焼土層 粘質や中あり締まりあり 小溝と土層を含む
 - 6 焼土層 粘質、締まりあり 小溝をわずかに含む
 - 7 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 8 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 9 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 10 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 11 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 12 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 13 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 14 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 15 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 16 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 17 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 18 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)
 - 19 灰質粘土層 粘質を多く含む (土層を多く含む)

D-46



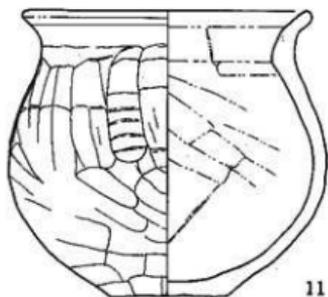
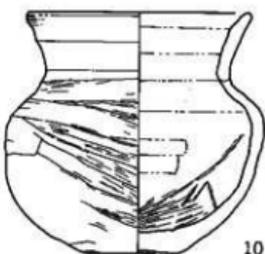
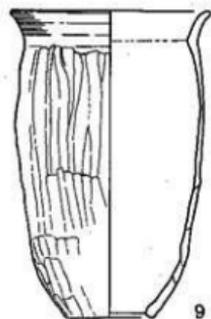
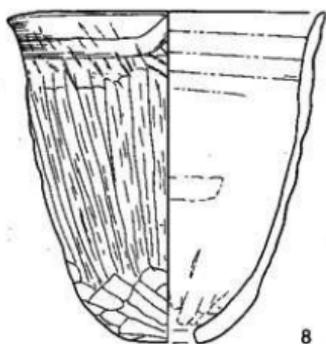
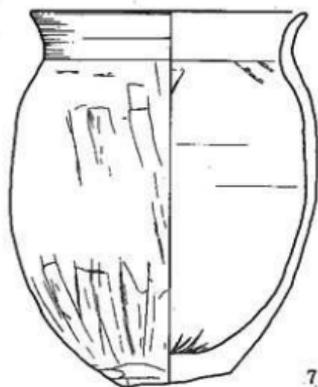
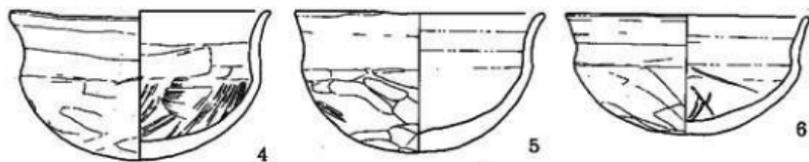
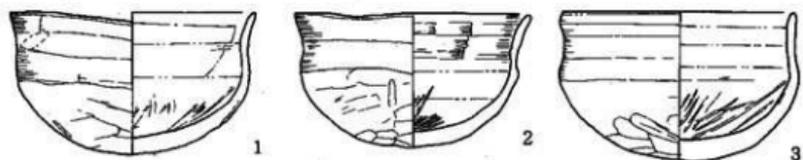
D-47



- D-46, 47 (概十層以上)
- 1 灰質粘土層 粘質、締まりやあり、焼跡・焼石を含む
 - 2 灰質粘土層 粘質、締まりやあり、焼跡、焼石を含む
 - 3 焼土層

0 1/60 2m

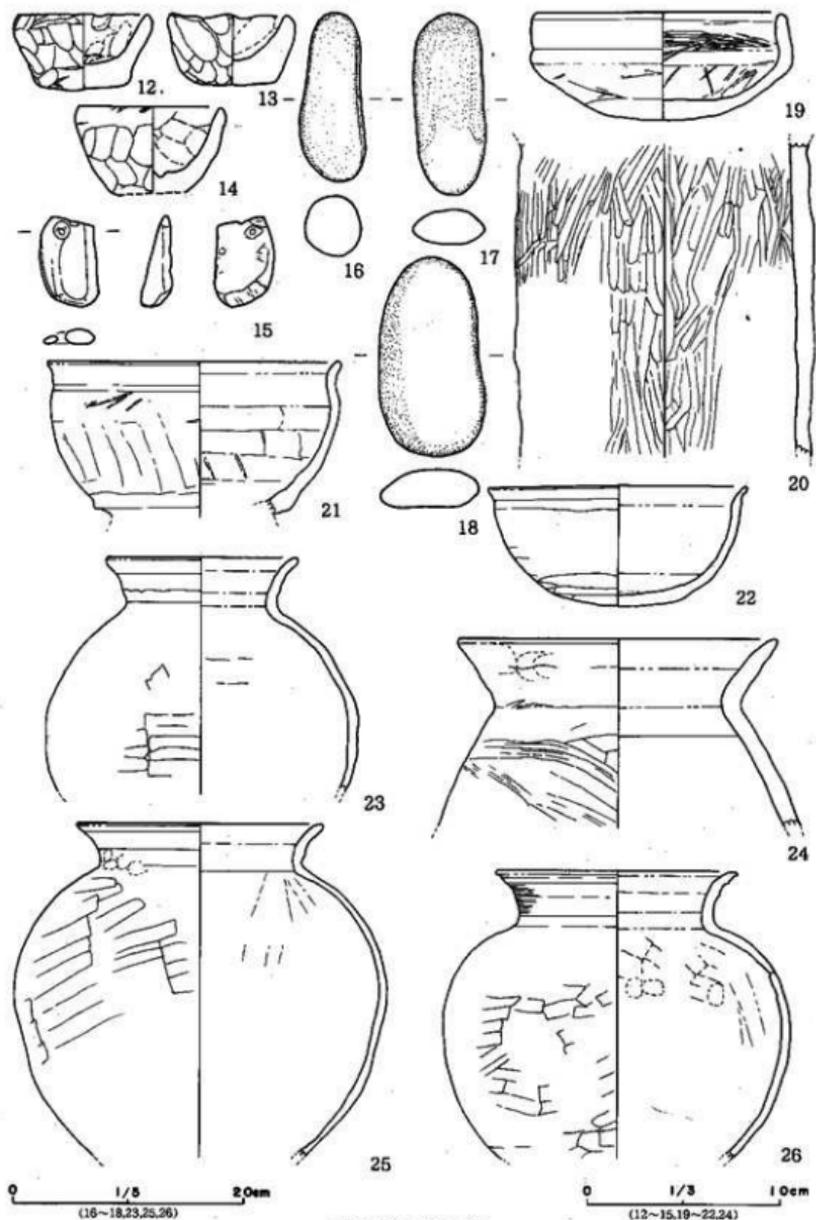
第 44 図 I-4・D-46・47 実測図



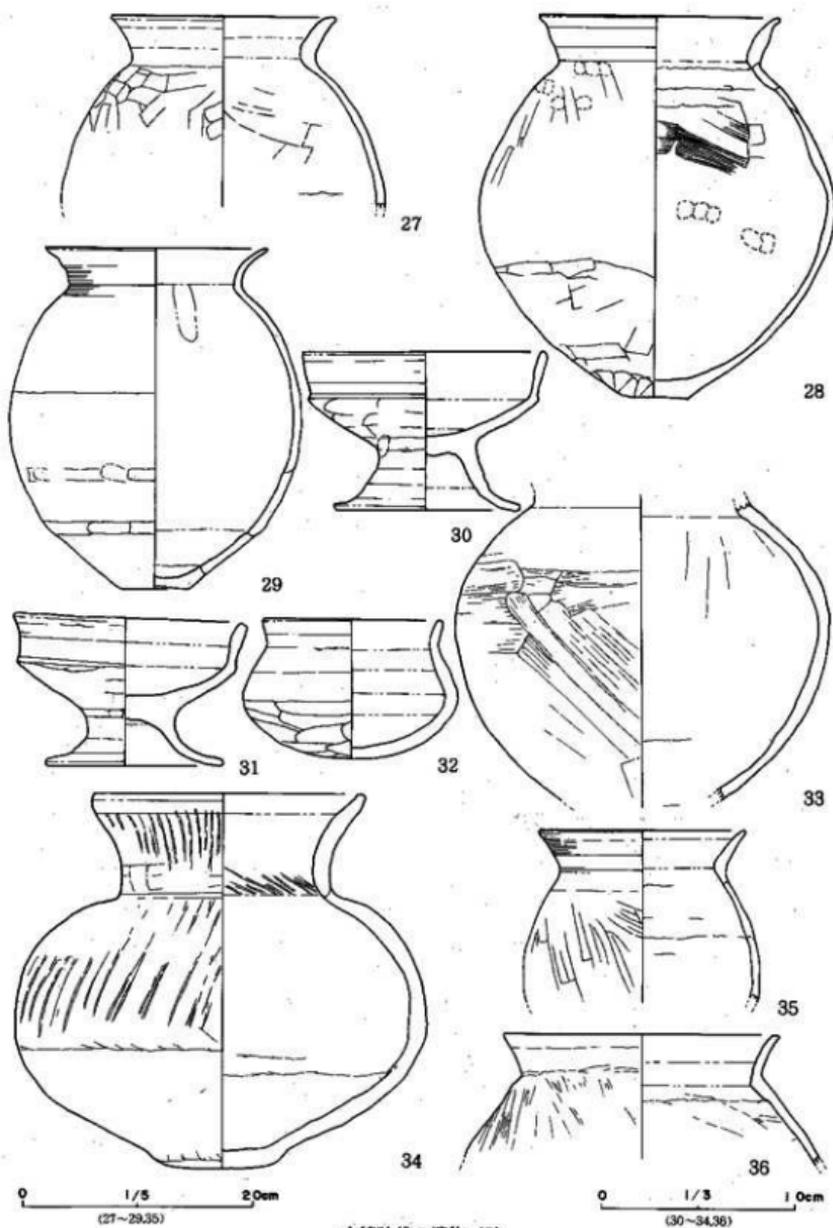
0 1/3 20cm
(9)

0 1/3 10cm
(1~8,10,11)

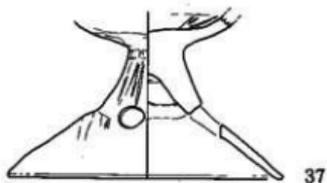
古墳時代の遺物 (1)



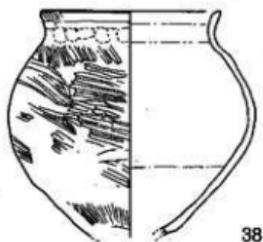
古墳時代の遺物 (2)



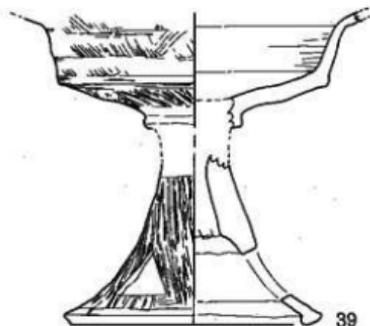
古墳時代の遺物 (3)



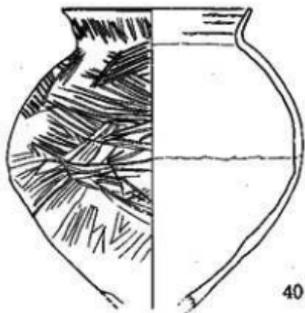
37



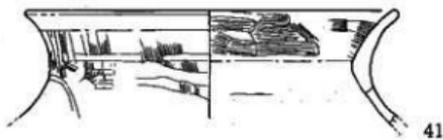
38



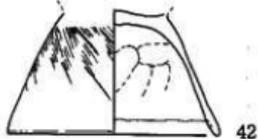
39



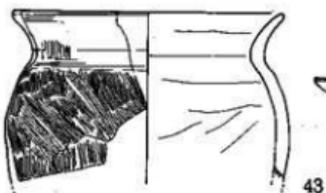
40



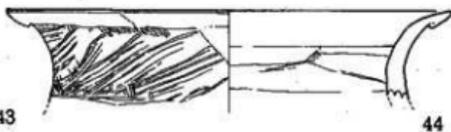
41



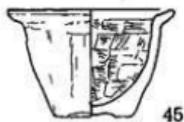
42



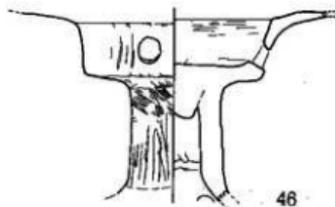
43



44



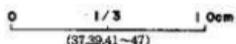
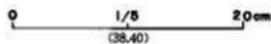
45



46



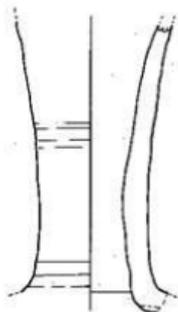
47



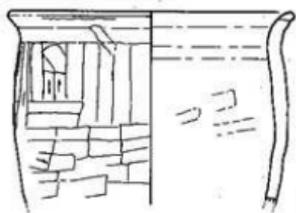
古墳時代の遺物 (4)



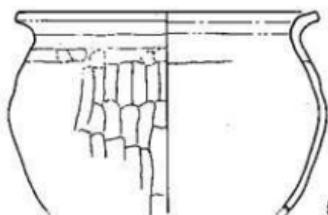
48



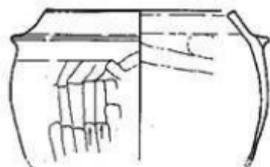
49



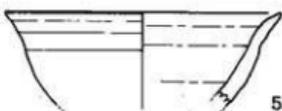
50



51



52



53



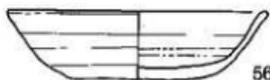
54



55



56



56



57

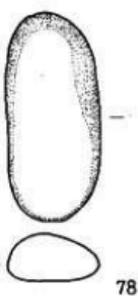
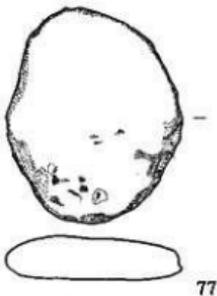
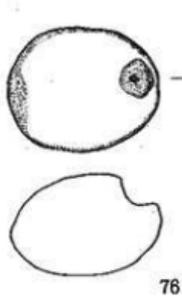
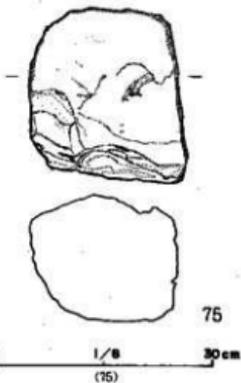
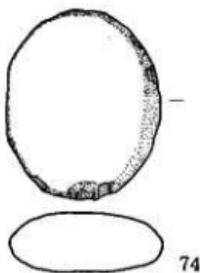
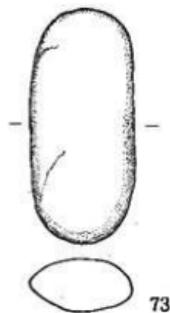
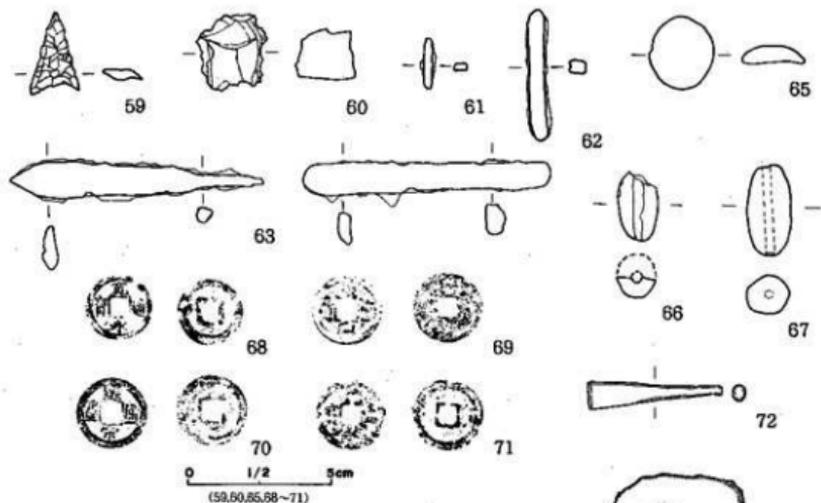


58

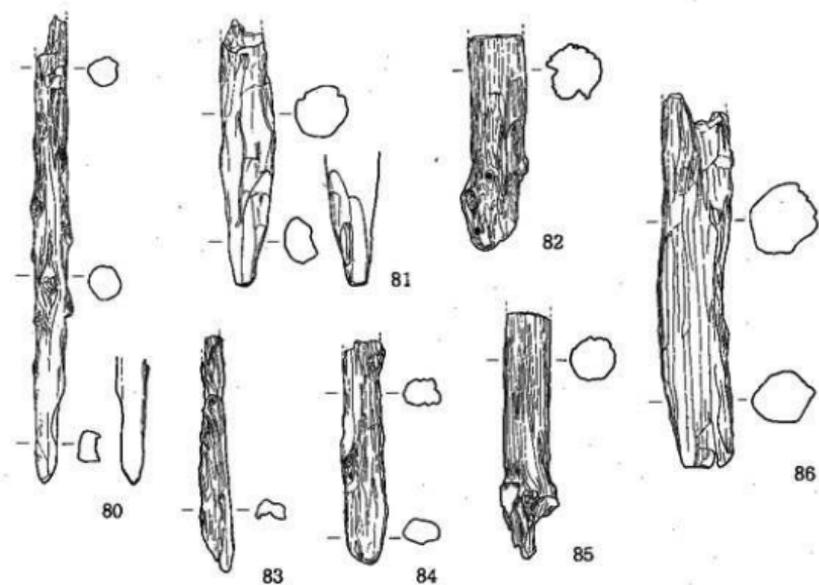
0 1/5 20cm
(48,50~52)

0 1/3 10cm
(49,53~58)

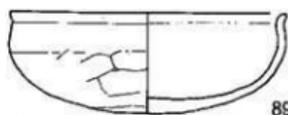
古墳時代(5) 平安時代の遺物



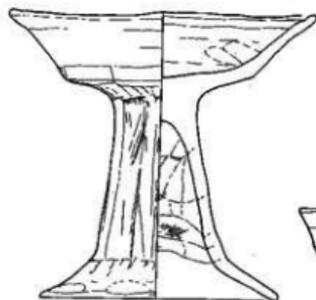
縄文時代～平安時代の石器、鉄製品、その他の遺物



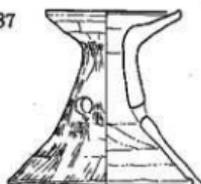
87



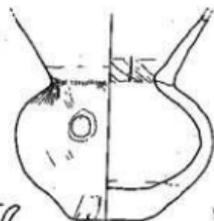
89



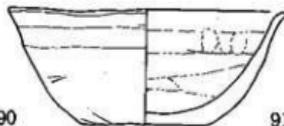
90



88



92

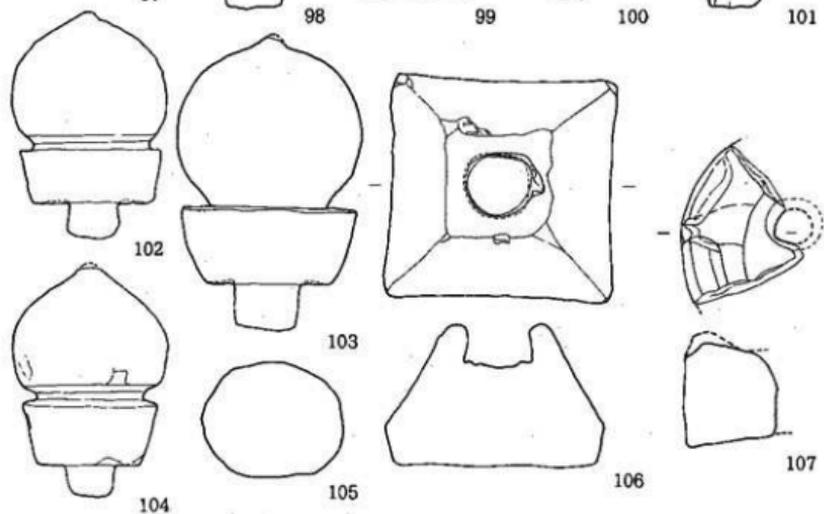
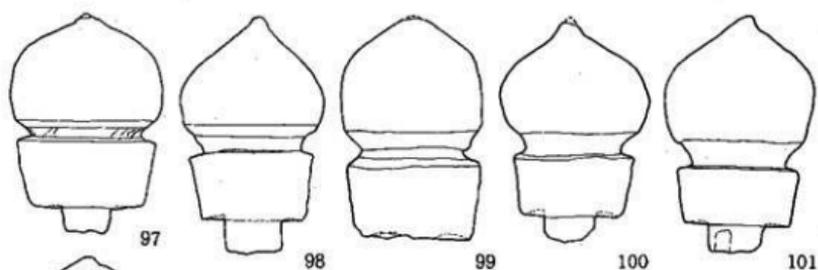
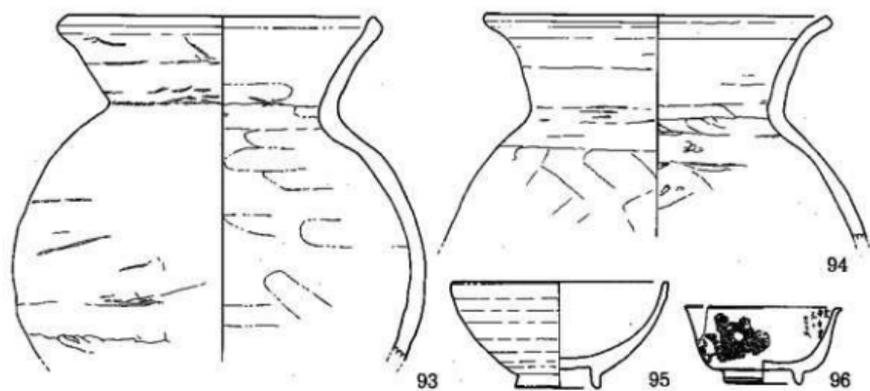


91

0 1/5 20cm
(80~86)

0 1/3 10cm
(87~92)

古墳時代の遺物(試掘), 平安時代の木製遺物



0 1/3 3 Dcm

(97~107)

0 1/3 10cm

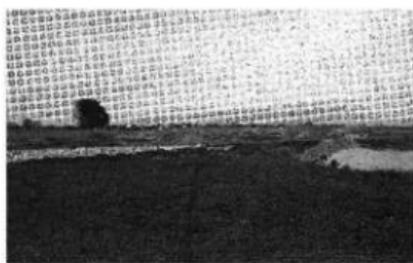
(93~96)

平安時代~近世の遺物 (試掘)

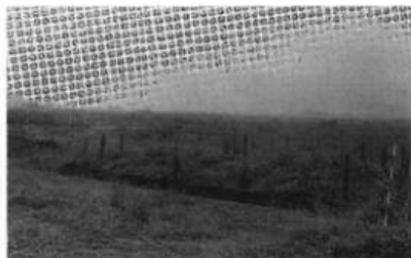
写 真 图 版



A2·3区調査前現況



B3区調査前現況



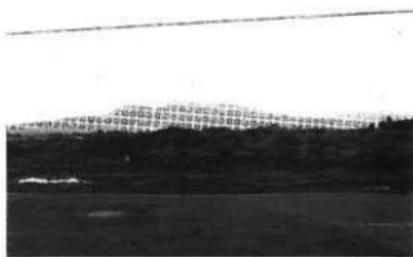
B4区調査前現況



B5区調査前現況



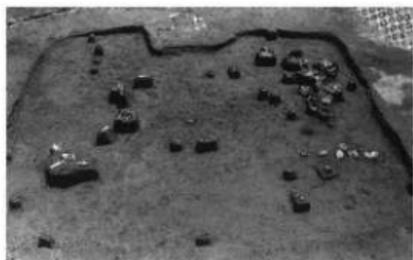
C2·3, D2·3区調査前現況



D7, E7区調査前現況



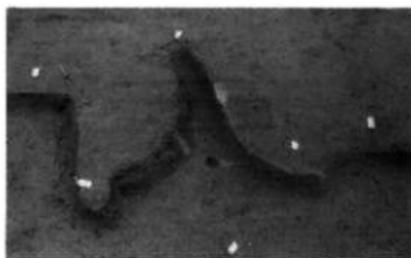
3号住居址



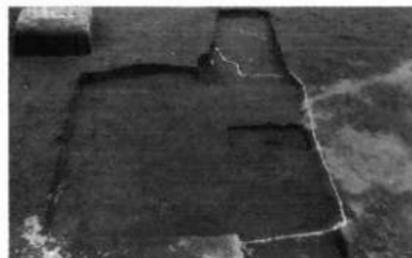
3号住居址遺物出土状況



3号住居址遺物出土状況



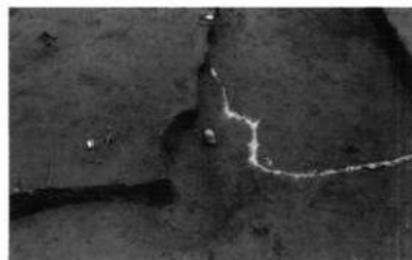
3号住居址カマド



4号住居址



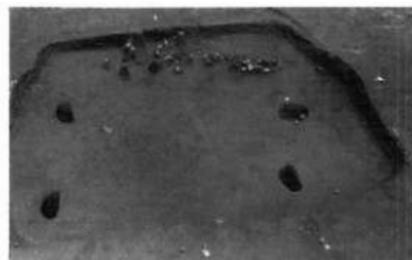
4号住居址遺物出土状況



4号住居址カマド



5号住居址



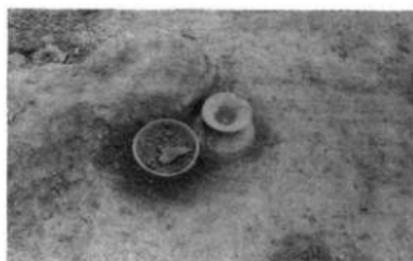
5号住居址遺物出土状況



5号住居址遺物出土状況



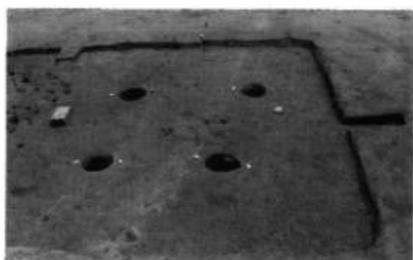
6号住居址



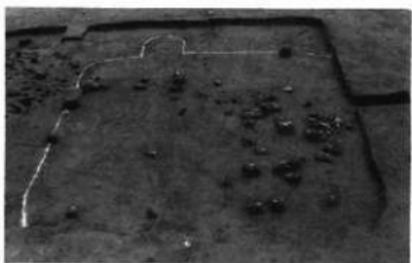
6号住居址遺物出土状況



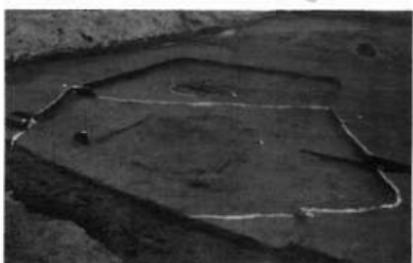
6号住居址カマド



7号住居址



7号住居址遺物出土状況



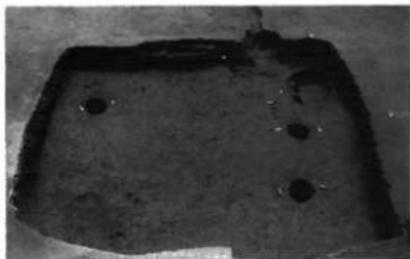
8・9号住居址



8号住居址遺物出土状況



9号住居址遺物出土状況



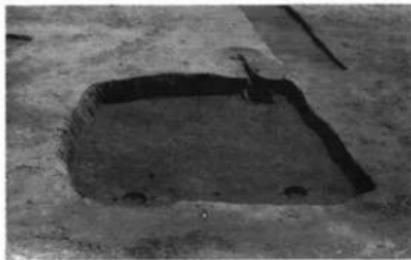
1号住居址



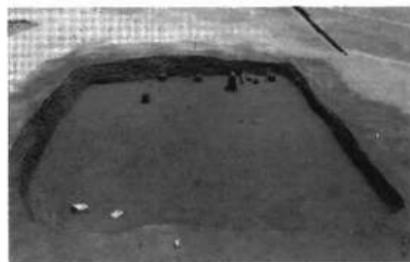
1号住居址遺物出土状況



1号住居址カマド



2号住居址



2号住居址遺物出土状況



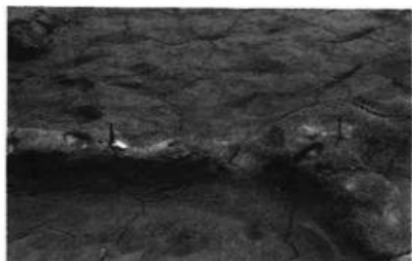
2号住居址カマド



A2, B2区 水田址全景 (北より)



A2, B2区 水田址全景 (東より)



A2区 U6 グリッド内水口



A2区 W12 グリッド内水口



A2区 15号水田内足跡



A2区 Y14 グリッド内木杭



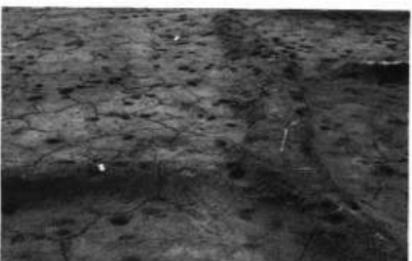
A3区水田址全景 (南より)



A3区水田址全景 (北より)



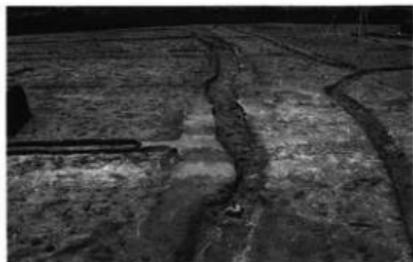
A3区水田址全景 (西より)



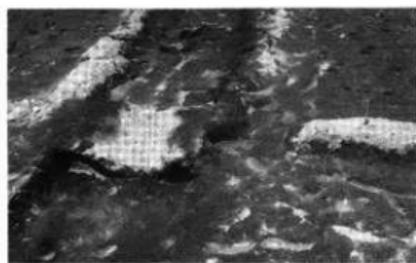
A3区 W8 グリッド内水口



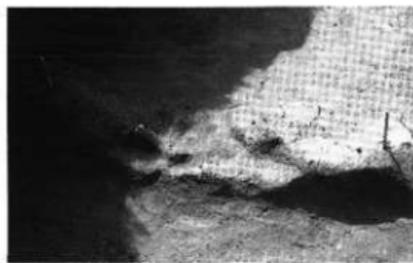
A3区畦畔全景（作業用）



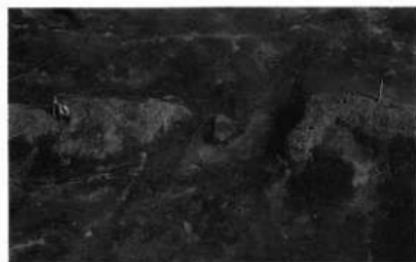
A3区 W-16・18



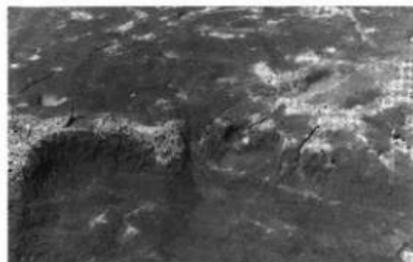
A3区 Y3 グリッド内水口, W-18



B2区 A5 グリッド内水口



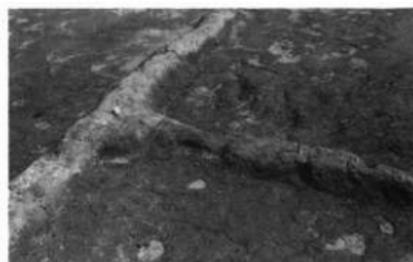
B2区 A9 グリッド内水口



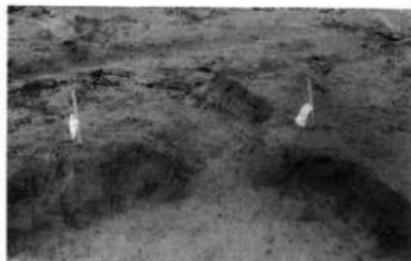
B2区 C24 グリッド内水口



B3区水田址全景（西より）



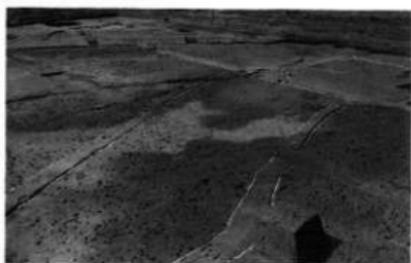
B3区 G13 グリッド水口



B3区G8グリッド内水口



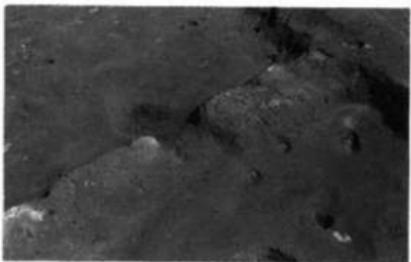
B4・5区水田址全景（東より）



B5区水田址全景（南より）



B5区M8グリッド内水口



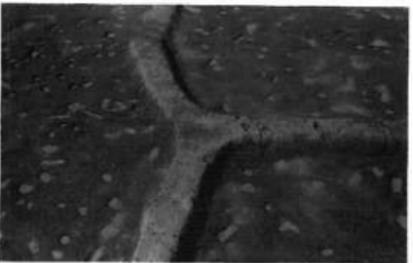
B5区M10グリッド水口



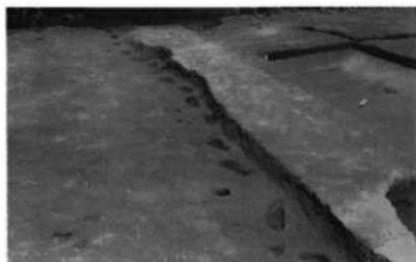
B5区M12グリッド内水口



B5区M5グリッド内畦畔交差部分



B5区O9グリッド内畦畔交差部分



B5区 87号水田内足跡・大畦畔



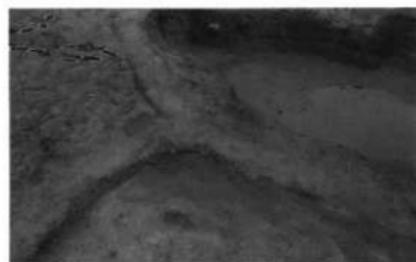
C2・3区水田址全景（東より）



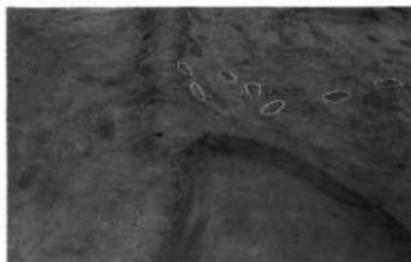
D2・3区水田址全景（東より）



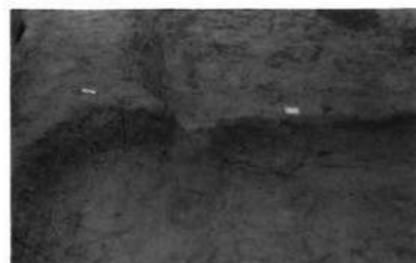
C2, D2区水田址全景（南より）



C2区D14グリッド内畦畔交差部分



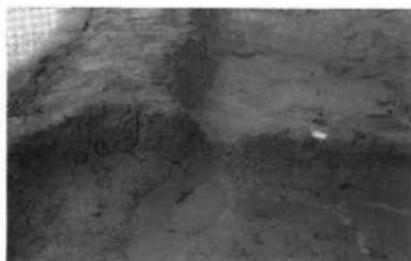
C2区F14グリッド内畦畔交差部分



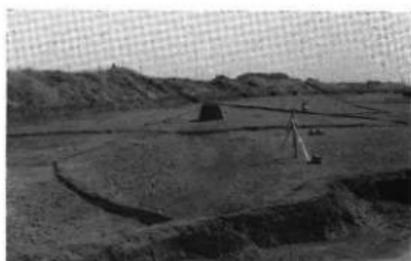
C2区A23グリッド内水口



C2区H22グリッド内水口



C2区H23グリッド内水口



C2・3区97・98・101号陥没水田



C2区147号陥没水田



C2区W-31全景(西より)



C2区O10~12グリッド内W-32・33分枝点



C3区 水田址全景(北より)



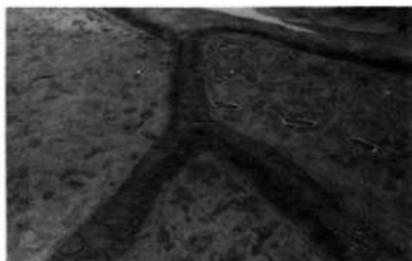
C3区 水田址全景(北より)



C2, D3区水田址全景(東より)



C3区V18グリッド付近畦畔交差部分



C3区X13グリッド付近畦畔交差部分



C3区M3グリッド内水口



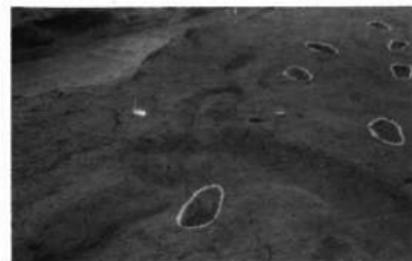
C3区M6グリッド内水口



C3区M8グリッド内水口



C3区W2グリッド内水口



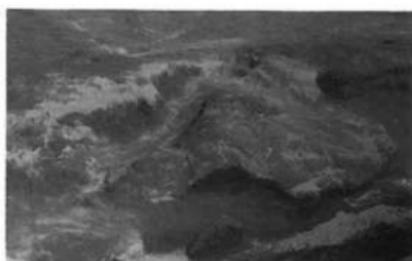
C3区X9グリッド内水口



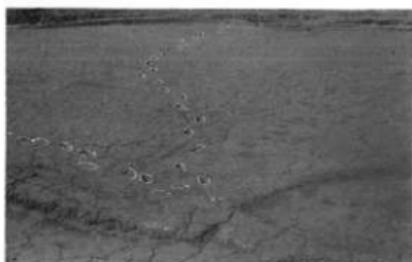
C3区Y7・8グリッド内水口



C3区L2グリッド付近排水路



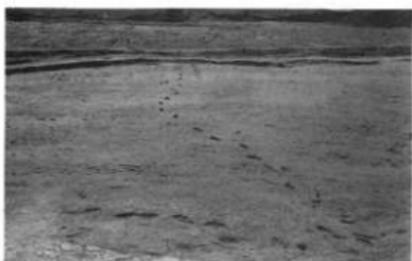
C3区U8グリッド付近W-31への排水口



C3区 98号水田内足跡



C3区 105号水田内足跡



C3区 98号水田内足跡



C3区水田址全景 (北より)



C2, D2区全景 (南より)



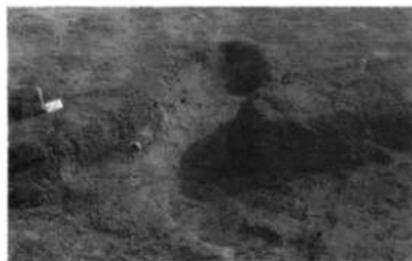
D2, E2調査区全景 (南より)



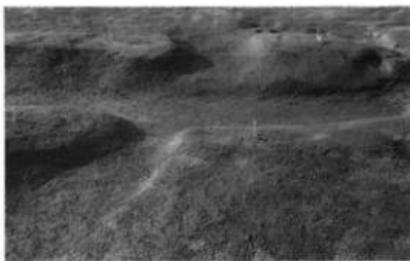
D2区F24グリッド内水口



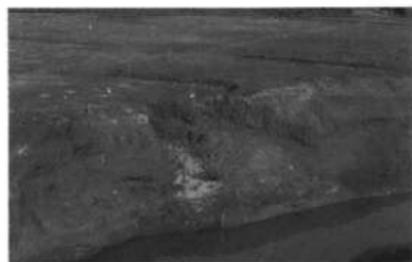
D3区A2グリッド内水口



D3区C2グリッド内水口



D3区F0・1グリッド内水口



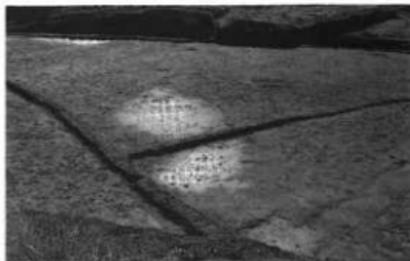
D3区B17グリッド内W-31への排水口



D3区164号水田内足跡



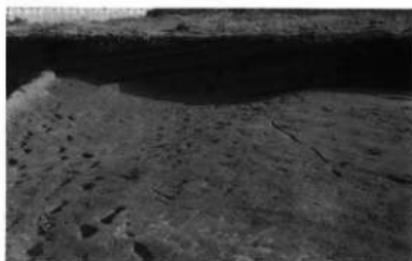
D3区157・158号水田内足跡



C3, D3区122・123号陥没水田



D3区162号陥没水田



D3区164号陥没水田



D4, E4調査区全景 (北より)



D4区水田址全景



D4区水田址全景



D4区126・127号水田内足跡



D4区W-31全景 (西より)



E4区W-42全景 (北より)



D6・7区水田址全景（東より）



D8区水田址全景（南より）



D6区 221・222号水田内足跡・大畦畔



D6区水田址全景（西より）



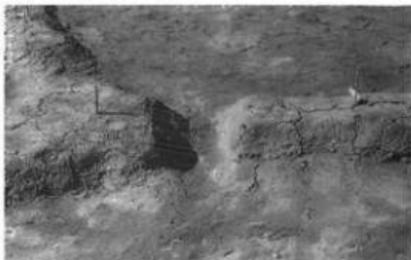
E7区水田址全景（東より）



E7区水田址全景（北より）



E7, F7区水田址全景（西より）



E7区O5グリッド内水口



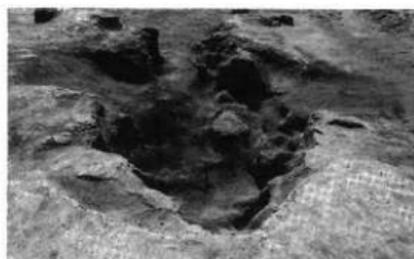
E7区L16グリッド内水口



E7区L13グリッド付近W-49決壊状況



E7, F7区W-56・57全景(東より)



E7区U13グリッド内釜状跡



E7区地割れ跡全景



F7区地割れ跡全景



C3区S.T.U13グリッド内畝状耕作痕跡全景



B2・C2区畝状遺構



B5区耕作跡 B軽石層下



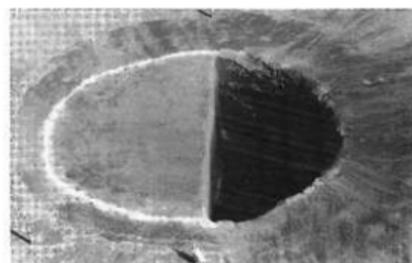
D2区集石全景 (西より)



B5区内土坑群全景



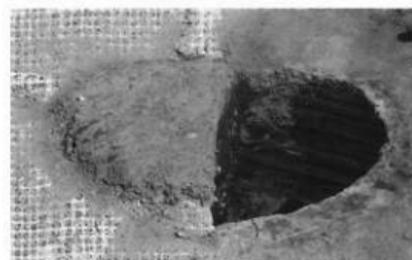
B4区46・47号土坑



D7区D7グリッド内1号井戸



D7区E2・3グリッド内2号井戸



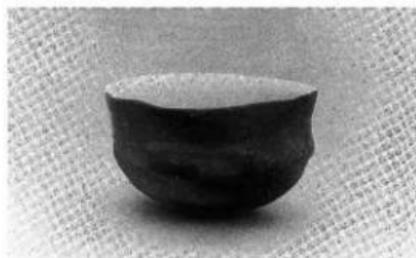
D6区E・F23グリッド内3号井戸



D6区F24グリッド内4号井戸



3号住居址 (1)



3号住居址 (2)



3号住居址 (3)



3号住居址 (4)



3号住居址 (5)



3号住居址 (6)



3号住居址 (7)



3号住居址 (9)



3号住居址 (8)



同左 底部 (8)



3号住居址 (10)



3号住居址 (11)



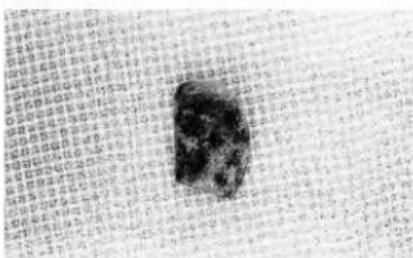
3号住居址 (12)



3号住居址 (13)



3号住居址 (14)



3号住居址 (15)



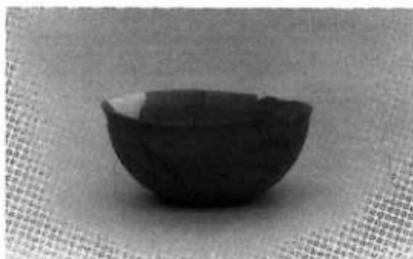
4号住居址 (19)



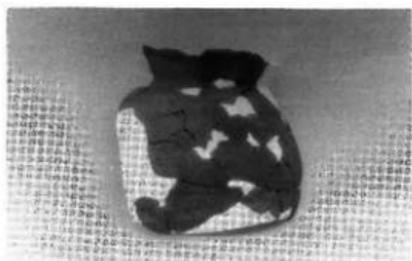
4号住居址 (20)



5号住居址 (21)



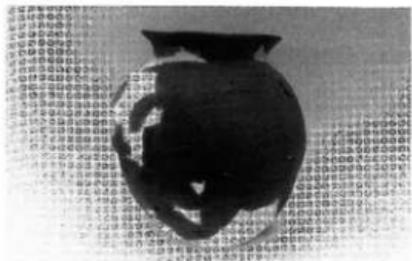
5号住居址 (22)



5号住居址 (23)



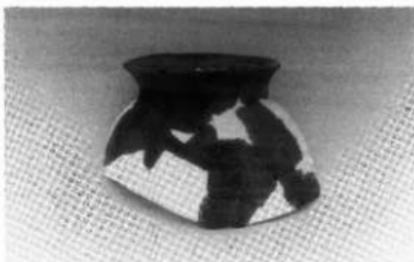
5号住居址 (24)



5号住居址 (25)



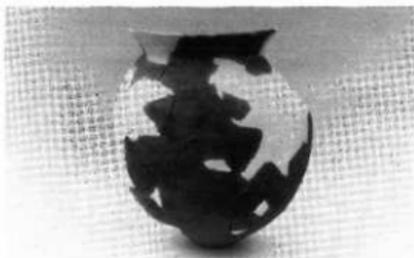
5号住居址 (26)



5号住居址 (27)



5号住居址 (28)



5号住居址 (29)



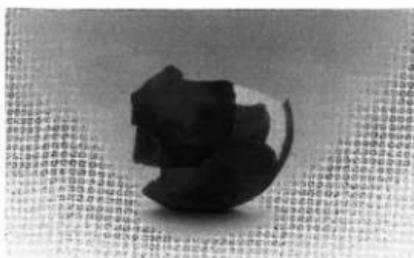
6号住居址 (30)



6号住居址 (31)



6号住居址 (32)



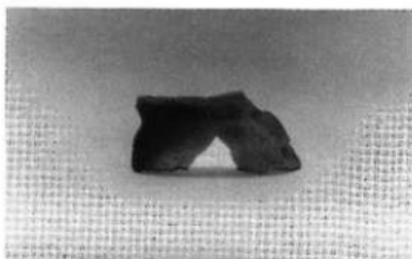
6号住居址 (33)



6号住居址 (34)



7号住居址 (35)



7号住居址 (36)



8号住居址 (37)



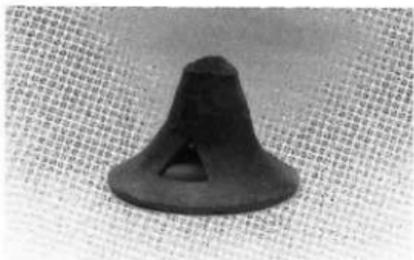
9号住居址 (38)



9号住居址 (39)



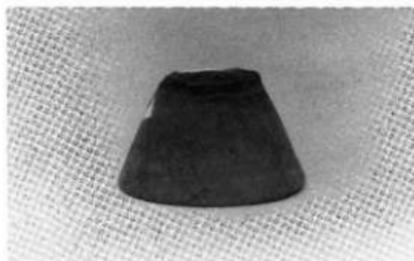
9号住居址 (40)



同 脚部 (39)



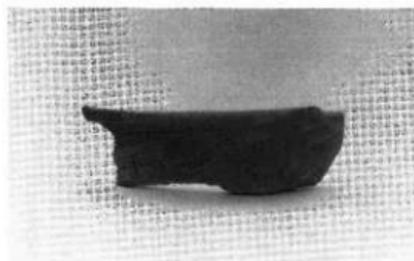
A2-Y9 グリッド (41)
(7号水堀)



A2-Y6, 7グリッド (42)



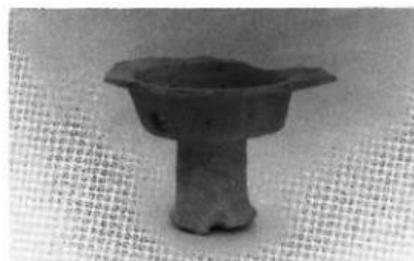
A2-Y9グリッド (43)
(7号木田)



C3-S14グリッド (44)



C3-S16グリッド (45)



D4-M1グリッド (46)
(W-31)



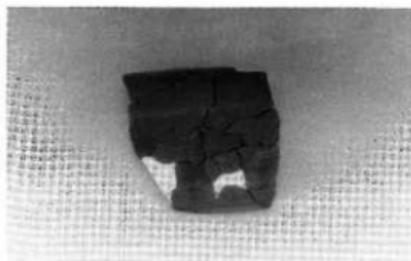
E7-V17グリッド (47)
(W-56)



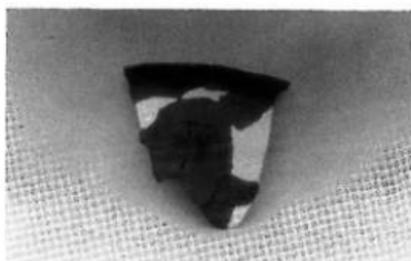
E7-T23グリッド (48)



E7-V20グリッド (49)
(W-56)



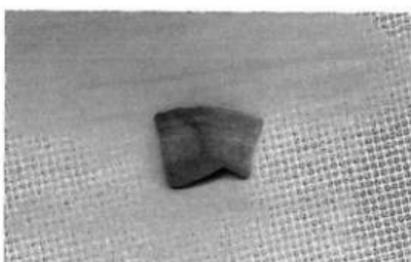
1号住居址 (50)



1号住居址 (51)



1号住居址 (52)



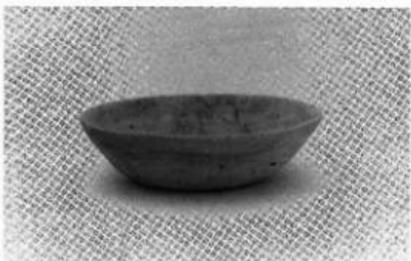
2号住居址 (53)



F7-F7 グリッド (54)



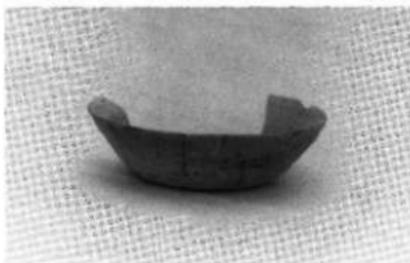
E7-J13 グリッド (55)



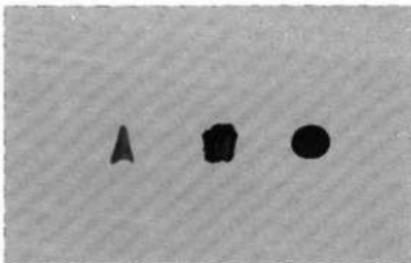
E7-X23 グリッド (56)
(W-56)



E7-V19 グリッド (57)
(W-56)



F7-C11 グリッド (58)
(W-98)



B3-A8, B2-C20 グリッド・B3区 (59,60,65)
C1号水田



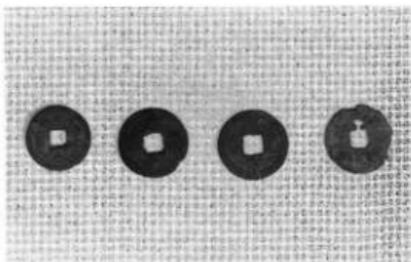
E7-G3, F7-G3 グリッド (66,67)



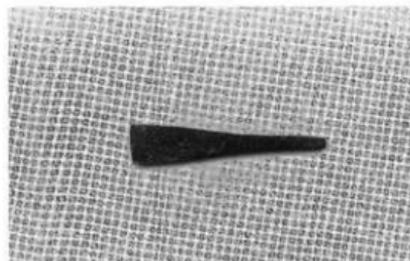
E7-I20, D2-C12 グリッド (62,61)



B5-J6, D2-C12 グリッド (63,64)



B2-A10, D2-C12, D2-C12, D4-X5 グリッド
(68,69,70,71)



D2区 (72)



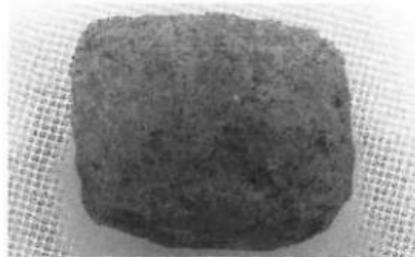
3号住居址 (18,16,17)



D4-N3,E7-M13,A2-T2 グリッド (78,76,73)



C2-H14, A2-V13, C2-H14 グリッド (74,79,77)
(143号水田) (17号水田)



C2-S16 グリッド (75)
(W-32)



A2-Y14 グリッド (80)
(18号水田)



A2-Y14 グリッド (81)
(18号水田)



A2-Y14 グリッド (82)
(18号水田)



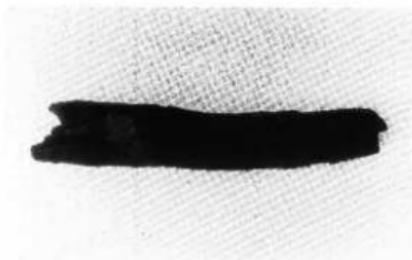
A2-Y14 グリッド (83)
(18号水田)



A2-Y14 グリッド (84)
(18号水田)



E4-C7 グリッド (85)
(W-42)



E4-C7 グリッド (88)
(W-42)



F5-F5 グリッド (87)



E3-A7 グリッド (88)



E3-A7 グリッド (89)



E5-X23 グリッド (90)



E5-X22 グリッド (91)



F6-F0 グリッド (92)



D3-P5 グリッド (93)



D3-P6 グリッド (94)



D4-F18 グリッド (95)



B1-F6 グリッド (96)



B5-Q16,17 グリッド (97)



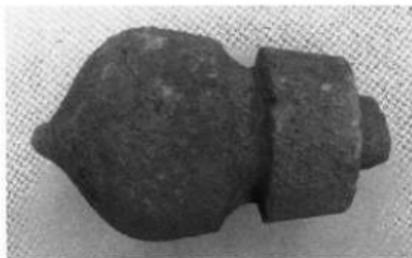
B5-Q16,17 グリッド (98)



B5-Q16,17 グリッド (99)



B5-Q16,17 グリッド (100)



B5-Q16,17グリッド (101)



B5-Q16,17グリッド (102)



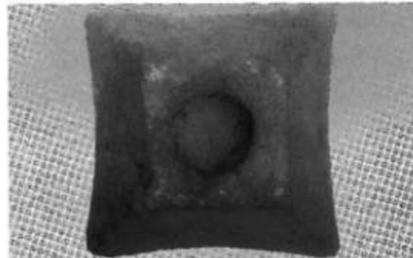
B5-Q16,17グリッド (103)



B5-Q16,17グリッド (104)



B5-Q16,17グリッド (105)



B5-Q16,17グリッド (106)



B5-Q16,17グリッド (107)



F7-F2グリッド

抄 録

フリガナ	ナカハライセキゲン
書名	中原遺跡群Ⅱ
副書名	上増田工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	中原遺跡群
シリーズ番号	Ⅱ
編著者名	荻野博巳
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371 群馬県前橋市上泉町664番地の4
発行年月日	西暦1994年2月28日

フリガナ	フリガナ	コード		位置		調査期間	調査面積	調査理由
		市町村	通称番号	北緯	東経			
所収遺跡名	所在地							
ナカハライセキゲン	マエバシシカミマスダマチ, フツボイマチ, イマイマチ 前橋市上増田町 筑井町, 今井町	10201	4F3	36° 21' 28"	136° 11' 02"	19920603 19930310	40,264㎡	工業団地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中原遺跡群	集落跡	古墳時代 前期～中期	竪穴住居址	7軒 土師器(甕 高坏 器台 甕 坏 手づくね土器)	
"	集落跡	平安時代	竪穴住居址	2軒 土師器(甕 羽釜 碗)	
"	水田址	平安時代	水田址	277面 土師器片数点、石	畦畔、水口、足跡 等
"	飲伏跡	古墳時代～ 平安時代	飲伏跡	4か所 土師器片数点	
"	溝・水路跡	平安時代～ 近世	溝・水路跡	64条 土師器(器台 坏 甕) 須恵器(坏) 石、木杭	
"	集石跡	中世	集石跡	古銭 馬歯 鉄製品 土師器片	
"	井戸址	近世	井戸址	4か所 土師器片1点	
"	土坑跡	近世	土坑133、特殊2基	なし	
"	道跡	近世	道跡	2か所 なし	

中原遺跡群Ⅱ

1994年2月23日 印刷

1994年2月28日 発行

発行 前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市上泉町664番地の4編集 スナガ環境測設株式会社
前橋市青柳町211番地の1印刷 有限会社樟權企画
前橋市稲荷新田町406番地の2

